

各種アンケート調査結果について

米沢市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
報告書

令和5年7月

米沢市 健康福祉部 高齡福祉課

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査設計	3
(3) 回収結果	3
(4) 報告書の見方	4
2 調査結果からみる課題	5
(1) 日常生活圏域ニーズ調査	5
(2) 在宅介護実態調査	9
3 圏域別にみる特徴	13
(1) 第一中学校圏域	13
(2) 第二中学校圏域	14
(3) 第三中学校圏域	15
(4) 第四中学校圏域	16
(5) 第五中学校圏域	17
(6) 第六中学校圏域	18
(7) 第七中学校圏域	19
(8) (旧) 南原中学校圏域	20
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の分析	21
1 対象者について	22
(1) 調査票記入者	22
(2) 性別	22
(3) 年齢	23
(4) 状態像（要介護度）	23
(5) 日常生活圏域	24
(6) 家族構成	25
(7) 日中（昼間）の家族状況	26
(8) 介護・介助が必要性	27
(9) 暮らしの経済的状況	28
(10) 住居形態	29
2 体力について	30
(1) 階段の昇降	30
(2) 椅子の立ち上がり	31
(3) 15分程度の連続歩行	31
(4) 過去1年間の転倒経験	32
(5) 転倒に対する不安	32
(6) 週当たりの外出状況	33

(7) 昨年と比較した外出状況	34
(8) 外出する際の移動手段	35
(9) 運動する習慣をつけるためにあると良いもの	37
3 食べることにについて	39
(1) BMI (体重 kg ÷ (身長 m) ²)	39
(2) 咀嚼機能 (半年前と比べた固いものの食べにくさ)	40
(3) 物をかんだり、飲み込む力をつけるための取り組みの有無	40
(4) お茶や汁物等でむせること	41
(5) 口の渇きが気になること	41
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	42
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少	43
(8) どなたかと食事をともにする機会	43
(9) 歯磨きを行う機会	44
4 毎日の生活について	45
(1) 物忘れが多いと感じること	45
(2) 電話番号を調べて、電話をかけること	45
(3) 今日が何月何日かわからないこと	46
(4) バスや電車を使って1人で外出すること	47
(5) 食品・日用品の買物をする	48
(6) 食事の用意をする	48
(7) 請求書の支払いをする	49
(8) 預貯金の出し入れをする	49
(9) 友人の家を訪ねる	50
(10) 家族や友人の相談にのる	51
(11) 趣味の有無	51
(12) 普段の生活に必要な支援	52
(13) 冬の除雪をする人	54
(14) 携帯電話またはスマートフォンの所持状況	55
5 地域での活動等について	56
(1) 地域活動等への参加状況	56
(2) 地域活動への参加者としての参加意向	64
(3) 地域活動への企画・運営 (お世話役) としての参加意向	65
(4) 参加したい集まり	66
(5) やりたいことを続けていくために必要なこと	68
(6) やってみたい仕事や地域活動	69
6 たすけあいについて	71
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	71
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	72
(3) 看病や世話をしてくれる人	73
(4) 看病や世話をしてあげる人	74
(5) 隣近所の人に手助けをしてあげられること	75

(6) (5) のような手助けを既に行っているか	77
7 健康について	78
(1) 健康状態	78
(2) 幸福度	79
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること	80
(4) この1か月間、興味がわからない、心から楽しめないと感じたりすること	80
(5) 飲酒状況	81
(6) 喫煙状況	82
(7) 治療中、または後遺症のある病気	83
8 認知症および成年後見制度について	85
(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無	85
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	86
(3) 成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度	87
9 自由意見	88
(1) 自由意見の概要	88
(2) 主な意見	88
10 高齢者リスク判定分析	93
(1) 運動器機能リスク	93
(2) 転倒リスク	94
(3) 閉じこもりリスク	95
(4) 低栄養リスク	96
(5) 口腔機能リスク	97
(6) 認知機能リスク	98
(7) うつリスク	99
(8) I A D L (手段的自立度)	100
第3章 在宅介護実態調査結果の分析	101
1 対象者について	102
(1) 調査票の聞き取りを行った相手	102
(2) 性別	103
(3) 年齢	104
(4) 居住地区	105
(5) 要介護度	106
(6) 世帯類型	107
2 介護者について	108
(1) 家族や親族からの介護の頻度	108
(2) 主な介護者	109
(3) 主な介護者の性別	110
(4) 主な介護者の年齢	111
(5) 主な介護者が行っている介護等	112

(6) 家族や親族の過去1年間の離職状況.....	114
3 サービスや支援の利用状況.....	115
(1) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス	115
(2) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	116
4 現在の状況や今後の希望について.....	118
(1) 施設等への入所・入居の検討状況.....	118
(2) 現在抱えている傷病.....	119
(3) 訪問診療の利用状況.....	121
(4) 介護保険サービスの利用状況.....	122
(5) 口腔ケアの状況.....	124
(6) 外出の希望.....	125
(7) 外出の条件.....	126
(8) 本人のやりたいこと.....	127
(9) 十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事.....	128
(10) 隣近所の方に頼みたい生活の手伝い.....	129
5 主な介護者の勤務状況.....	130
(1) 主な介護者の勤務形態.....	130
(2) 働き方の調整等.....	131
(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援.....	132
(4) 今後も働きながら介護を続けていけるか.....	133
(5) 主な介護者の方が不安に感じる介護等.....	135

第 1 章 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「米沢市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定するにあたり、地域の高齢者の生活実態を分析し、高齢者の自立生活を阻む課題（地域課題を含む）や介護ニーズをより的確に把握し、ニーズに合わせた事業展開を行うことを目的として実施した。

(2) 調査設計

① 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	調 査 対 象	65歳以上で要介護認定を受けていない方（要支援を含む）
	調査対象者	上記の調査対象者から圏域別に抽出を行った
在宅介護実態調査	調 査 対 象	在宅の要支援・要介護認定者
	調査対象者	上記の調査対象者のうち、「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」を行い、令和4年12月14日～令和5年4月30日までの間に認定調査を受けた方

② 調査方法

日常生活圏域ニーズ調査	郵送配布－郵送回収 一部は Web 回答
在宅介護実態調査	米沢市介護認定調査員による訪問配布－訪問回収（聞き取り調査）

③ 調査期間

日常生活圏域ニーズ調査	令和5年2月2日～令和5年2月16日 （令和5年2月22日までの回収票も有効とした）
在宅介護実態調査	令和4年12月14日～令和5年4月30日

(3) 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回答率
日常生活圏域ニーズ調査	1,100	867※	78.8
第一中学校圏域	180	134	74.4
第二中学校圏域	180	136	75.6
第三中学校圏域	160	120	75.0
第四中学校圏域	160	121	75.6
第五中学校圏域	120	103	85.8
第六中学校圏域	100	78	78.0
第七中学校圏域	100	77	77.0
南原中学校圏域	100	76	76.0
在宅介護実態調査		372	

※不明分の22件が含まれています。

(4) 報告書の見方

- 調査数 (n = number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことです。
- 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合があります。
- 回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。
調査数 (n) が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合があります。
- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の状態像別の集計では、要支援認定を受けている高齢者を「要支援1」「要支援2」、認定を受けていない高齢者を「一般高齢者」としています。
- クロス集計の集計表では、全体の値よりも数値が5ポイントよりも大きいまたは小さい項目に網かけをしています。
- クロス集計の表側項目については、原則として「不明・無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目等は適宜除外しています。

2 調査結果からみる課題

現計画の中ビジョンに着眼し、調査結果を以下のとおりまとめます。

※各種リスク分析に関する判定基準や用語は、89 頁から 96 頁を参照

(1) 日常生活圏域ニーズ調査

① 健康長寿

【各種リスク分析】

- 各種リスク分析では、「認知症リスク」の該当者が全体では 44.9%、と最も高く、次いで「うつリスク」が 40.9%、「転倒リスク」が 34.5%となっています。
- 性別では、女性は男性よりもリスク該当者割合が高いものが多く、中でも「閉じこもりリスク」は男女差が大きくなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者割合が上昇する傾向がみられ、中でも「運動器機能リスク」「閉じこもりリスク」「IADL 低下者」「認知症リスク」は顕著となっています。性別や年齢別の傾向なども踏まえて、介護予防・フレイル予防の推進や個人の状態に応じたきめ細かな対応を実施していく必要があります。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】は「認知症リスク」が、【第五中学校圏域】は「閉じこもりリスク」が、【第六中学校圏域】は「運動器機能リスク」「転倒リスク」「閉じこもりリスク」が、【第七中学校圏域】は「IADL 低下」が、【(旧)南原中学校圏域】は「転倒リスク」が他の圏域よりも高い割合となっています。
- 状態像別では、いずれも【要支援 1・2】の割合が高くなっていますが、「認知症リスク」「うつリスク」は【一般高齢者】でもリスク該当者が 4 割台となり、要支援 1・2 との差が小さくなっています。

高齢者リスク分析【性別、年齢別、圏域別、状態像別】

(%)

		運動器機能リスク	転倒リスク	低栄養リスク	閉じこもりリスク	口腔機能リスク	認知症リスク	うつリスク	IADL 低下
全体	n= 867	17.2	34.5	1.5	24.5	24.1	44.9	40.9	18.0
性別									
男性	n= 379	14.8	33.8	1.6	20.3	25.1	42.0	40.1	20.6
女性	n= 466	19.5	35.0	1.5	28.1	23.2	47.0	41.0	16.3
年齢別									
65～69歳	n= 193	5.7	29.5	1.0	10.9	16.6	37.3	39.9	7.2
70～74歳	n= 234	10.7	32.9	0.4	15.8	23.5	41.5	35.0	11.5
75～79歳	n= 173	13.9	37.0	2.3	23.7	22.5	45.1	43.9	16.2
80～84歳	n= 144	29.2	37.5	3.5	40.3	29.9	48.6	40.3	25.0
85歳以上	n= 101	44.6	38.6	1.0	50.5	33.7	60.4	49.5	48.5
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	14.9	38.8	3.0	21.6	25.4	43.3	39.6	19.4
第二中学校圏域	n= 136	19.1	33.8	0.7	22.1	27.2	52.2	43.4	16.2
第三中学校圏域	n= 120	19.2	37.5	0.8	28.3	28.3	37.5	41.7	17.5
第四中学校圏域	n= 121	15.7	26.4	0.8	17.4	26.4	43.8	43.0	17.4
第五中学校圏域	n= 103	16.5	31.1	2.9	32.0	25.2	49.5	37.9	17.5
第六中学校圏域	n= 78	21.8	41.0	2.6	29.5	21.8	42.3	33.3	20.5
第七中学校圏域	n= 77	15.6	28.6	0.0	23.4	10.4	45.5	39.0	26.0
(旧)南原中学校圏域	n= 76	17.1	39.5	1.3	26.3	19.7	42.1	44.7	13.1
状態像別									
一般高齢者	n= 806	15.3	33.6	1.5	22.8	23.4	44.3	40.3	16.2
要支援 1・2	n= 39	61.5	51.3	2.6	61.5	35.9	53.8	46.2	61.6

【各種リスク分析の関連項目】

- 体力については、『運動器機能リスク』や『転倒リスク』、『閉じこもりリスク』などに関連する日常生活に必要な動きに関する項目は、性別や年齢別による差が大きく、「階段の昇降」「椅子の立ち上がり」「15分の連続歩行」「転倒に対する不安」「週あたりの外出状況」などは顕著となっています。
- 外出状況は「転倒に対する不安」「週あたりの外出状況」「バスや電車を使って1人で外出すること」「友人の家を訪ねること」など、前回調査から減少傾向がみられます。コロナ禍による外出控えもあると考えられますが、通常の日常生活に戻りつつあるため、高齢者が安心して外出できるような外出支援策や気軽に参加できる活動の場づくりと併せて、転倒防止や運動器機能の向上をはじめとする介護予防・フレイル予防等にも取り組んでいく必要があります。
- 外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が63.3%と最も高くなっていますが、【女性】の割合は男性よりも低くなっています。また、年齢差もみられ、圏域でも「徒歩」の少ない圏域があるなどの違いがみられます。
- 運動する習慣をつけるためにあると良いものについては、「自宅でできるメニュー」が48.0%と最も高く、次いで「友人、仲間」「散歩コース・公園」が3割台となっています。また、今回の調査では、携帯電話やスマートフォンの所持率が80.4%と前回調査から9.3ポイント上昇しており、低い年齢階層ほど所持率が高いことから、自宅で取り組めるメニューの検討などオンラインを活用した取り組みを検討していく必要があります。
- 食べることについては、『低栄養リスク』に関連する「BMI」「体重減少」は該当率が低いものの、その他の『口腔機能リスク』に関連する項目の割合は2～3割台と高くなっています。口腔機能の低下は要介護状態になるリスクが高くなるおそれがあるため、オーラルフレイル予防の取り組みが重要となっています。
- 毎日の生活については、『認知症リスク』や『IADL（手段的日常生活動作）低下』などに関連する項目は年齢差がみられるものが多くありますが、「物忘れ」については前期高齢者でも4割前後と高くなっています。将来的に認知症となるおそれのある方の認知症予防や認知症の早期診断・早期対応に向けた取り組みが重要となっています。
- 現在の健康状態は、『よい』が77.4%、『よくない』が18.3%となっています。現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が47.9%と最も高く、次いで「目の病気」が16.5%、「心臓病」が14.0%となっていますが、男性は女性より「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」が、女性は男性よりも「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。加齢や生活習慣による健康課題を捉えつつ、高齢者の健康づくりのための取り組みを今後も行っていく必要があります。『うつリスク』に関連する項目では、「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある」が36.7%、「興味がわからない、心から楽しめないと感じたりすることがある」が24.7%となっています。
- 認知症については、「認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいる」は8.9%ですが、【85歳以上】の割合は高くなっています。また、認知症に関する相談窓口の認知度は27.0%で、前回調査と同程度となっているため、周知を図っていく必要があります。

② 社会参加

- 地域活動等への『1年以内の参加率』は「町内会・自治会」が最も高く、次いで「収入のある仕事」「スポーツ関係のグループやクラブ」となっています。
- 性別では、「町内会・自治会」「収入のある仕事」は男性の参加率が高く、男女差が大きくなっています。年齢別では、「町内会・自治会」「収入のある仕事」は年齢階層が高くなるにつれて参加率は低下していますが、「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」は【75～79歳】の参加率が高く、「通いの場（健康づくり、介護予防等の会・グループ）」は【85歳以上】の参加率が高くなっています。
- 今後の地域活動への参加意向は、参加者として『参加したい・してもよい』は54.7%、企画・運営として『参加したい・してもよい』は33.8%となり、いずれも前回調査から参加希望率が低下しています。
- 地域活動への参加希望率の低下は、コロナ禍の影響もあると考えられますが、通常の生活に戻りつつある中で、身近な地域活動への参加や地域住民の交流機会が充実するように、各種活動への支援や活動情報の周知を図るなど、参加促進を図っていく必要があります。

地域活動等への『1年以内の参加率』【性別、年齢別、圏域別、状態像別】

(%)

			ボランティア のグループ	スポーツ関 係のグルー プやクラブ	趣味関係 のグループ	学習・教養 サークル	通いの場 (健康づく り、介護予 防等の会・ グループ)	老人クラブ (サロン)	町内会・自 治会	収入のある 仕事
全体		n= 867	8.7	17.1	7.1	20.6	7.0	2.4	27.6	24.8
性別	男性	n= 379	12.0	17.7	5.0	21.0	4.5	2.2	40.9	33.3
	女性	n= 466	6.4	16.6	8.5	20.6	8.7	2.8	16.5	18.1
年齢別	65～69歳	n= 193	13.3	17.6	7.7	22.3	5.1	1.0	36.3	49.2
	70～74歳	n= 234	10.3	19.7	5.9	18.4	6.9	2.5	37.2	32.0
	75～79歳	n= 173	6.3	22.6	11.0	28.3	7.6	2.4	20.9	19.1
	80～84歳	n= 144	6.3	14.7	4.9	20.2	4.9	4.2	21.5	4.9
	85歳以上	n= 101	5.0	4.0	3.0	11.0	12.0	3.0	7.9	1.0
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	8.8	20.1	5.2	18.7	5.9	2.2	32.1	20.0
	第二中学校圏域	n= 136	12.5	16.1	8.8	28.7	11.8	3.7	28.6	22.0
	第三中学校圏域	n= 120	9.2	15.0	5.0	19.1	5.9	0.8	20.0	29.3
	第四中学校圏域	n= 121	4.9	23.2	8.3	28.9	8.4	0.0	27.3	29.9
	第五中学校圏域	n= 103	9.8	16.5	5.9	18.5	5.8	3.9	29.2	21.4
	第六中学校圏域	n= 78	7.7	15.4	9.0	16.7	9.0	1.3	20.6	23.1
	第七中学校圏域	n= 77	9.1	13.0	6.5	13.0	3.9	5.2	32.5	24.7
(旧)南原中学校圏域		n= 76	7.9	13.0	6.6	14.4	1.3	3.9	28.9	31.5

③ いきがい

- 参加したい集まりは、全体では、「運動」が30.4%と最も高くなっています。次いで「会話・お茶飲み」「音楽」が高くなっていますが、男女差がみられ、【女性】の割合が高くなっています。
- やりたいことを続けていくために必要なことは、「健康」が82.5%と最も高く、次いで「体力」が66.0%となり、介護予防と健康づくり、いきがいとの相関性がうかがえます。
- やってみたい仕事や地域活動は、「農作業」「調理」が2割前後と高くなっていますが、【男性】は女性よりも「農作業」「技術指導」が、【女性】は男性よりも「調理」「保育」が高い割合となり、男女差がみられます。

④ 支え合い・助け合い

- 普段の生活で必要な支援は、「何でも話せる相手、相談相手」「通える交流の場」「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が1割台と高くなっています。また、「特にない」という割合が全体では55.1%となっていますが、年齢階層が高くなるにつれて割合は低下し、「買物」や「何でも話せる相手、相談相手」などの割合が上昇しています。
- 冬の除雪については、「自分または家族」が行う割合が88.7%と最も高くなっていますが、年齢階層が高くなるにつれて割合は低下し、「事業者へ依頼している」「知り合いや近所の人に頼んでいる」割合が高くなる傾向がみられます。
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人は「配偶者」が5割台と最も高く、次いで「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」となっていますが、【男性】は「配偶者」の割合が特に高く、【女性】は「配偶者」以外は男性よりも高い割合となっています。看病や世話をしてくれる人、してあげる人も「配偶者」が6割前後と最も高く、次いで「同居の子ども」「別居の子ども」となっています。
- 隣近所の人に手助けをしてあげられることは、全体では、「話し相手」が49.6%と最も高く、次いで「おすそ分け」「見守り」「災害時の手助け・声掛け」となっていますが、男女差が大きく、【男性】は女性よりも「災害時の手助け・声掛け」「雪かき」が、【女性】は男性よりも「話し相手」「おすそ分け」の割合が高くなっています。年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて割合が低下するものが多くなっていますが、「話し相手」は差がみられず、75歳以上の後期高齢者でも5割台となっています。
- 成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度は41.6%となっています。性別では、【男性】は女性よりも認知度が低く、年齢別では【85歳以上】の認知度が低くなっています。請求書の支払いや預貯金の出し入れなどは年齢階層が高くなるにつれて「できない」割合が上昇しており、高齢になるほど成年後見制度の必要性も高まるため、さらに周知を図っていく必要があります。

⑤ 住まい

- 住居形態は、「持家（一戸建て）」が88.7%と多数を占めています。しかし、年齢階層が高くなるにつれて、買物や移動をはじめとする生活支援の必要性が増し、介護が必要になる場合もあります。また、今回の調査では、前回調査よりも経済的な苦しさを感じている高齢者の割合が上昇しており、今後の住まいについても不安を感じている状況が自由回答からもうかがえます。そのため、住宅改修などの住環境の整備支援や、高齢者向け住宅の住み替え支援などを進めていく必要があります。

(2) 在宅介護実態調査

① 主な介護者について

- 主な介護者は「子」が47.7%と最も高く、次いで「配偶者」「子の配偶者」となっています。性別の女性が61.8%と多数を占め、年齢は「60代」が35.9%と最も高く、次いで「50代」が23.7%、「70代」「80歳以上」も1割台となっています。家族や親族からの介護は「ほぼ毎日ある」が65.9%となっていますが、要介護1・2及び要介護3以上は7割台となっています。
- 主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の87.2%をはじめとする生活援助の割合が高くなっています。（A票問6）
- 一方、不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が33.9%と最も高く、次いで「夜間の排泄」「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」が2割台となり、身体介護が上位を占めています。（B票問5）
- また、【施設へ入所・入居を検討している方】及び【すでに申し込みをしている方】は、「認知症状への対応」「夜間の排泄」に不安を感じている割合が特に高くなっており、在宅生活の継続が困難と判断する重要なポイントであると考えられます。
- なお、【夫婦のみ世帯】では「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」など、不安に感じている介護等が多く、【単身世帯】では「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」といった生活援助が多く、世帯状況による違いもみられるため、生活状況に応じた支援・サービスにつなげていくことが在宅生活の継続には重要であると考えられます。

行っている介護等及び不安に感じる介護等 (%)

	行っている介護等	不安に感じる介護等
身体介護	日中の排泄	20.1
	夜間の排泄	14.5
	食事の介助（食べる時）	8.9
	入浴・洗身	17.1
	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	21.7
	衣服の着脱	29.9
	屋内の移乗・移動	19.1
	外出の付き添い、送迎等	71.1
	服薬	52.6
	認知症状への対応	21.4
	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	3.6
生活援助	食事の準備（調理等）	77.6
	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	87.2
	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	75.7

※「その他」「わからない」等を除く

② 利用しているサービス・支援、必要なサービス・支援等について

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用は少なく、最も利用率が高い「配食」でも5.1%となっています。(A票問8)
- 一方、必要と感じる支援・サービスは「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「外出同行(通院、買い物など)」「見守り、声かけ」が1割台となり、潜在的なニーズがある状況がうかがえます。(A票問9)
- また、【単身世帯】及び【夫婦のみ世帯】では「外出同行(通院、買い物など)」や「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」を必要と感じている割合が2割台と高くなっています。

利用している支援・サービス及び必要と感じる支援・サービス (%)

	利用している支援・サービス	必要と感じる支援・サービス
配食	5.1	8.3
調理	1.3	6.2
掃除・洗濯	3.2	7.5
ゴミ出し	2.4	5.4
買い物(宅配は含まない)	2.7	7.3
外出同行(通院、買い物など)	4.3	14.0
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	4.0	15.6
見守り、声かけ	3.5	11.0
サロンなどの定期的な通いの場	2.2	4.3

※「その他」「利用していない」等を除く

- 外出についての本人の希望は全体では57.3%と過半数を占めており、【要支援1・2】においては68.3%が特に高い割合となっています。(A票問16)
- 外出を可能にするための条件は、全体では「移送手段がある」ことが52.7%と最も高く、次いで「見守りがある」が39.5%となっていますが、【単身世帯】及び【夫婦のみ世帯】は移動手段が6割台と特に高くなっています。(A票問17)
- 隣近所の方に頼みたい生活の手伝いは、全体では、「災害時の手助け・声掛け」「話し相手」が3割台と高くなっています。世帯別では、【単身世帯】で希望する割合が全体的に高くなっており、生活支援コーディネーターによる住民同士の助け合いの仕組みづくり活動なども重要性が増しています。また、「災害時の手助け・声掛け」は【単身世帯】及び【夫婦のみ世帯】でニーズが高く、防災分野と連携した災害時の支援体制の充実が重要となっています。(A票問20)

③ 施設等への入所・入居について

- 施設等への入所・入居の検討状況は、全体では、「入所・入居は検討していない」が75.3%と多数を占めていますが、要介護度が重くなるにつれて「すでに入所・入居申し込みをしている」割合が上昇しています。また、【訪問診療を利用している方】も利用していない方よりも「すでに入所・入居申し込みをしている」割合が高くなっています。(A票問10)
- 施設入所検討状況別に現在抱えている傷病をみると、【入所・入居を検討している方】及び【すでに申し込みをしている方】は「認知症」の割合が高くなっています。(A票問11)

- 主な介護者が不安に感じている介護等でも、施設入所と認知症との関連性が高いことから、認知症の介護が在宅介護の継続において大きな課題となっている状況がうかがえます。

④ 訪問診療の利用について

- 訪問診療の利用状況は、全体では、「利用している」が9.4%、「利用していない」が87.6%と多数を占めていますが、【要介護3以上】は「利用している」が37.2%と高くなっています。また、【施設への入所・入居申し込みをしている方】も「利用している」が26.1%と高く、在宅医療の必要性も在宅生活の継続に影響を及ぼす重要な要素の一つになっていると考えられるため、在宅介護・医療の充実が重要となっています。（A票問12）

⑤ 介護保険サービスの利用について

- 介護保険サービスを「利用している」割合は、【要支援1・2】は54.8%、【要介護1・2】は79.5%、【要介護3以上】は88.4%となり、要介護度が重くなるにつれて利用率が上昇しています。（A票問13）
- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.7%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が24.2%、「家族が介護をするため必要ない」が15.8%となっています。【要支援1・2】は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が64.8%と特に高くなっています。（A票問13）

⑥ 本人のやりたいこと

- 本人のやりたいことは、全体では「お出かけ」「友人との交流」「趣味・その他」が2割台と高くなっています。「友人との交流」は【単身世帯】の割合が高くなっています。コロナ禍で人とのつながりが減少したため、単身世帯では孤立感を感じていた方も少なくないと考えられるため、交流の場の充実が求められます。

⑦ 仕事と介護の両立について

- 主な介護者の方の現在の勤務形態は全体では、「フルタイムで働いている」が37.8%、「パートタイムで働いている」が16.4%となり、合計すると『働いている』割合は54.2%となっています。（B票問1）
- 働き方の調整等は、全体では「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が32.1%と最も高くなっていますが、【要介護3以上】及び【夫婦のみ世帯】は件数は少ないものの労働「時間を調整しながら働いている」割合が5割台と高くなっています。（B票問2）
- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」が2割台と高くなっていますが、【要介護3以上】及び【夫婦のみ世帯】は件数は少ないものの、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高くなっています。
- 今後も働きながら介護を続けていけるかは、全体では『続けていける』（「問題はあるが、

何とか続けていける」「問題なく、続けていける」の合計)は75.1%となっています。『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計)は10.9%となっています。【要介護3以上】、【施設への入所・入居を検討している方】及び【すでに入所・入居申し込みをしている方】は『続けていくのは難しい』は2割台と高くなっています。(B票問4)

- また、【フルタイムで働いている方】はパートタイムよりも「問題はあるが、何とか続けていける」割合が高くなっていますが、フルタイムで働いている方は要支援1・2の介護者が多いことが要因の一つとして考えられるため、今後、要介護度が重くなった場合は仕事と介護の両立が難しくなることが考えられます。

3 圏域別にみる特徴

※以下に記載する「全体値」とは、全体集計の数値となります。

(1) 第一中学校圏域

(令和5年2月1日現在)

概要	市の中心部からやや外れるものの、米沢駅や市立病院があり、交通の便は悪くない圏域です。		
統計	人口	高齢者人口	高齢化率
データ	12,141人(3位)	4,063人(3位)	33.5%(3位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について	
●	『運動器機能リスク』は14.9%と圏域別では最も低くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『転倒リスク』『低栄養リスク』『口腔機能リスク』『IADL 低下』、低い項目は『閉じこもりリスク』『認知症リスク』『うつリスク』となっています。
●	昨年と比べた外出状況は、『減っている』が28.4%と圏域別では最も低く、『減っていない』が70.1%で最も高くなっています。
移動手段	
●	「自動車（自分で運転）で運転」が63.3%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「徒歩」が42.5%で全体値を上回っています。
運動する習慣をつけるためにあると良いもの	
●	「自宅でできるメニュー」が56.0%と最も高く、次いで「散歩コース・公園」が42.5%で、いずれも圏域別では最も高くなっています。
普段の生活に必要な支援	
●	「何でも話せる相手、相談相手」が16.4%と最も高く、次いで「通える交流の場」「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が同率で13.4%となり、いずれも全体値を上回っています。
地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり	
●	地域の活動等への『1年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が32.1%と最も高く、圏域別では2番目に高くなっています。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」、低い項目は「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」「収入のある仕事」となっています。
●	参加したい集まりは、「運動」が33.6%と最も高く、次いで「会話・お茶飲み」が26.1%となり、いずれも全体値を上回っています。
やってみたい仕事や地域活動	
●	「農作業」が20.1%と最も高く、次いで「調理」が13.4%となり、いずれも全体値を下回っています。
隣近所の人に手助けをしてあげられること	
●	「話し相手」が46.3%と最も高く、次いで「おすそ分け」が32.1%となり、いずれも全体値を下回っています。
認知症に関する相談窓口の認知度	
●	認知度は34.3%で圏域別では最も高くなっています。
成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度	
●	認知度は50.0%で圏域別では2番目に高くなっています。

(2) 第二中学校圏域

概要	市の中心部に近い地域と山間部があり、圏域内でも人口や交通等の格差がみられる圏域です。		
統計 データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	14,391 人 (1 位)	4,224 人 (1 位)	29.4% (7 位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『認知症リスク』は 52.2%と圏域別では最も高く、『うつリスク』は 43.4%で2 番目に高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『運動器機能リスク』『口腔機能リスク』、低い項目は『転倒リスク』『閉じこもりリスク』『低栄養リスク』『IADL 低下』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 36.8%と全体値を上回っています。

移動手段

- 「自動車（自分で運転）で運転」が 64.7%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「徒歩」が 46.3%で圏域別では最も高くなっています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が 43.4%と最も高いものの圏域別では最も低く、次いで「友人、仲間」が 33.8%で全体値を下回っています。しかし、「参加自由のグループ」は 30.9%、「クラブ活動」は 12.5%で、圏域別では最も高くなっています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が 16.2%と最も高く、次いで「通える交流の場」が 15.4%で、いずれも全体値を上回っています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1 年以内の参加率』は、「学習・教養サークル」が 28.7%と最も高く圏域別では2 番目に高くなっています。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「趣味関係のグループ」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」「町内会・自治会」、低い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「収入のある仕事」となっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が 34.6%と最も高く全体値を上回り、次いで「会話・お茶飲み」が 22.1%で全体値を下回っています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が 20.6%と最も高く、次いで「調理」が 13.2%となり、いずれも全体値を下回っています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が 48.5%と最も高く、次いで「おすそ分け」が 28.7%となり、いずれも全体値を下回っています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は 24.3%で全体値を下回っています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は 35.3%で全体値を下回っています。

(3) 第三中学校圏域

概要	市の中心部に近い地域と山間部があり、圏域内でも人口や交通等の格差がみられる圏域です。		
統計 データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	10,845 人（4 位）	3,605 人（4 位）	33.2%（4 位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『認知症リスク』は 37.5%と圏域別では最も低くなっていますが、『口腔機能リスク』は 28.3%と最も高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『運動器機能リスク』『転倒リスク』『閉じこもりリスク』『うつリスク』、低い項目は『低栄養リスク』『IADL 低下』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 39.2%と圏域別では3番目に高くなっています。

移動手段

- 「自動車（自分で運転）で運転」が 62.5%と最も高く、次いで「徒歩」が 32.5%となり、いずれも全体値を下回っています。また、「タクシー」が 15.8%と圏域別では最も高くなっています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が 49.2%と最も高く全体値を上回り、次いで「友人、仲間」が 34.2%で全体値を下回っています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が 16.7%と最も高く、次いで「往診・健康管理」が 12.5%で圏域別では最も高くなっています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1 年以内の参加率』は、「収入のある仕事」が 29.3%と最も高く圏域別では2番目に高くなっています。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」、低い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「老人クラブ（サロン）」「町内会・自治会」となっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が 30.8%と最も高く全体値を上回り、次いで「会話・お茶飲み」が 20.8%で全体値を下回っています。なお、「参加したいと思わない」が 34.2%と圏域別では最も高くなっています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が 22.5%と最も高く全体値を上回り、次いで「調理」が 13.3%で全体値を下回っています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が 51.7%と最も高く、次いで「おすそ分け」が 34.2%、「見守り」が 29.2%、「災害時の手助け・声掛け」が 28.3%と、いずれも全体値を上回っています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は 30.0%で全体値を上回っています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は 41.7%で全体値を上回っています。

(4) 第四中学校圏域

概要	市の中心部で市役所があり、交通量も多い圏域です。		
統計	人口	高齢者人口	高齢化率
データ	13,871 人 (2 位)	4,066 人 (2 位)	29.3% (8 位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『転倒リスク』は 26.4%、『閉じこもりリスク』は 17.4%となり、圏域別では最も低くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『口腔機能リスク』『うつリスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『低栄養リスク』『認知症リスク』『IADL 低下』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 34.7%と全体値を下回っています。

移動手段

- 「自動車（自分で運転）で運転」が 52.9%と最も高いものの圏域別では最も低く、次いで「徒歩」が 43.0%で圏域別では 2 番目に高くなっています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が 43.8%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「散歩コース・公園」が 40.5%で圏域別では 2 番目に高くなっています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が 16.5%で最も高く全体値を上回り、次いで「通える交流の場」は 9.1%で全体値を下回っています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1 年以内の参加率』は、「学習・教養サークル」が 28.9%と最も高く、圏域別でも最も高くなっています。全体値より高い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「通いの場」「収入のある仕事」、低い項目は「ボランティアのグループ」「老人クラブ（サロン）」「町内会・自治会」となっています。なお、「スポーツ関係のグループやクラブ」は圏域別では最も高くなっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が 30.6%と最も高く、次いで「会話・お茶飲み」が 25.6%となり、いずれも全体値を上回っています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「調理」が 24.0%と最も高く圏域別では 2 番目に高く、次いで「品出し等」が 15.7%、「事務」が 12.4%となり、いずれも圏域別では最も高くなっています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が 52.9%と最も高く全体値を上回り、次いで「おすそ分け」が 37.2%で圏域別では最も高くなっています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は 30.6%で全体値を上回っています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は 51.2%で圏域別では最も高くなっています。

(5) 第五中学校圏域

概要	広範囲に広がっており、山間部も多く含まれる圏域です。		
統計 データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	8,694 人（5 位）	2,886 人（5 位）	33.2%（5 位）

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『閉じこもりリスク』は 32.0%と圏域別では最も高く、『認知症リスク』は 49.5%と 2 番目に高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『低栄養リスク』『口腔機能リスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『転倒リスク』『うつリスク』『IADL 低下』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 40.8%と圏域別では 2 番目に高くなっています。

移動手段

- 「自動車（自分で運転）で運転」が 64.1%と最も高く全体値を上回り、次いで自動車（人に乗せてもらう）が 33.0%で圏域別では最も高く、「徒歩」は 28.2%で全体値を下回っています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が 52.4%と最も高く圏域別では 2 番目に高く、次いで「友人、仲間」が 35.9%で全体値を下回っています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が 15.5%で最も高く全体値を上回り、次いで「室内・外の掃除」「買物」が同率で 12.6%となり圏域別では最も高くなっています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1 年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が 29.2%と最も高く全体値を上回っています。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「老人クラブ（サロン）」、低い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「収入のある仕事」となっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が 35.0%と最も高く、次いで「会話・お茶飲み」が 26.2%となり、いずれも圏域別では最も高くなっています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が 20.1%と最も高く圏域別でも最も高くなっています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が 54.4%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「おすそ分け」が 32.0%で全体値を下回り、「見守り」が 31.1%で圏域別では最も高くなっています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は 26.2%で全体値を下回っています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は 35.9%で全体値を下回っています。

(6) 第六中学校圏域

概要	市北部に位置し、市の中心地に近い地域と隣町の川西町に近い地域に分かれる圏域です。		
統計 データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	5,311人(7位)	1,949人(7位)	36.7%(2位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『うつリスク』は33.3%と圏域別では最も低いものの、『運動器機能リスク』は21.8%、『転倒リスク』は41.0%と最も高く、『閉じこもりリスク』も29.5%で2番目に高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『低栄養リスク』『IADL低下』、低い項目は『口腔機能リスク』『認知症リスク』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が30.7%と圏域の中で3番目に低くなっています。

移動手段

- 「自動車(自分で運転)で運転」が71.8%と最も高く圏域別では2番目に高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が30.8%で全体値を上回り、「徒歩」が21.8%で圏域別では2番目に低くなっています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「友人、仲間」が47.4%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「自宅でできるメニュー」が43.6%で全体値を下回っています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が20.5%と最も高く、次いで「屋内外の軽作業(電球交換、草むしり等)」が16.7%、「通える交流の場」が15.4%、「往診・健康管理」が12.8%となり、いずれも圏域別では最も高くなっています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1年以内の参加率』は、「収入のある仕事」が23.1%と最も高いものの全体値を下回っています。その他に全体値より高い項目は「趣味関係のグループ」「通いの場」、低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「学習・教養サークル」「老人クラブ(サロン)」「町内会・自治会」となっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が23.1%と最も高く、次いで「会話・お茶飲み」が20.5%となり、いずれも全体値を下回っています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が26.9%と最も高く全体値を上回り、次いで「調理」が16.7%で全体値を下回っています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が50.0%と最も高く全体値を上回り、次いで「おすそ分け」が30.8%で全体値を下回っています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は20.5%で圏域別では2番目に低くなっています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は44.9%で全体値を上回っています。

(7) 第七中学校圏域

概要	市の北東に位置し、オフィスアルカディアや南原工業団地などの工業団地がある圏域です。市の中心地から外れるものの、東北中央自動車道のICが2か所整備され県内外からのアクセスが増加しています。		
統計データ	人口	高齢者人口	高齢化率
	8,222人(6位)	2,687人(6位)	32.7%(6位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『低栄養リスク』は0.0%、『口腔機能リスク』は10.4%と圏域別では最も低く、『転倒リスク』も28.6%で2番目に低くなっていますが、『IADL低下』は26.0%と最も高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『認知症リスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『閉じこもりリスク』『うつリスク』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が42.9%と圏域の中で最も高くなっています。

移動手段

- 「自動車(自分で運転)で運転」が72.7%と最も高く圏域別でも最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が27.3%、「徒歩」が26.0%で全体値を下回っています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が45.5%と最も高く、次いで「友人、仲間」が28.6%となり、いずれも全体値を下回っています。しかし、「参加自由のグループ」は26.0%で圏域別では2番目に高くなっています。

普段の生活に必要な支援

- 「何でも話せる相手、相談相手」が13.0%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「通える交流の場」が11.7%で全体値を上回っています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1年以内の参加率』は、「町内会・自治会」が32.5%と最も高く、圏域別でも最も高くなっています。その他に全体値より高い項目は「ボランティアのグループ」「老人クラブ(サロン)」、低い項目は「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」「収入のある仕事」となっています。
- 参加したい集まりは、「運動」が26.0%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「会話・お茶飲み」は24.7%で全体値を上回っています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が32.5%と最も高く、圏域の中でも最も高くなっています。次いで「調理」が11.7%で全体値を下回っています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が51.9%と最も高く全体値を上回り、次いで「おすそ分け」が29.9%で全体値を下回っています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は16.9%で圏域別では最も低くなっています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

- 認知度は33.8%で圏域別では最も低くなっています。

(8) (旧) 南原中学校圏域

概要	山間部が多く含まれる圏域です。交通の便が悪く、人口が減少しています。		
統計	人口	高齢者人口	高齢化率
データ	3,680 人 (8 位)	1,545 人 (8 位)	42.0% (1 位)

【調査結果】

各種リスクの判定結果及び昨年と比べた外出状況について

- 『IADL 低下』は 13.1%と圏域別では最も低くなっていますが、『うつリスク』は 44.7%で最も高く、『転倒リスク』も 2 番目に高くなっています。その他に全体値よりも高い項目は『閉じこもりリスク』、低い項目は『運動器機能リスク』『低栄養リスク』『口腔機能リスク』『認知症リスク』となっています。
- 昨年と比べた外出状況は、『減っている』が 28.9%と圏域別では 2 番目に低くなっています。

移動手段

- 「自動車（自分で運転）で運転」が 64.5%と最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が 30.3%で、いずれも全体値を上回っています。「徒歩」は 13.2%で圏域別では最も低くなっています。

運動する習慣をつけるためにあると良いもの

- 「自宅でできるメニュー」が 44.7%と最も高く、次いで「友人、仲間」が 31.6%となり、いずれも全体値を下回っています。

普段の生活に必要な支援

- 「通える交流の場」が 7.9%と最も高いものの全体値を下回っています。

地域の活動等への参加状況及び参加したい集まり

- 地域の活動等への『1 年以内の参加率』は、「収入のある仕事」が 31.5%と最も高く、圏域別でも最も高くなっています。その他に全体値より高い項目は「老人クラブ（サロン）」「町内会・自治会」、低い項目は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「通いの場」となっています。
- 参加したい集まりは、「会話・お茶飲み」が 23.7%と最も高く、次いで「運動」「音楽」が同率で 21.1%となっています。なお、「会話・お茶飲み」「運動」は全体値を下回り、「音楽」は上回っています。

やってみたい仕事や地域活動

- 「農作業」が 31.6%と最も高く圏域別でも 2 番目に高く、次いで「調理」が 14.5%で全体値を下回っています。

隣近所の人に手助けをしてあげられること

- 「話し相手」が 43.4%と最も高いものの全体値を下回り、次いで「おすそ分け」が 32.9%で全体値を上回っています。

認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知度は 25.0%で全体値を下回っています。

成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

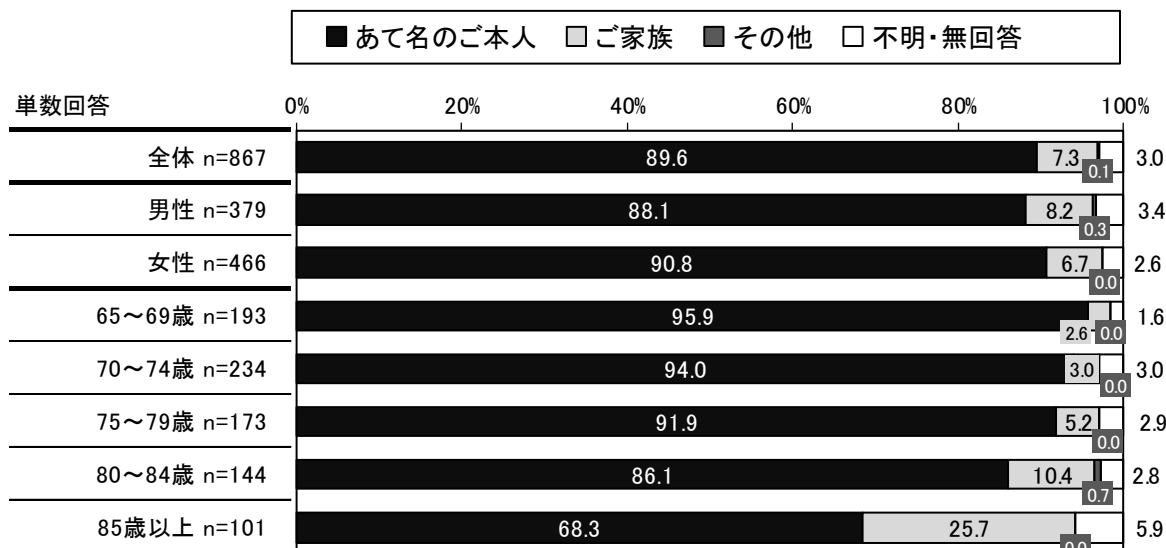
- 認知度は 34.2%で圏域別では 2 番目に低くなっています。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ 調査結果の分析

1 対象者について

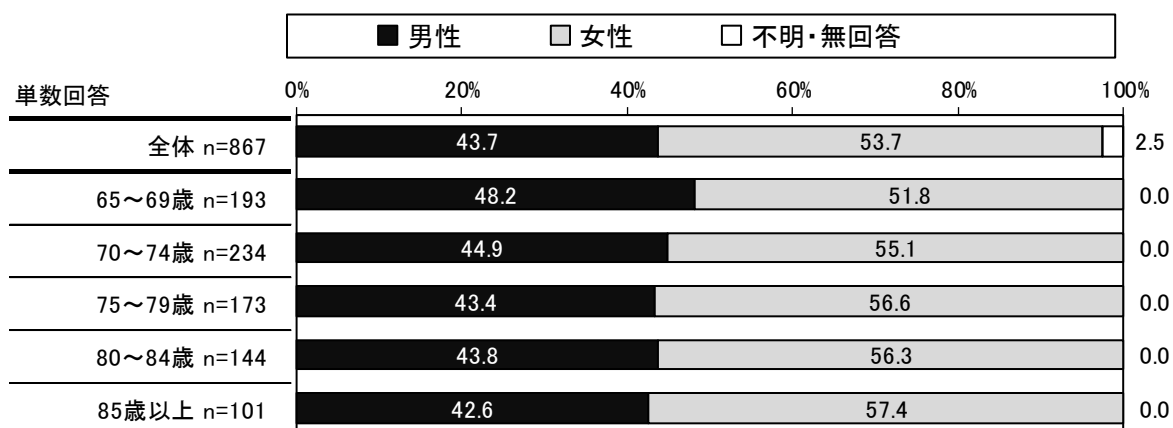
(1) 調査票記入者

問1(1)この調査票を記入されるのはどなたですか。(○は1つ)
● 全体では、「あて名のご本人」が89.6%と多数を占めています。 ● 性別では、特筆すべき差はみられません。 ● 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「あて名のご本人」の割合が低下しています。



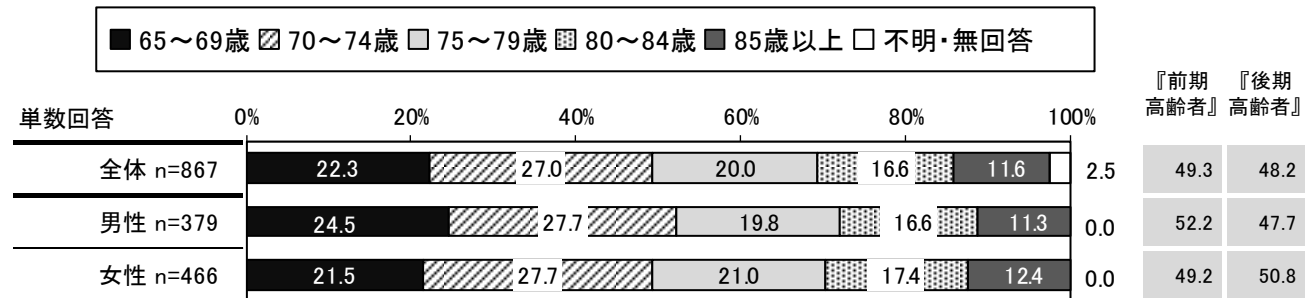
(2) 性別

● 全体では、「男性」が43.7%、「女性」が53.7%となっています。 ● 年齢別では、【65～69歳】は他の年齢よりも「男性」の割合がやや高くなっています。



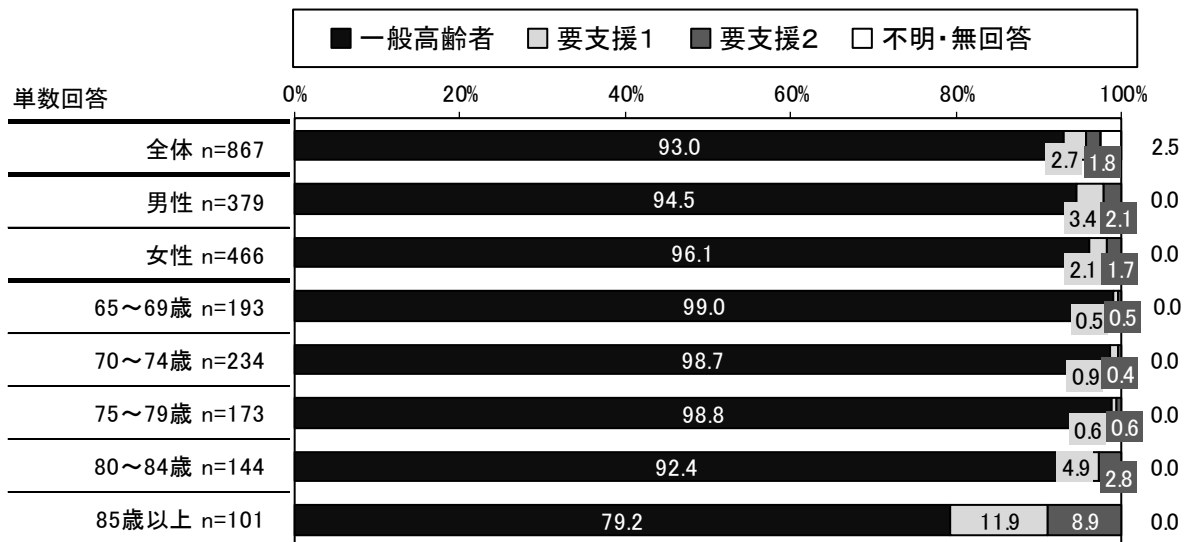
(3) 年齢

- 全体では、「70～74歳」が27.0%、「65～69歳」が22.3%、「75～79歳」が20.0%となっています。なお、『前期高齢者』（「65～69歳」「70～74歳」の合計）は49.3%、『後期高齢者』（「75～79歳」「80～84歳」「85歳以上」の合計）は48.2%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。



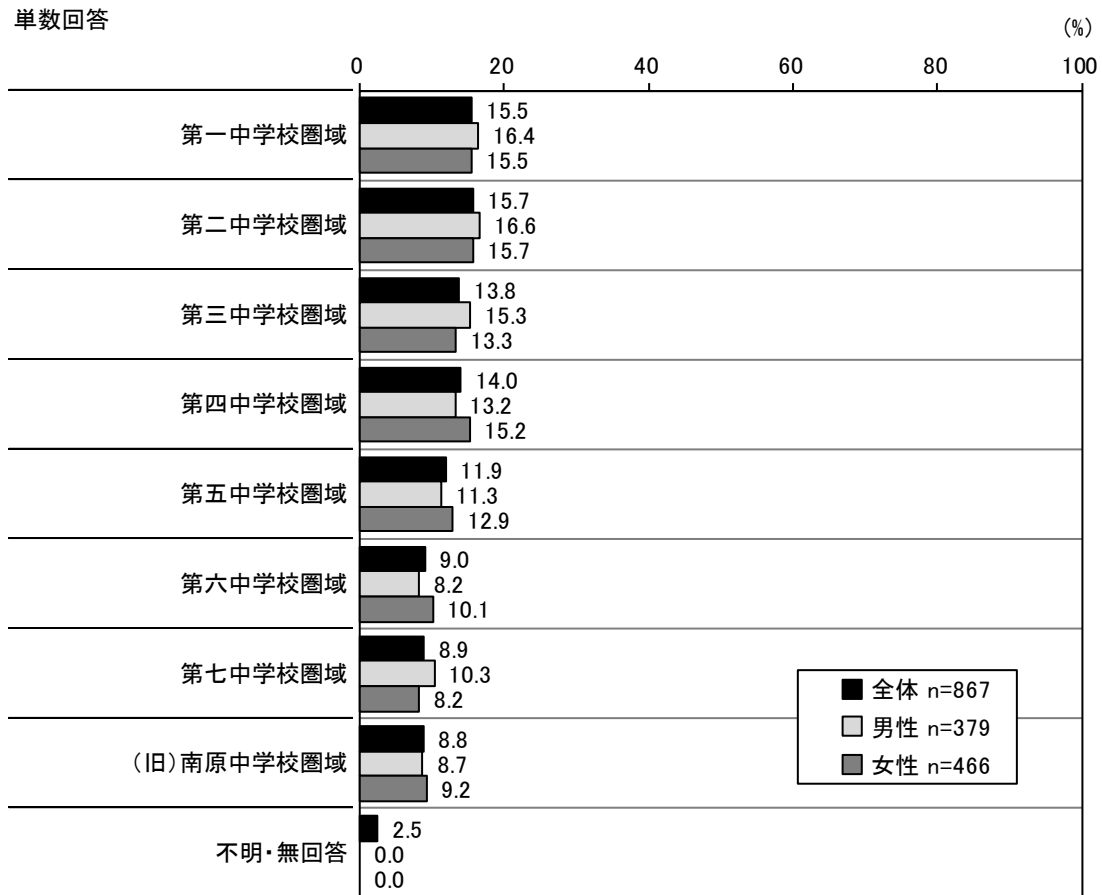
(4) 状態像（要介護度）

- 全体では、「一般高齢者」が93.0%、「要支援1」が2.7%、「要支援2」が1.8%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は他の年齢よりも「一般高齢者」の割合が低く、「要支援1」「要支援2」の割合が高くなっています。



(5) 日常生活圏域

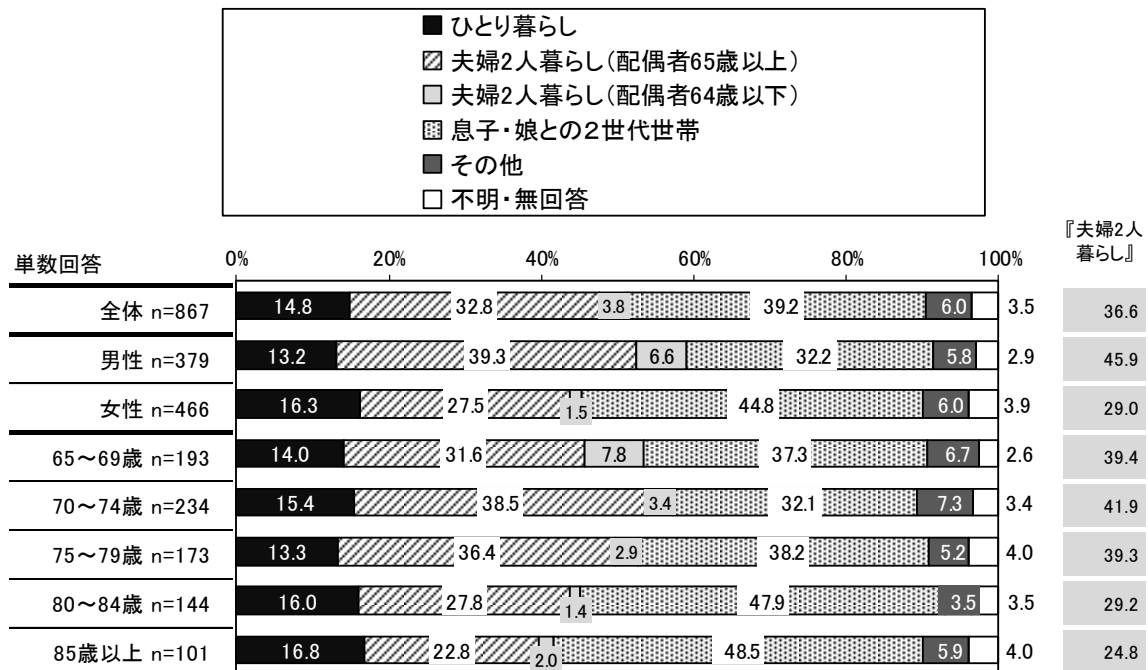
- 全体では、「第二中学校圏域」が15.7%、「第一中学校圏域」が15.5%、「第四中学校圏域」が14.0%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。



(6) 家族構成

問1(2) 家族構成を教えてください。(○は1つ)

- 全体では、「息子・娘との2世代世帯」が39.2%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が32.8%、「ひとり暮らし」が14.8%となっています。なお、『夫婦2人暮らし』（「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」の合計）は36.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が、【女性】は「息子・娘との2世代世帯」が男性よりも高い割合となっています。
- 年齢別では、【70～74歳】以上は年齢階層が高くなるにつれて「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低下し、「息子・娘との2世代世帯」の割合が上昇しています。
- 前回調査との比較では、「その他」が低下し、「息子・娘との2世代世帯」が前回から8.4ポイント上昇しています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が、【(旧)南原中学校圏域】は「息子・娘との2世代世帯」が他の圏域よりも高い割合となっています。



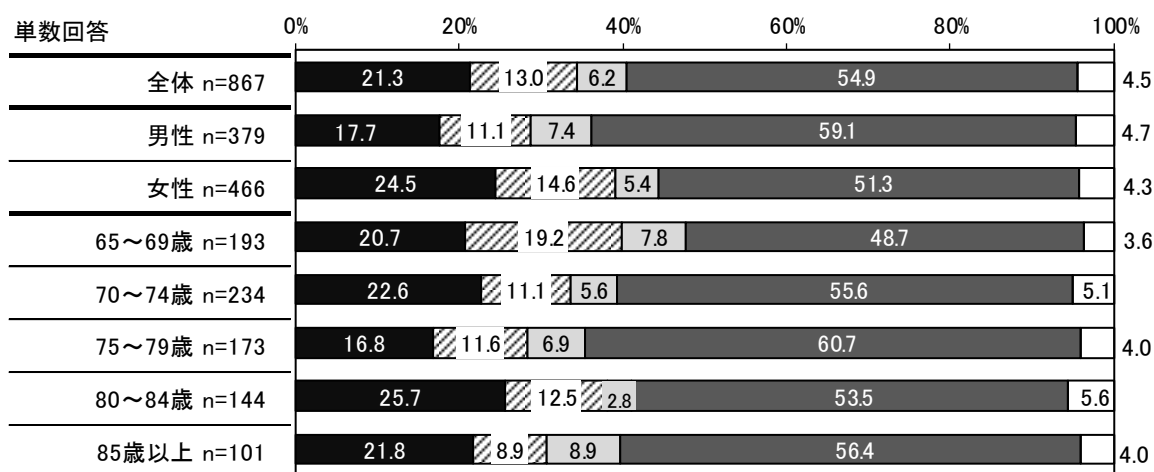
		(%)						
		ひとり暮らし	65歳以上配偶者暮らし	64歳以下配偶者暮らし	息子・娘との2世代世帯	その他	不明・無回答	『夫婦2人暮らし』
全体	n= 867	14.8	32.8	3.8	39.2	6.0	3.5	36.6
前回	n= 793	13.6	29.5	3.2	30.8	21.8	1.1	32.7
圏域別								
第一中学校圏域	n= 134	17.2	38.1	3.0	35.1	3.0	3.7	41.1
第二中学校圏域	n= 136	12.5	35.3	5.1	37.5	5.9	3.7	40.4
第三中学校圏域	n= 120	18.3	31.7	1.7	40.8	5.0	2.5	33.4
第四中学校圏域	n= 121	14.9	36.4	4.1	33.9	7.4	3.3	40.5
第五中学校圏域	n= 103	16.5	26.2	2.9	42.7	6.8	4.9	29.1
第六中学校圏域	n= 78	11.5	33.3	1.3	41.0	6.4	6.4	34.6
第七中学校圏域	n= 77	11.7	24.7	9.1	40.3	11.7	2.6	33.8
(旧)南原中学校圏域	n= 76	14.5	31.6	3.9	47.4	2.6	-	35.5

(7) 日中（昼間）の家族状況

問1(3) 日中（昼間）のご家族の状況はどうなっていますか。（○は1つ）

- 全体では、「週に5日以上は家族という」が54.9%と最も高く、次いで「自分以外は誰もいない」が21.3%、「週に1～2日は家族という」が13.0%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「週に5日以上は家族という」が、【女性】は男性よりも「自分以外は誰もいない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、【80～84歳】は「自分以外は誰もいない」割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 前回調査との比較では、「自分以外は誰もいない」が前回から2.5ポイント上昇しています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は「自分以外は誰もいない」が、【第七中学校圏域】は「週に5日以上は家族という」が他の圏域よりも高い割合となっています。

■ 自分以外は誰もいない ▨ 週に1～2日は家族という □ 週に3～4日は家族という ■ 週に5日以上は家族という □ 不明・無回答



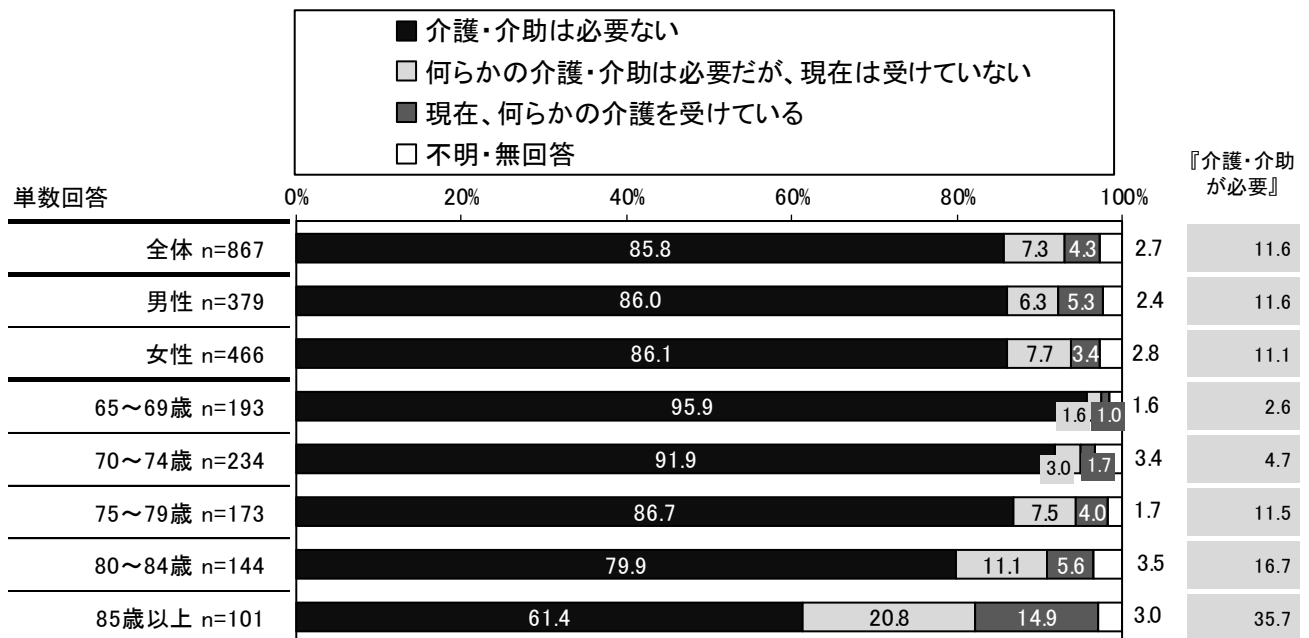
(%)

		自分以外は誰もいない	週2回と日1回は家族	週4回と日3回は家族	週5回以上は家族	不明・無回答
全体	n= 867	21.3	13.0	6.2	54.9	4.5
前回	n= 793	18.8	14.1	6.3	56.4	4.4
圏域別						
第一中学校圏域	n= 134	20.1	12.7	7.5	55.2	4.5
第二中学校圏域	n= 136	21.3	8.8	5.1	58.1	6.6
第三中学校圏域	n= 120	25.0	16.7	7.5	46.7	4.2
第四中学校圏域	n= 121	19.0	15.7	5.0	57.0	3.3
第五中学校圏域	n= 103	21.4	13.6	7.8	54.4	2.9
第六中学校圏域	n= 78	21.8	15.4	9.0	50.0	3.8
第七中学校圏域	n= 77	19.5	10.4	3.9	61.0	5.2
(旧)南原中学校圏域	n= 76	23.7	10.5	3.9	56.6	5.3

(8) 介護・介助が必要性

問1(4)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 全体では、「介護・介助は必要ない」が85.8%と最も高くなっています。次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.3%で、「現在、何らかの介護を受けている」の4.3%と合わせた『介護・介助が必要』な割合は11.6%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「介護・介助は必要ない」割合が低下し、『介護・介助が必要』な割合が上昇しています。
- 前回調査との比較では、「介護・介助は必要ない」が2.7ポイント上昇し、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が前回から2.8ポイント低下しています。
- 圏域別では、【第六中学校圏域】は『介護・介助が必要』な割合が他の圏域よりも高くなっています。

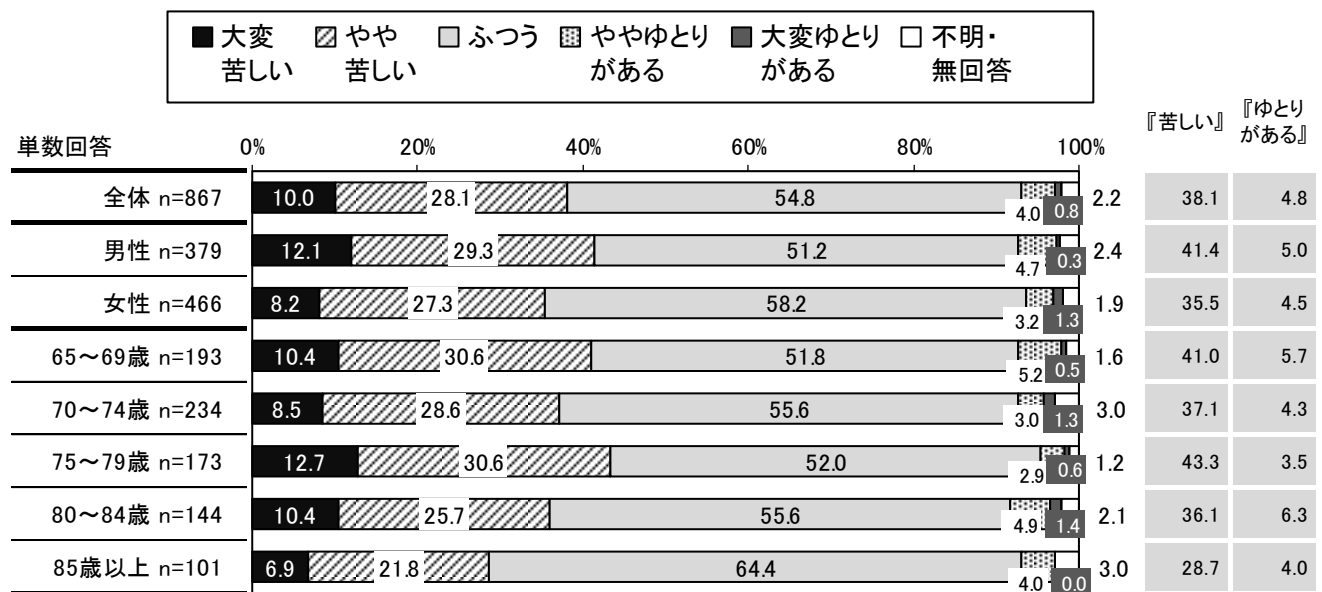


		(%)			
		要介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	不明・無回答
全体	n= 867	85.8	7.3	4.3	2.7
前回	n= 793	83.1	10.1	4.8	2.0
圏域別					
第一中学校圏域	n= 134	85.1	10.4	2.2	2.2
第二中学校圏域	n= 136	86.0	5.1	5.9	2.9
第三中学校圏域	n= 120	86.7	3.3	6.7	3.3
第四中学校圏域	n= 121	88.4	6.6	3.3	1.7
第五中学校圏域	n= 103	86.4	6.8	3.9	2.9
第六中学校圏域	n= 78	78.2	15.4	3.8	2.6
第七中学校圏域	n= 77	88.3	5.2	2.6	3.9
(旧)南原中学校圏域	n= 76	88.2	5.3	5.3	1.3

(9) 暮らしの経済的状況

問1(5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- 全体では、「ふつう」が54.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が28.1%となり、「大変苦しい」と合わせた『苦しい』は38.1%となっています。『ゆとりがある』(「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の合計)は4.8%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも『苦しい』割合が高くなっています。
- 年齢別では、【65～69歳】【75～79歳】は『苦しい』割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 前回調査との比較では、『苦しい』割合は前回から7.5ポイント上昇しています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は『苦しい』割合が他の圏域よりも高くなっています。

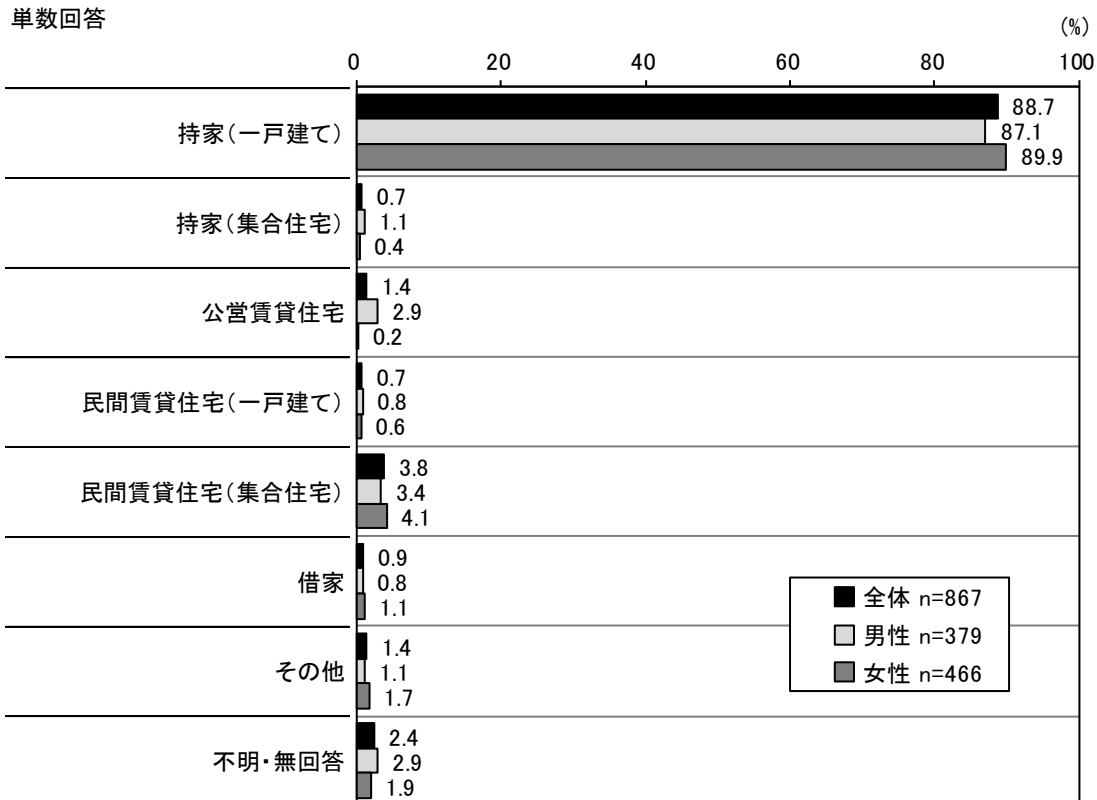


									(%)	
		大変 苦しい	やや 苦しい	ふつう	が や や ゆ と り がある	が 大 変 ゆ と り がある	答 不 明 ・ 無 回		『 苦 し い 』	あ る 『 ゆ と り が 』
全体	n= 867	10.0	28.1	54.8	4.0	0.8	2.2		38.1	4.8
前回調査	n= 793	7.9	22.7	60.5	6.8	0.9	1.1		30.6	7.7
圏域別										
第一中学校圏域	n= 134	6.0	27.6	59.0	4.5	0.7	2.2		33.6	5.2
第二中学校圏域	n= 136	9.6	25.7	54.4	6.6	0.7	2.9		35.3	7.3
第三中学校圏域	n= 120	7.5	39.2	44.2	5.8	—	3.3		46.7	5.8
第四中学校圏域	n= 121	9.9	31.4	52.1	4.1	—	2.5		41.3	4.1
第五中学校圏域	n= 103	13.6	21.4	61.2	1.0	1.9	1.0		35.0	2.9
第六中学校圏域	n= 78	14.1	24.4	56.4	2.6	—	2.6		38.5	2.6
第七中学校圏域	n= 77	10.4	19.5	64.9	1.3	2.6	1.3		29.9	3.9
(旧)南原中学校圏域	n= 76	11.8	32.9	51.3	2.6	1.3	—		44.7	3.9

(10) 住居形態

問1(6)あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

- 全体では、「持家（一戸建て）」が88.7%と多数を占めています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 前回調査との比較では、「持家（一戸建て）」が前回から4.2ポイント低下しています。
- 圏域別では、【第五中学校圏域】は他の圏域よりも「持家（一戸建て）」が高く、【第四中学校圏域】は低い割合となっています。



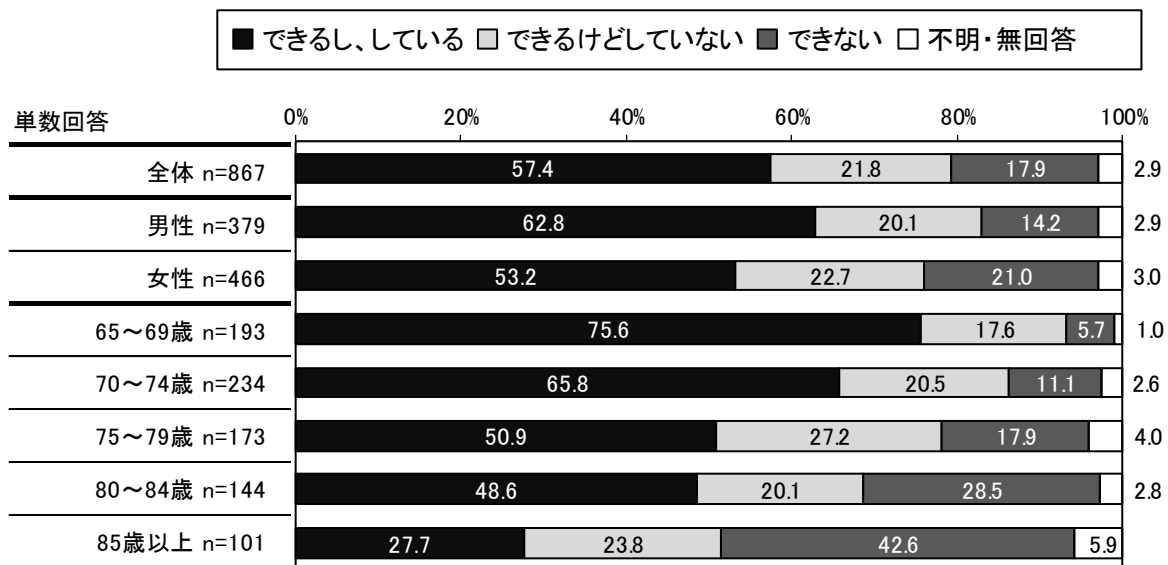
		(%)							
		戸持 建家 て(一 戸)	合持 住家 宅(集 合)	住公 宅営 賃貸	戸住 民建 宅間 賃一 戸	合住 民建 宅間 賃集 合	借家	その他	回不 答明 ・無
全体	n= 867	88.7	0.7	1.4	0.7	3.8	0.9	1.4	2.4
前回調査	n= 793	92.9	0.9	1.8	0.9	1.5	1.0	0.8	1.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	86.6	1.5	3.0	0.7	5.2	-	0.7	2.2
第二中学校圏域	n= 136	86.8	0.7	0.7	0.7	5.1	1.5	1.5	2.9
第三中学校圏域	n= 120	83.3	0.8	0.8	2.5	5.8	0.8	1.7	4.2
第四中学校圏域	n= 121	81.0	1.7	4.1	0.8	5.8	1.7	2.5	2.5
第五中学校圏域	n= 103	97.1	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0
第六中学校圏域	n= 78	92.3	-	1.3	-	2.6	-	1.3	2.6
第七中学校圏域	n= 77	94.8	-	-	-	1.3	1.3	1.3	1.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	94.7	-	-	-	-	1.3	2.6	1.3

2 体力について

(1) 階段の昇降

問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

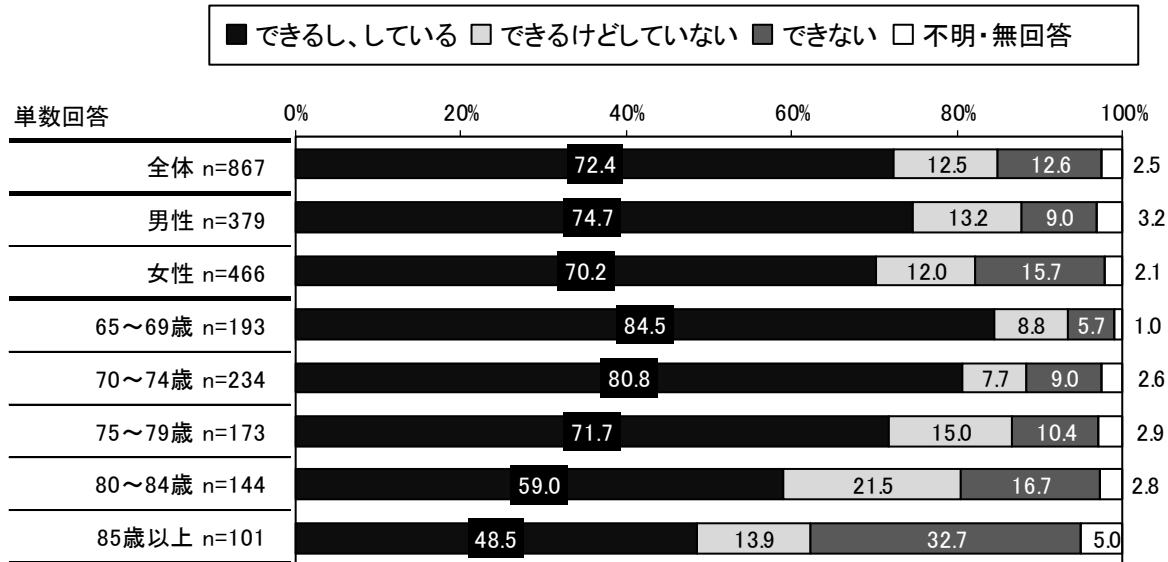
- 全体では、「できるし、している」が57.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.8%、「できない」が17.9%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「できない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下し、「できない」割合が上昇しています。



(2) 椅子の立ち上がり

問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

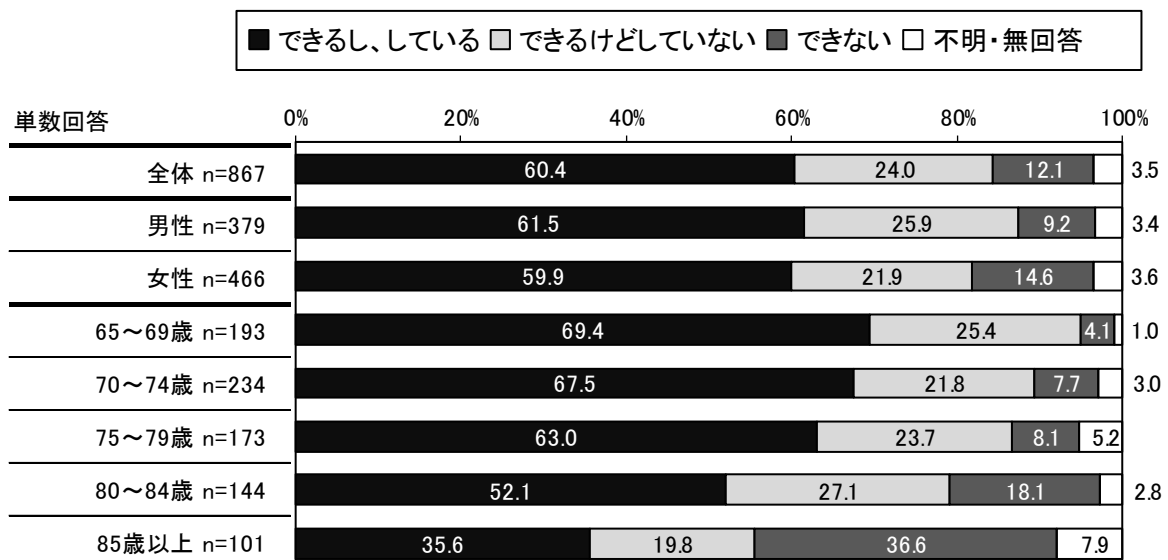
- 全体では、「できるし、している」が72.4%と最も高く、次いで「できない」が12.6%、「できるけどしていない」が12.5%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「できない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下し、「できない」割合が上昇しています。



(3) 15分程度の連続歩行

問2(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

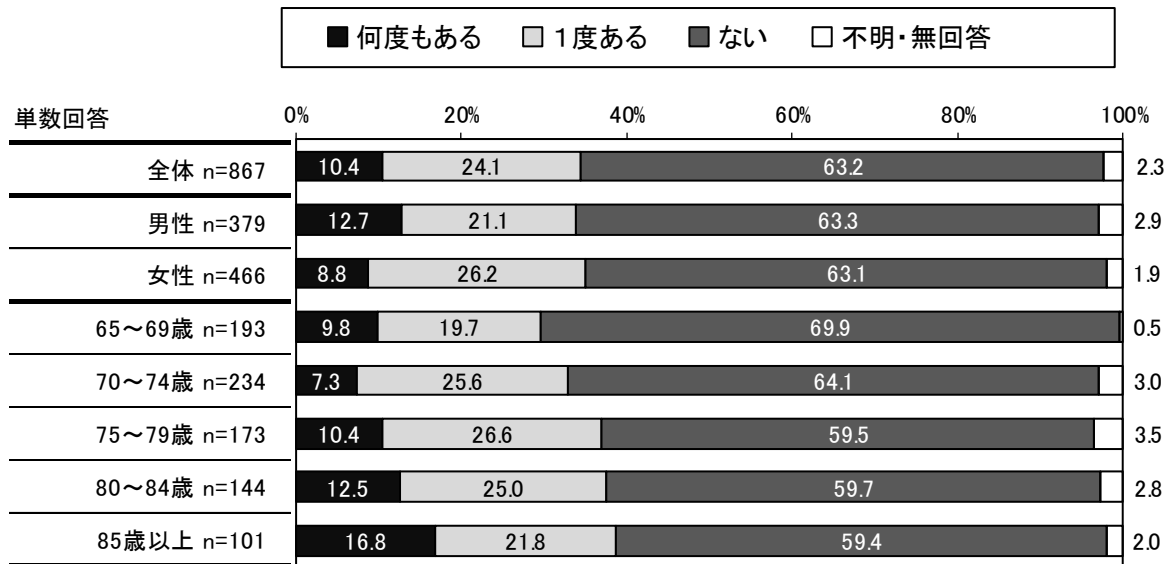
- 全体では、「できるし、している」が60.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が24.0%、「できない」が12.1%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「できない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下し、「できない」割合が上昇しています。



(4) 過去1年間の転倒経験

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

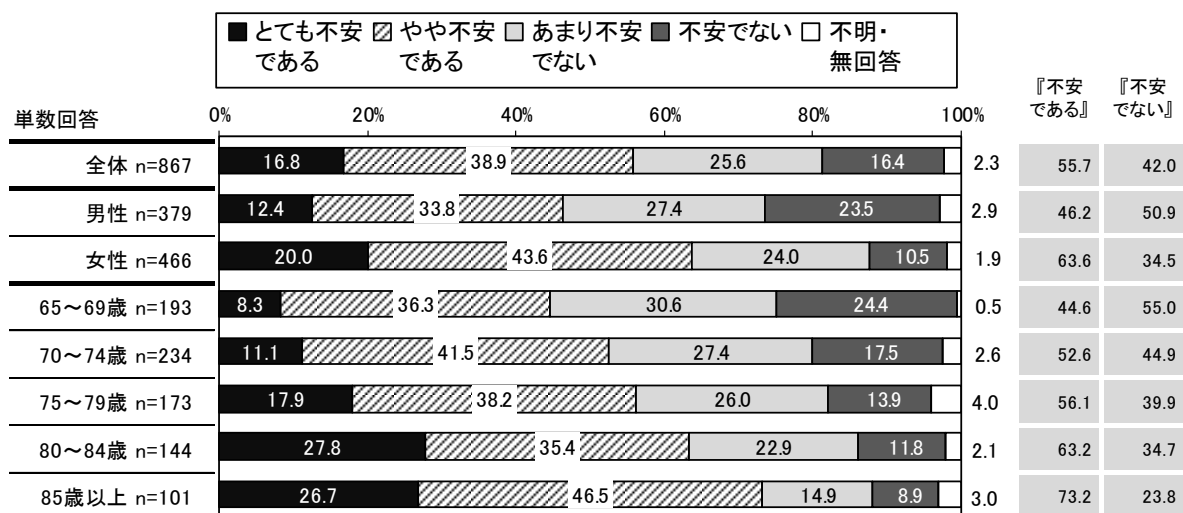
- 全体では、「ない」が63.2%と最も高く、次いで「1度ある」が24.1%、「何度もある」が10.4%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「1度ある」割合が高くなっています。
- 年齢別では、【70～74歳】以上は年齢階層が高くなるにつれて「何度もある」割合が上昇しています。



(5) 転倒に対する不安

問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

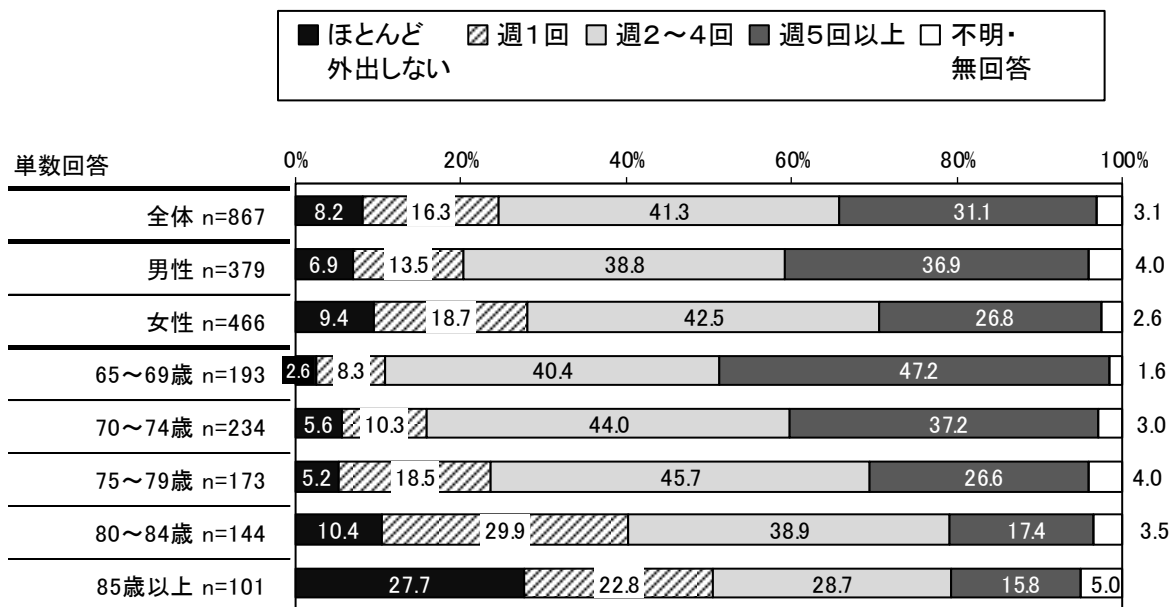
- 全体では、「やや不安である」が38.9%と最も高く、「とても不安である」の16.8%と合計すると『不安である』は55.7%となっています。『不安でない』（「あまり不安でない」「不安でない」の合計）は42.0%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも『不安である』割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて『不安である』割合が上昇しています。



(6) 週当たりの外出状況

問2(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- 全体では、「週2～4回」が41.3%と最も高く、次いで「週5回以上」が31.1%、「週1回」が16.3%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「週5回以上」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「週5回以上」の割合が低下し、外出頻度が少なくなっています。
- 前回調査との比較では、「週5回以上」の割合が前回調査よりも4.5ポイント低くなっています。
- 圏域別では、【第五中学校圏域】【第六中学校圏域】は他の圏域よりも外出頻度が少なくなっています。

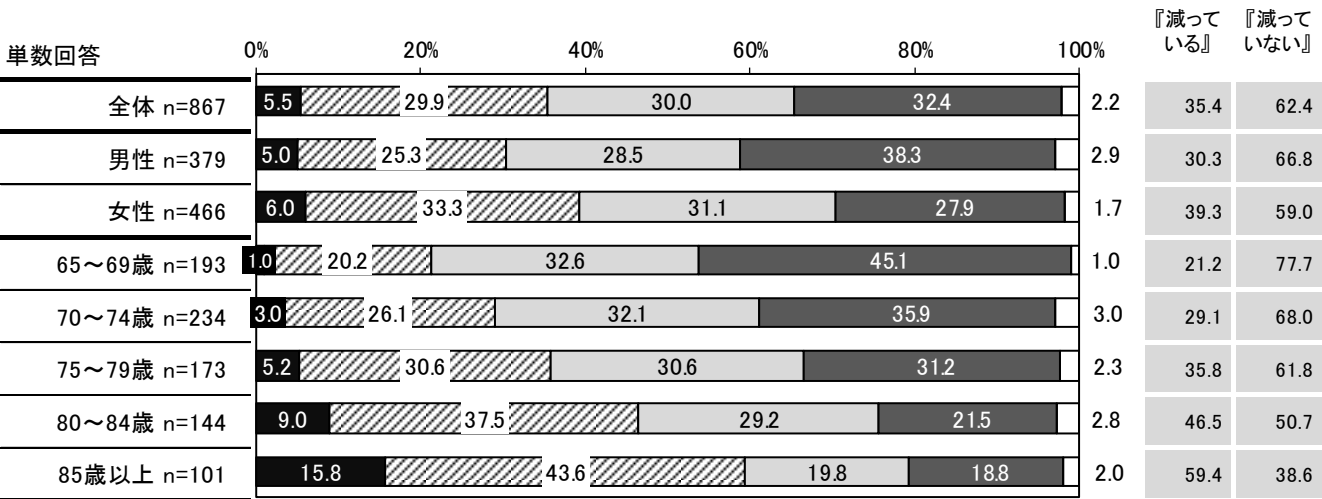
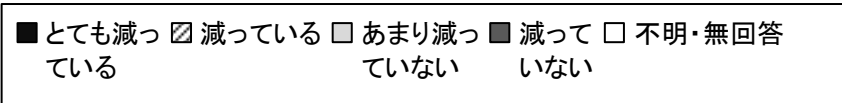


(%)

		出ほ しと なん いど 外	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以 上	答不 明・ 無回
全体	n= 867	8.2	16.3	41.3	31.1	3.1
前回調査	n= 793	6.7	12.6	43.3	35.6	1.9
圏域別						
第一中学校圏域	n= 134	6.7	14.9	39.6	37.3	1.5
第二中学校圏域	n= 136	6.6	15.4	43.4	30.1	4.4
第三中学校圏域	n= 120	9.2	19.2	33.3	35.8	2.5
第四中学校圏域	n= 121	5.8	11.6	47.9	30.6	4.1
第五中学校圏域	n= 103	11.7	20.4	35.9	31.1	1.0
第六中学校圏域	n= 78	7.7	21.8	39.7	26.9	3.8
第七中学校圏域	n= 77	11.7	11.7	45.5	28.6	2.6
(旧)南原中学校圏域	n= 76	9.2	17.1	42.1	25.0	6.6

(7) 昨年と比較した外出状況

問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)	
● 全体では、「減っていない」が32.4%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が30.0%となり、合計すると『減っていない』は62.4%となっています。『減っている』(「とても減っている」「減っている」の合計)は35.4%となっています。 ● 性別では、【女性】は男性よりも『減っている』割合が高くなっています。 ● 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて『減っている』割合が上昇しています。 ● 前回調査との比較では、『減っている』割合は前回よりも8.7ポイント上昇しています。 ● 圏域別では、【第五中学校圏域】【第七中学校圏域】は『減っている』割合が他の圏域よりも高くなっています。	

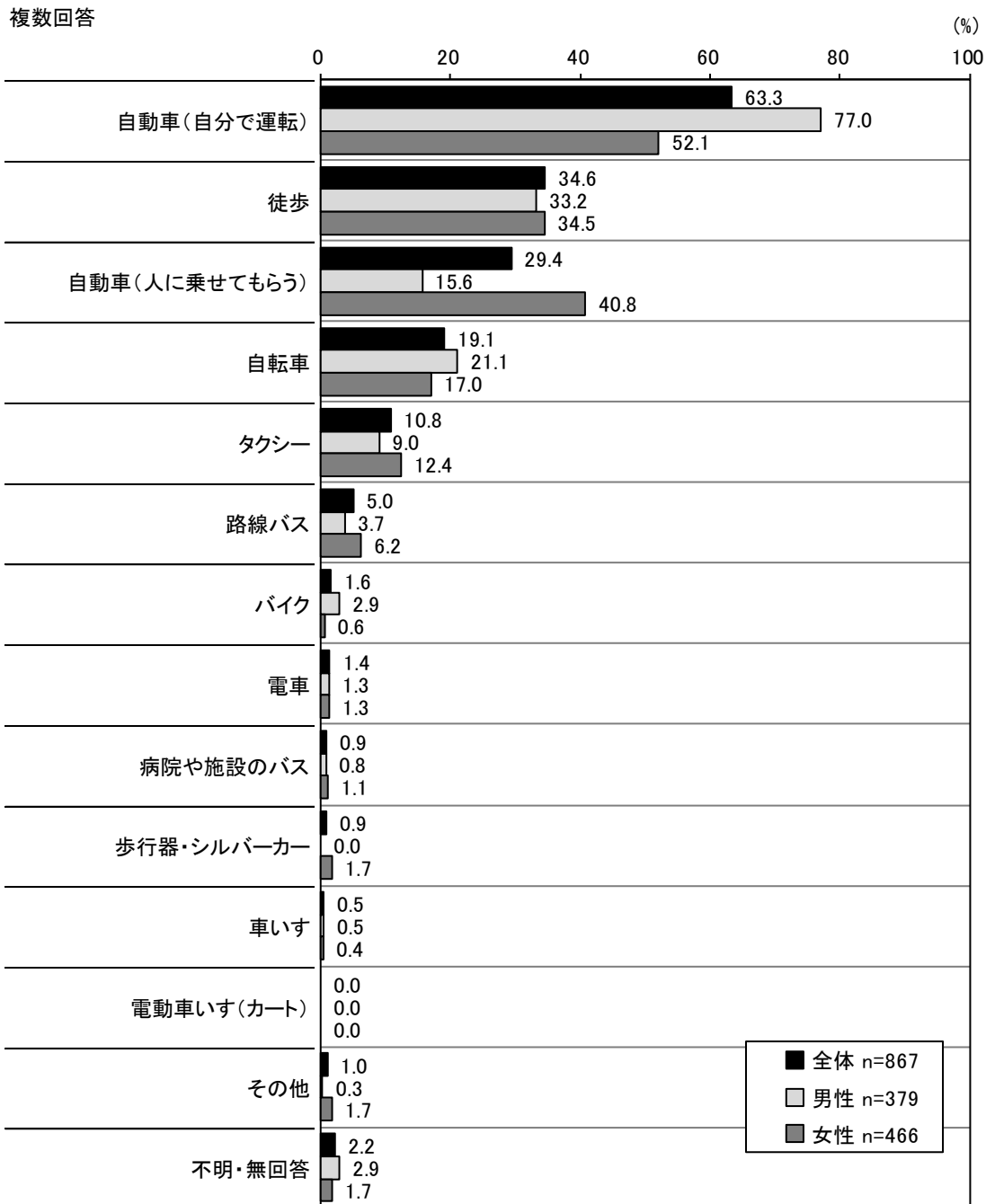


							(%)	
		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答	『減っている』	『減っていない』
全体	n= 867	5.5	29.9	30.0	32.4	2.2	35.4	62.4
前回調査	n= 793	3.7	23.0	31.1	40.7	1.5	26.7	71.8
圏域別								
第一中学校圏域	n= 134	7.5	20.9	32.8	37.3	1.5	28.4	70.1
第二中学校圏域	n= 136	4.4	32.4	29.4	30.1	3.7	36.8	59.5
第三中学校圏域	n= 120	4.2	35.0	27.5	31.7	1.7	39.2	59.2
第四中学校圏域	n= 121	5.8	28.9	35.5	26.4	3.3	34.7	61.9
第五中学校圏域	n= 103	9.7	31.1	18.4	39.8	1.0	40.8	58.2
第六中学校圏域	n= 78	3.8	26.9	34.6	33.3	1.3	30.7	67.9
第七中学校圏域	n= 77	5.2	37.7	24.7	31.2	1.3	42.9	55.9
(旧)南原中学校圏域	n= 76	2.6	26.3	36.8	30.3	3.9	28.9	67.1

(8) 外出する際の移動手段

問2(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- 全体では、「自動車（自分で運転）」が63.3%と最も高く、次いで「徒歩」が34.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が29.4%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「自動車（自分で運転）」が、【女性】は男性よりも「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。



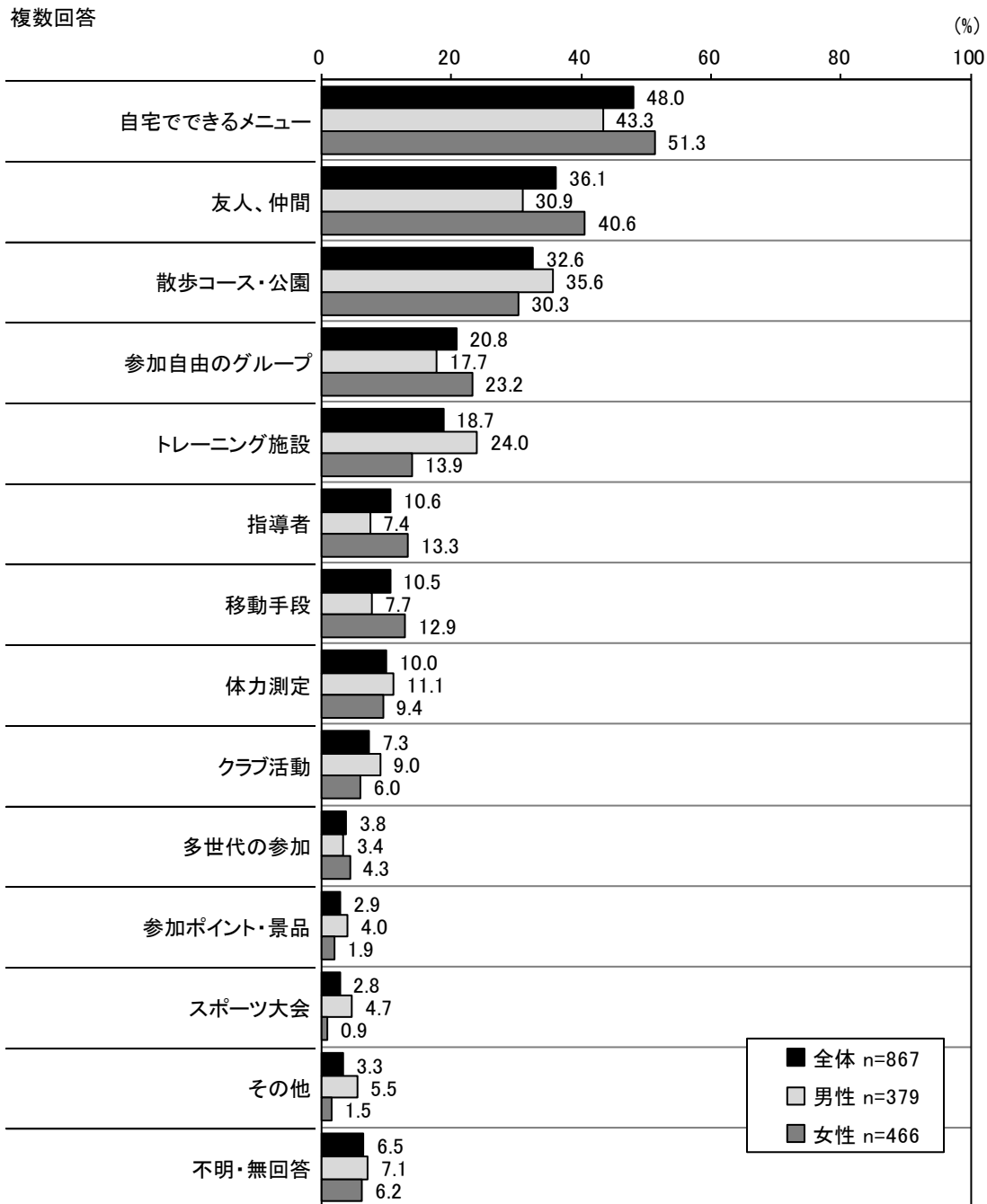
- 前回調査との比較では、「路線バス」が前回から2.4ポイント低下しています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「自動車（自分で運転）」の割合は低下し、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合は上昇しています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】【第二中学校圏域】【第四中学校圏域】は「徒歩」が4割台と他の圏域よりも高い割合となっています。

上位6位		(%)					
		分自 で動 車 運 転 (自)	徒 歩	らに自 う乗動 せ車て も人	自 転 車	タ ク シ ー	路 線 バ ス
全体	n= 867	63.3	34.6	29.4	19.1	10.8	5.0
前回	n= 793	62.2	34.0	29.9	21.3	12.4	7.4
年齢別							
65～69歳	n= 193	88.6	30.6	14.5	12.4	3.1	2.6
70～74歳	n= 234	76.5	33.8	21.4	23.9	6.0	4.7
75～79歳	n= 173	58.4	41.6	30.6	23.7	11.6	3.5
80～84歳	n= 144	46.5	31.9	41.7	19.4	18.8	9.0
85歳以上	n= 101	16.8	30.7	57.4	9.9	24.8	7.9
圏域別							
第一中学校圏域	n= 134	60.4	42.5	27.6	25.4	12.7	6.7
第二中学校圏域	n= 136	64.7	46.3	31.6	24.3	13.2	6.6
第三中学校圏域	n= 120	62.5	32.5	29.2	16.7	15.8	7.5
第四中学校圏域	n= 121	52.9	43.0	26.4	24.0	14.0	7.4
第五中学校圏域	n= 103	64.1	28.2	33.0	17.5	9.7	1.0
第六中学校圏域	n= 78	71.8	21.8	30.8	14.1	7.7	1.3
第七中学校圏域	n= 77	72.7	26.0	27.3	7.8	—	2.6
(旧)南原中学校圏域	n= 76	64.5	13.2	30.3	10.5	6.6	3.9

(9) 運動する習慣をつけるためにあると良いもの

問2(9) 運動する習慣をつけるためにあると良いと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「自宅でできるメニュー」が48.0%と最も高く、次いで「友人、仲間」が36.1%、「散歩コース・公園」が32.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「トレーニング施設」が、【女性】は男性よりも「自宅でできるメニュー」「友人、仲間」の割合が高くなっています。



- 年齢別では、【65～69歳】は「散歩コース・公園」「友人、仲間」「トレーニング施設」が他の年齢階層よりも高い割合となっています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】は「自宅でできるメニュー」「散歩コース・公園」が、【第二中学校圏域】は「参加自由のグループ」が、【第六中学校圏域】は「友人、仲間」が高い割合となっています。

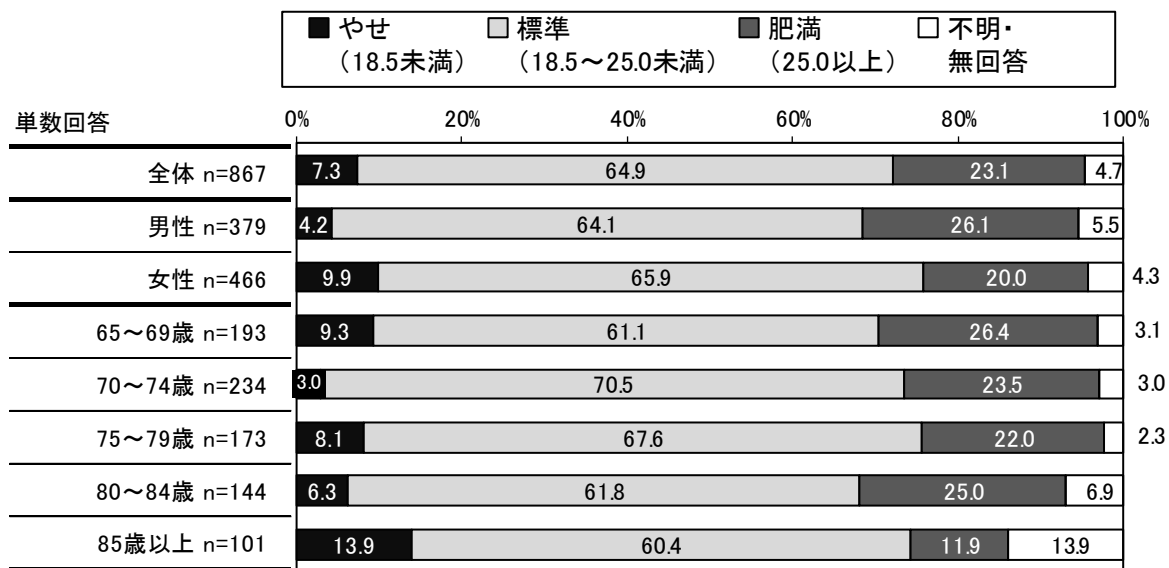
上位6位		(%)					
		自宅でできるメニュー	友人、仲間	散歩コース・公園	参加自由のグループ	トレーニング施設	指導者
全体	n= 867	48.0	36.1	32.6	20.8	18.7	10.6
年齢別							
65～69歳	n= 193	50.3	37.8	46.1	23.8	28.0	13.5
70～74歳	n= 234	50.0	39.3	32.1	19.2	21.8	9.8
75～79歳	n= 173	42.2	34.1	29.5	23.7	10.4	11.0
80～84歳	n= 144	50.7	32.6	31.3	20.1	11.8	9.0
85歳以上	n= 101	42.6	34.7	15.8	13.9	15.8	8.9
圏域別							
第一中学校圏域	n= 134	56.0	39.6	42.5	19.4	17.2	8.2
第二中学校圏域	n= 136	43.4	33.8	30.1	30.9	22.1	8.8
第三中学校圏域	n= 120	49.2	34.2	36.7	15.0	16.7	9.2
第四中学校圏域	n= 121	43.8	38.0	40.5	21.5	21.5	15.7
第五中学校圏域	n= 103	52.4	35.9	24.3	17.5	18.4	13.6
第六中学校圏域	n= 78	43.6	47.4	30.8	19.2	9.0	12.8
第七中学校圏域	n= 77	45.5	28.6	18.2	26.0	19.5	14.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	44.7	31.6	28.9	13.2	21.1	2.6

3 食べることについて

(1) BMI (体重 kg ÷ (身長 m)²)

問3(1)あなたの身長と体重をおうかがいします。(数字を記入 ※整数、小数第1位は四捨五入)

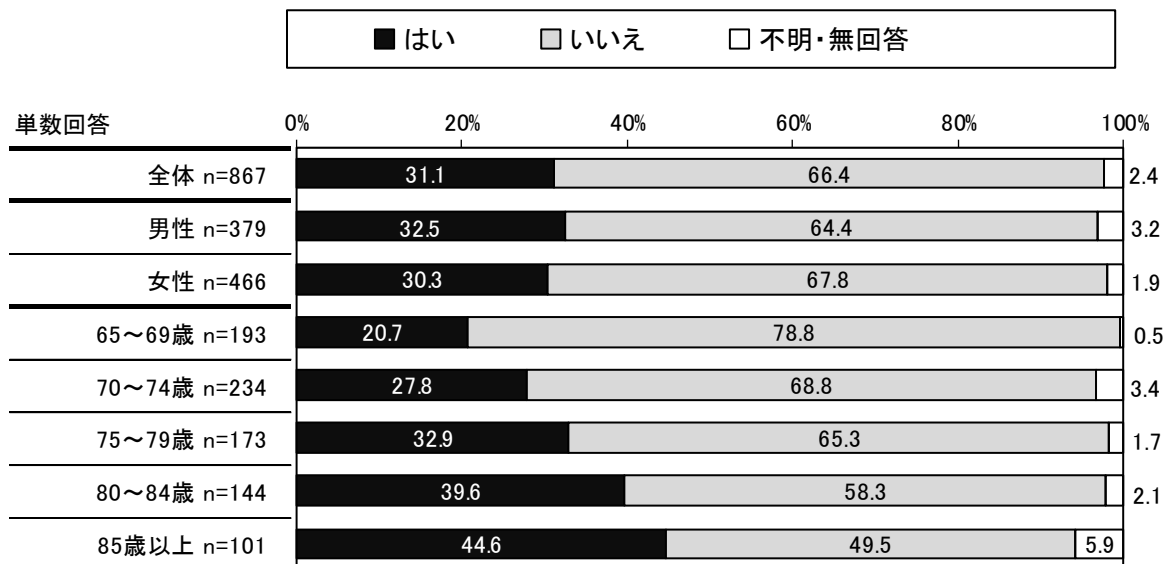
- 全体では、「標準(18.5～25.0未満)」が64.9%と最も高く、次いで「肥満(25.0以上)」が23.1%、「やせ(18.5未満)」が7.3%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「やせ(18.5未満)」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、【85歳以上】は「やせ(18.5未満)」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(2) 咀嚼機能（半年前と比べた固いものの食べにくさ）

問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

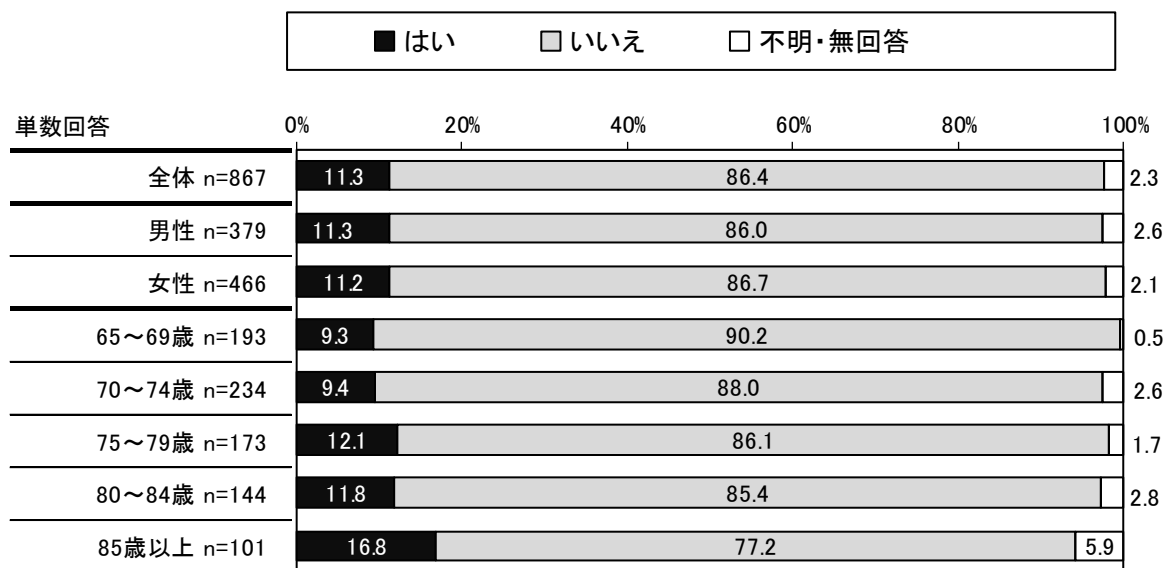
- 全体では、「いいえ」が66.4%、「はい」が31.1%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が上昇しています。



(3) 物をかんだり、飲み込む力をつけるための取り組みの有無

問3(3) 物をかんだり、飲み込む力をつけるために取り組んでいることはありますか。(○は1つ)

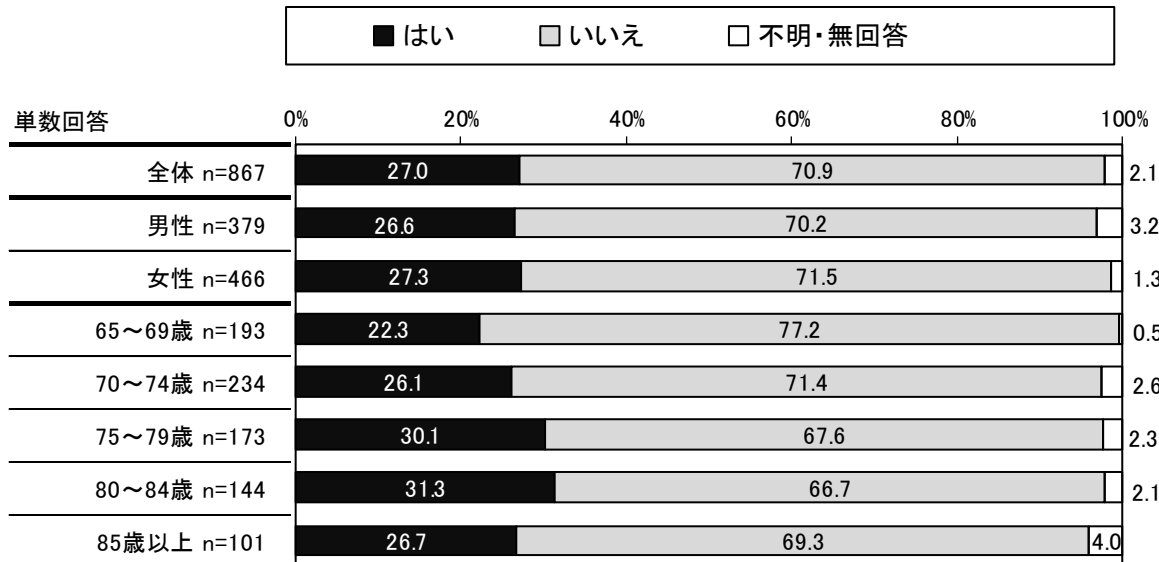
- 全体では、「いいえ」が86.4%、「はい」が11.3%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(4) お茶や汁物等でむせること

問3(4) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

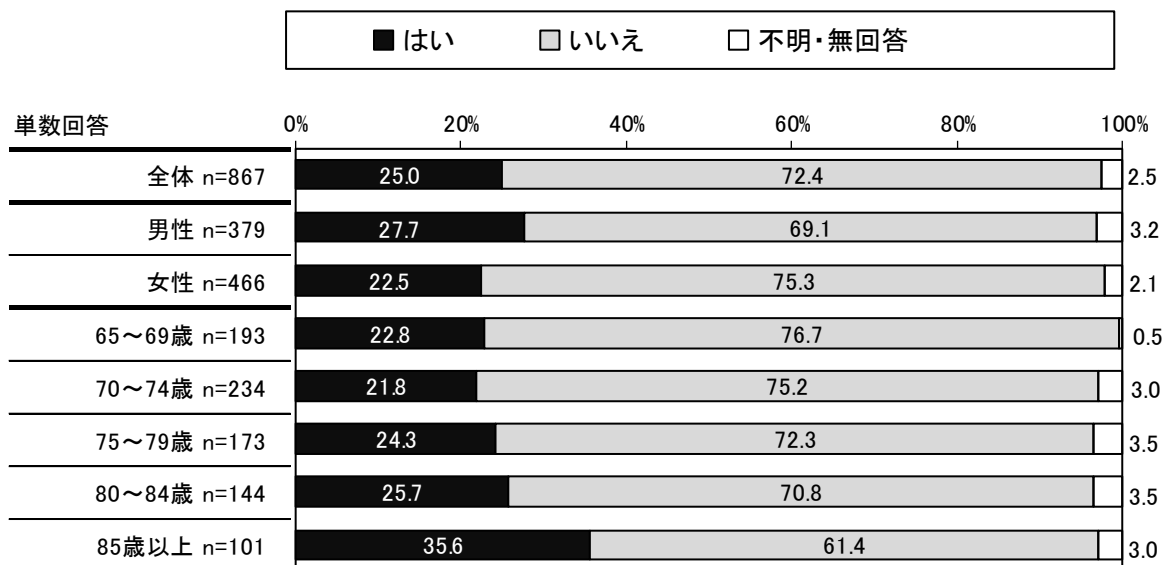
- 全体では、「いいえ」が70.9%、「はい」が27.0%となっています。
- 性別及び年齢別では、特筆すべき差はみられません。



(5) 口の渇きが気になること

問3(5) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

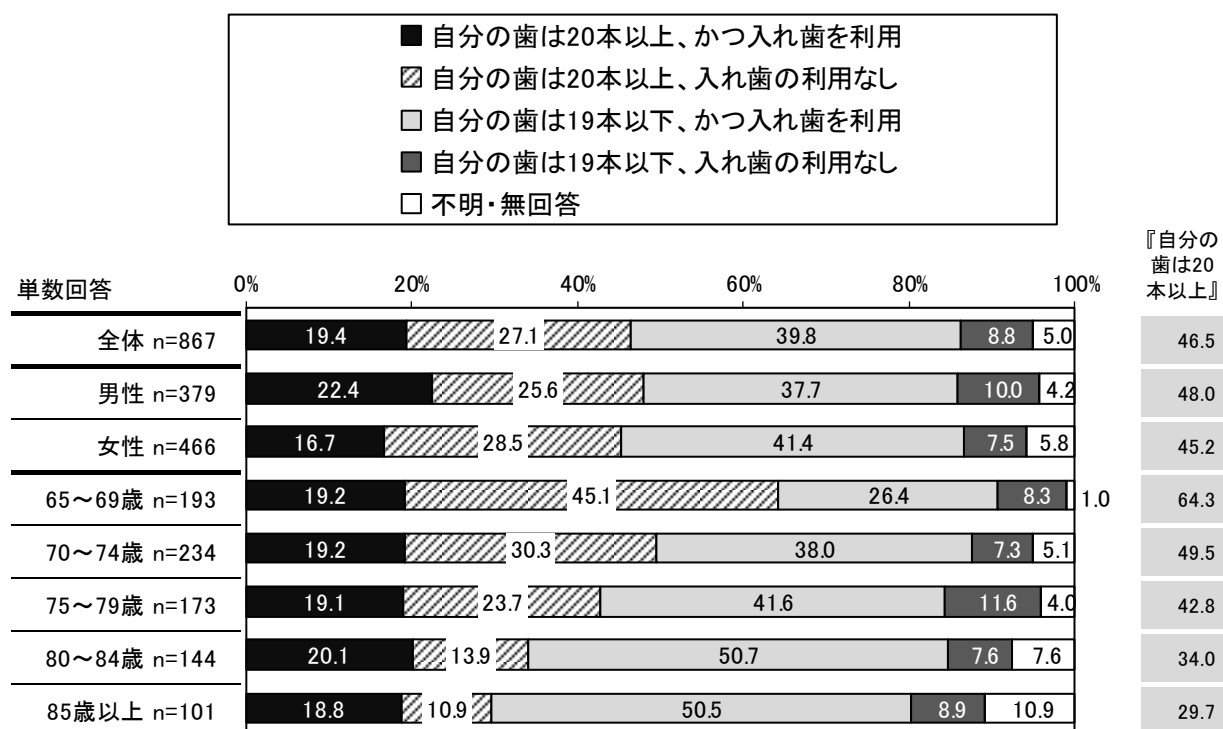
- 全体では、「いいえ」が72.4%、「はい」が25.0%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「はい」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、【85歳以上】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

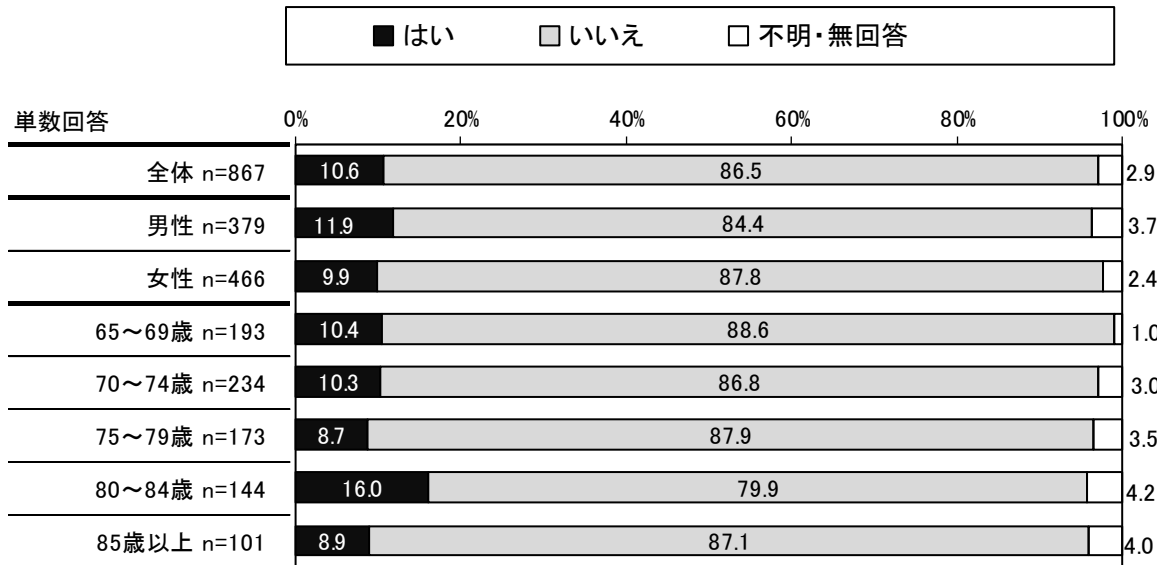
- 全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.8%と最も高くなっています。次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が27.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の19.4%と合わせると『自分の歯が20本以上』は46.5%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低下しています。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少

問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

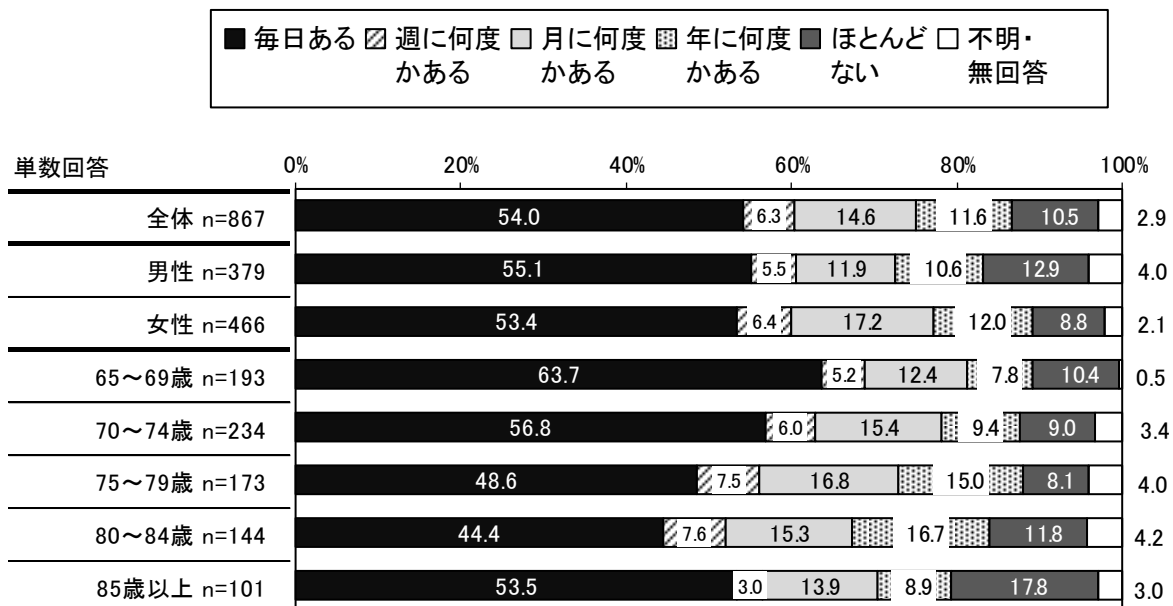
- 全体では、「いいえ」が86.5%、「はい」が10.6%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【80～84歳】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(8) どなたかと食事をとにもする機会

問3(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

- 全体では、「毎日ある」が54.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」が14.6%となっています。なお、「ほとんどない」は10.5%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【80～84歳】までは年齢階層が高くなるにつれて「毎日ある」という割合が低下しています。【85歳以上】は「ほとんどない」という割合が他の年齢階層よりも高くなっています。

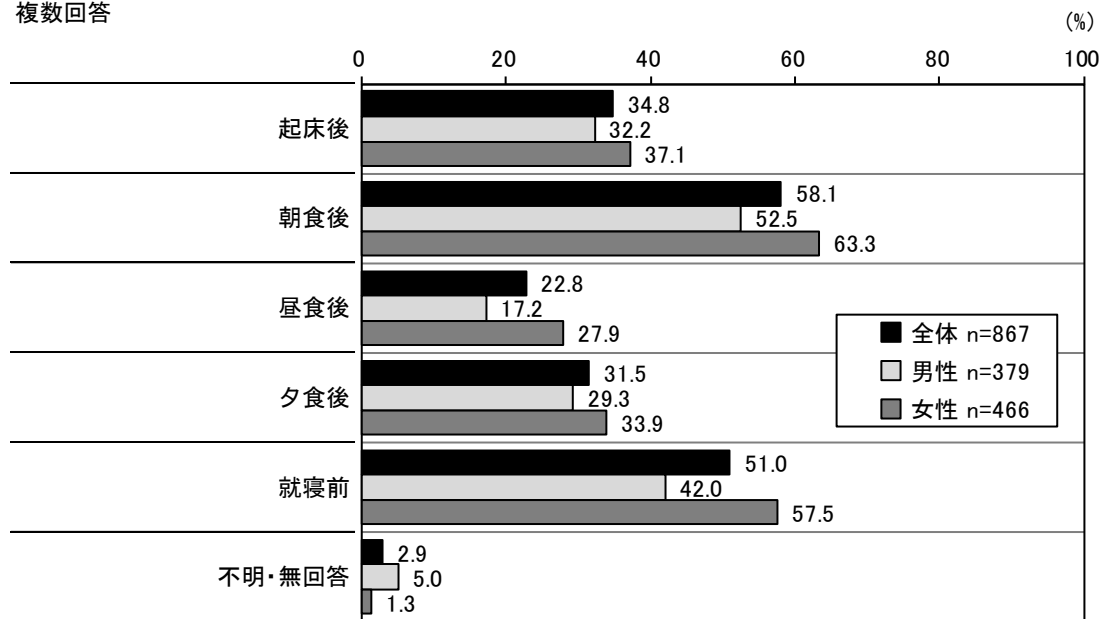


(9) 歯磨きを行う機会

問3(9) 歯磨きはいつ行っていますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「朝食後」が58.1%と最も高く、次いで「就寝前」が51.0%、「起床後」が34.8%、「夕食後」が31.5%となっています。
- 性別では、【女性】はいずれも男性よりも高い割合となっており、中でも「就寝前」は男性との差が大きくなっています。
- 年齢別では、【85歳以上】は「朝食後」「昼食後」の割合が他の年齢階層よりも低いなど、全体的に歯磨きの回数が少ない傾向がみられます。

複数回答



【年齢別】

(%)

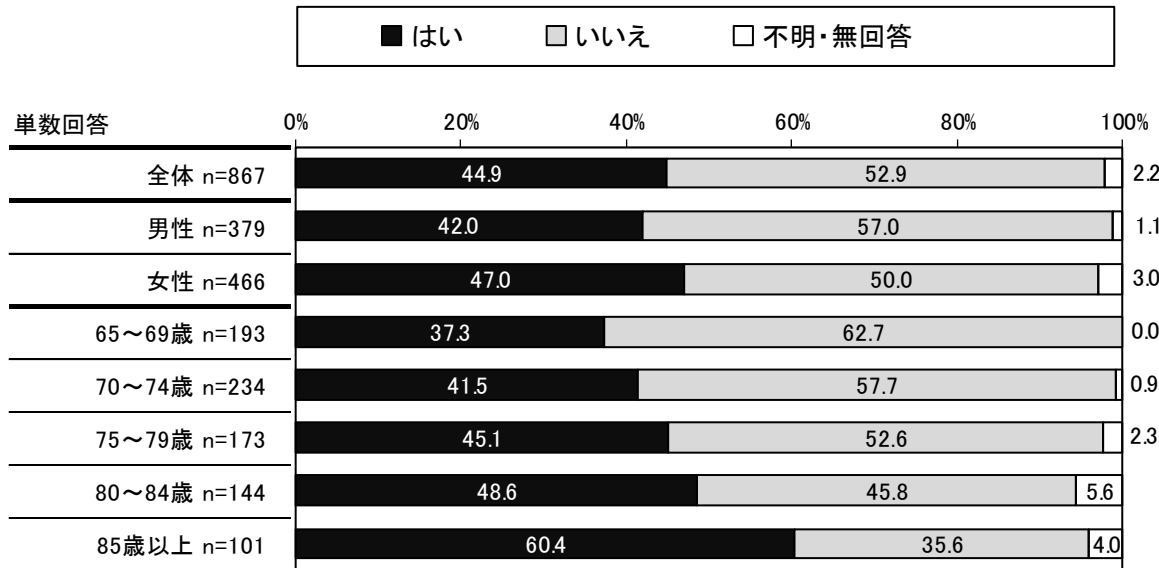
		起床後	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	不明・無回答	
全体		n= 867	34.8	58.1	22.8	31.5	51.0	2.9
年齢別	65～69歳	n= 193	30.6	68.4	28.5	26.4	59.6	0.5
	70～74歳	n= 234	32.9	63.7	23.1	36.3	47.0	3.4
	75～79歳	n= 173	34.1	55.5	21.4	32.9	55.5	2.9
	80～84歳	n= 144	41.0	56.3	22.2	32.6	41.0	2.8
	85歳以上	n= 101	40.6	35.6	16.8	28.7	46.5	6.9

4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じること

問4(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

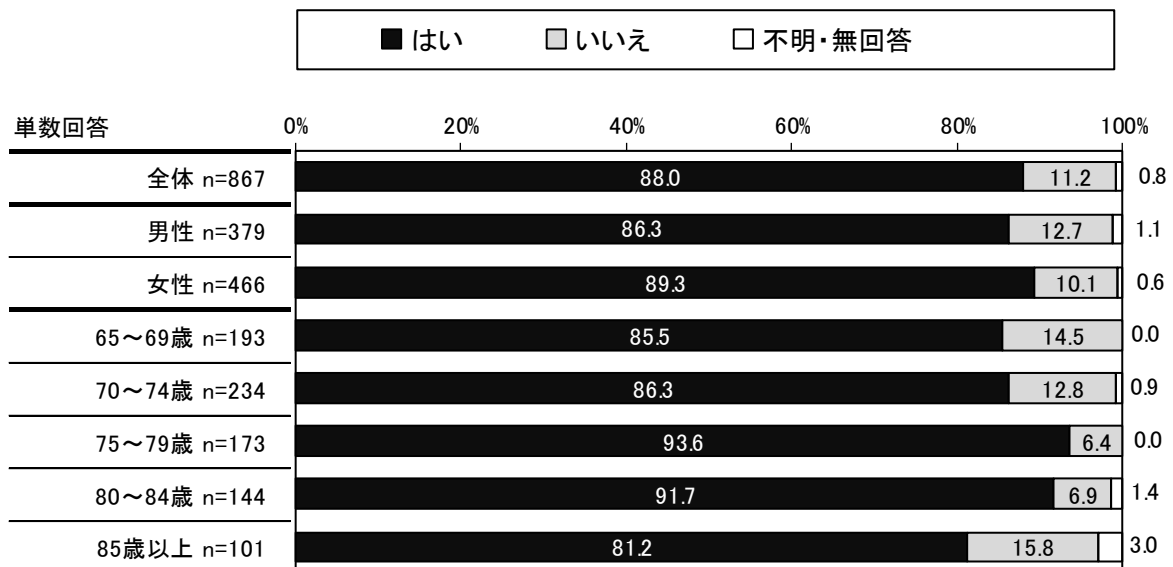
- 全体では、「いいえ」が52.9%、「はい」が44.9%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「はい」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が上昇しています。



(2) 電話番号を調べて、電話をかけること

問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

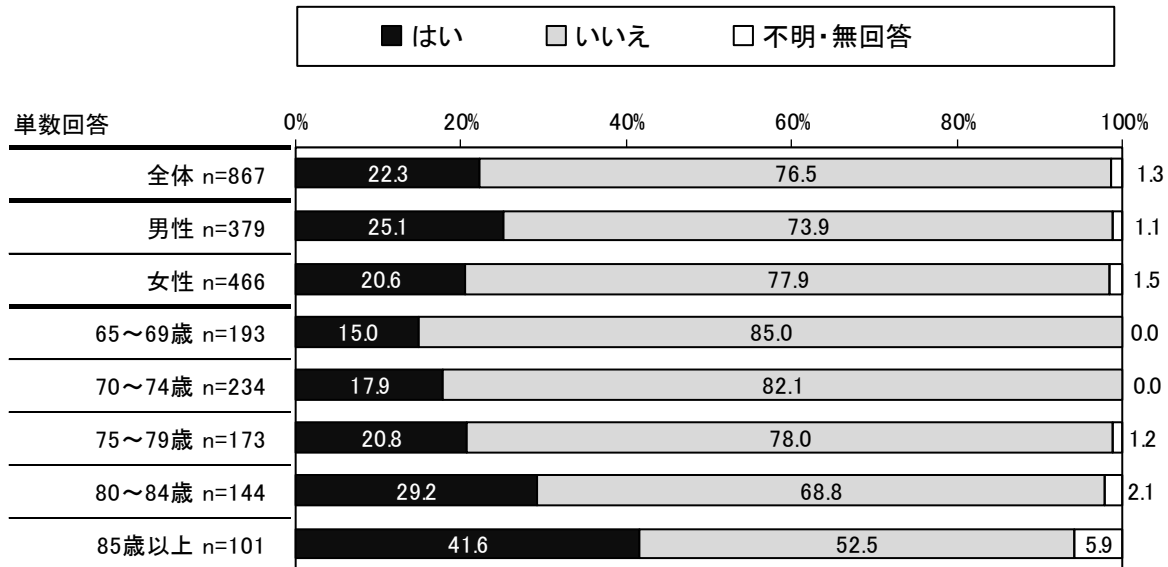
- 全体では、「はい」が88.0%、「いいえ」が11.2%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも低くなっています。



(3) 今日が何月何日かわからないこと

問4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

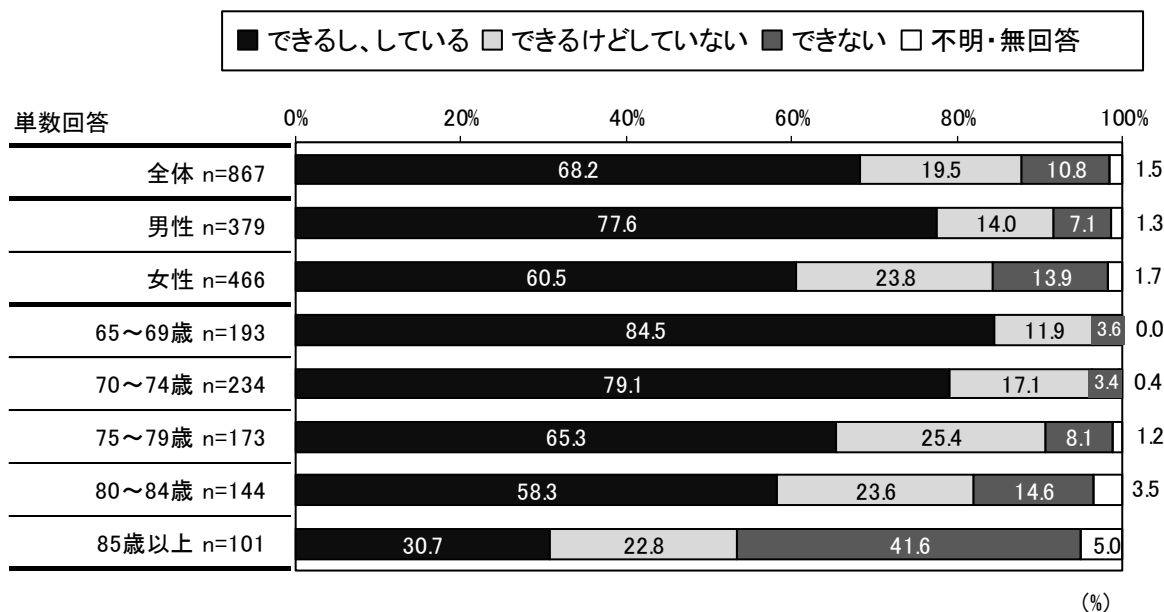
- 全体では、「いいえ」が76.5%、「はい」が22.3%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「はい」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が上昇しています。



(4) バスや電車を使って1人で外出すること

問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

- 全体では、「できるし、している」が68.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.5%、「できない」が10.8%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「できるけどしていない」「できない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下しています。
- 前回調査との比較では、「できるけどしていない」が前回から5.4ポイント上昇し、「できるし、している」が5.2ポイント低下しています。
- 圏域別では、【(旧)南原中学校圏域】は「できるけどしていない」割合が他の圏域よりも高くなっています。

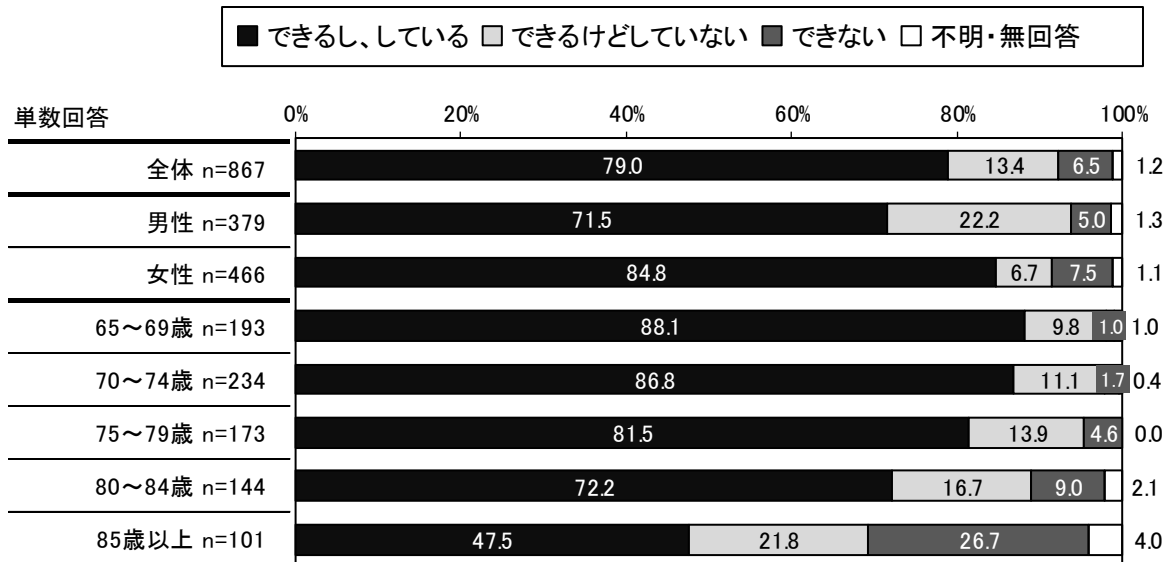


		いしで る、き しる て	など でい しき てる いけ	で き な い	回不 答明 ・無
全体	n= 867	68.2	19.5	10.8	1.5
前回調査	n= 793	73.4	14.1	9.3	3.2
圏域別					
第一中学校圏域	n= 134	72.4	17.9	9.7	-
第二中学校圏域	n= 136	70.6	19.1	9.6	0.7
第三中学校圏域	n= 120	73.3	13.3	10.8	2.5
第四中学校圏域	n= 121	65.3	20.7	12.4	1.7
第五中学校圏域	n= 103	64.1	23.3	9.7	2.9
第六中学校圏域	n= 78	67.9	17.9	10.3	3.8
第七中学校圏域	n= 77	64.9	20.8	13.0	1.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	61.8	25.0	13.2	-

(5) 食品・日用品の買物をする事

問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

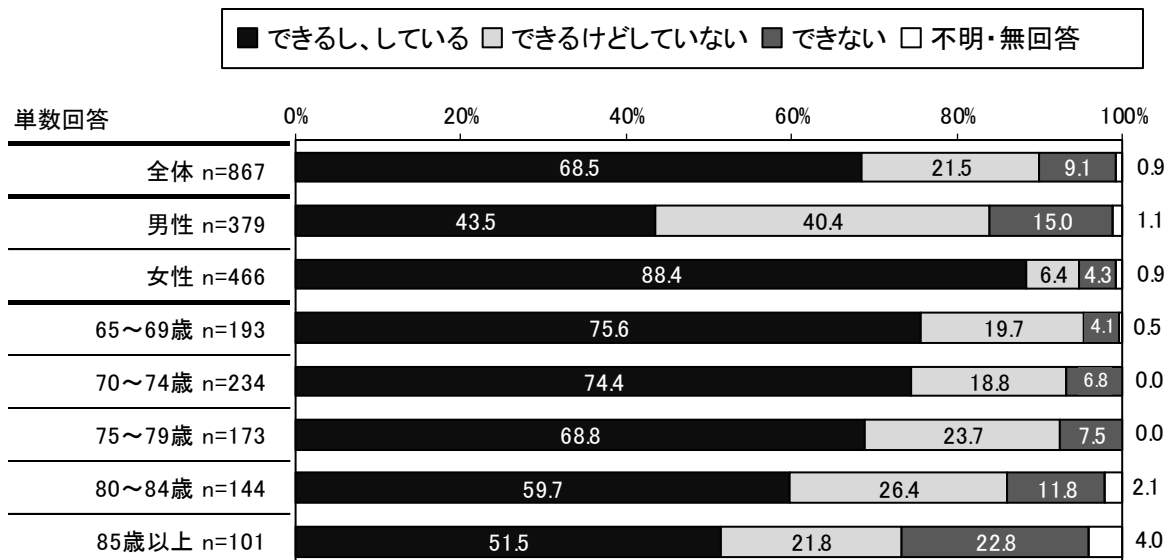
- 全体では、「できるし、している」が79.0 %と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が6.5%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「できるけどしていない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるけどしていない」割合が低下しています。



(6) 食事の用意をする事

問4(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

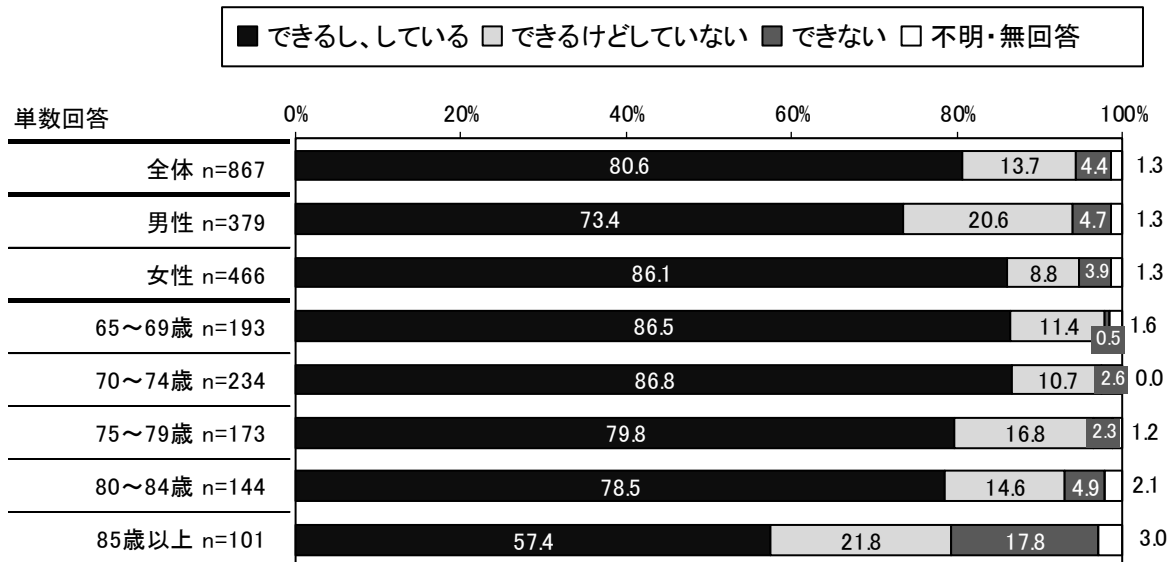
- 全体では、「できるし、している」が68.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.5%、「できない」が9.1%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「できるけどしていない」割合が高く、男女差が大きくなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下しています。



(7) 請求書の支払いをすること

問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

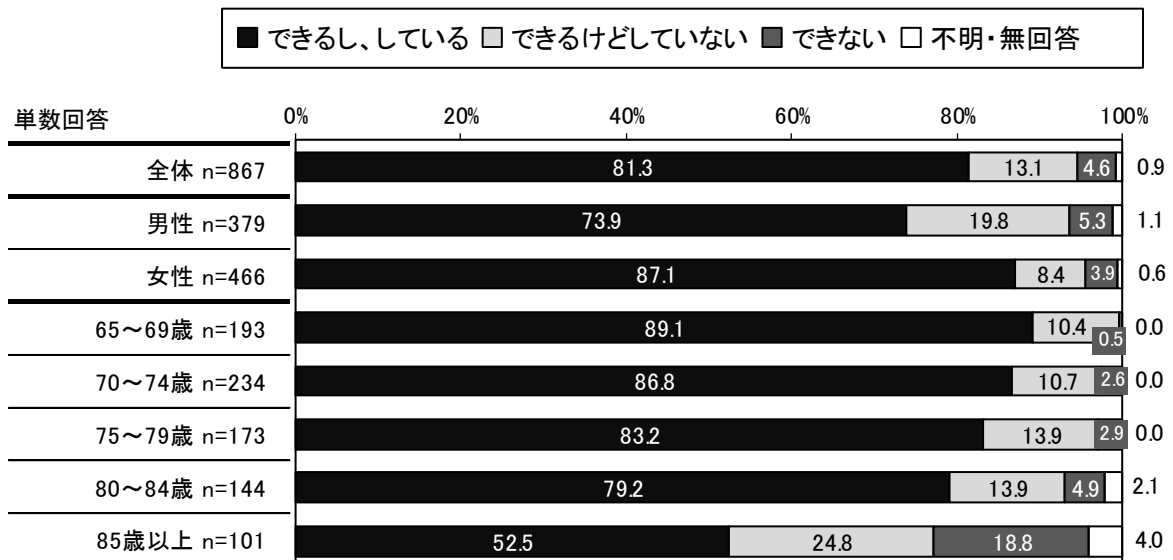
- 全体では、「できるし、している」が80.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が4.4%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「できるけどしていない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、【70～74歳】以上は年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下しています。



(8) 預貯金の出し入れをすること

問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

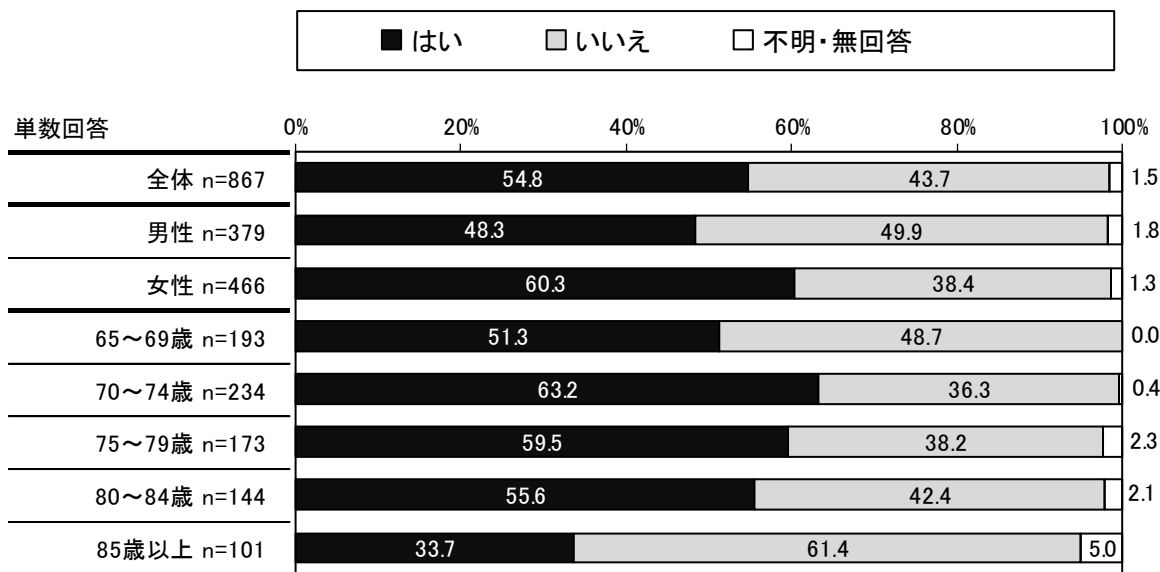
- 全体では、「できるし、している」が81.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が4.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「できるけどしていない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「できるし、している」割合が低下しています。



(9) 友人の家を訪ねること

問4(9) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

- 全体では、「はい」が54.8%、「いいえ」が43.7%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「いいえ」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、【70～74歳】以上は年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が低下しています。
- 前回調査との比較では、「はい」の割合が前回から6.6ポイント低下し、「いいえ」が7.3ポイント上昇しています。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっていますが、【第三中学校圏域】は低くなっています。



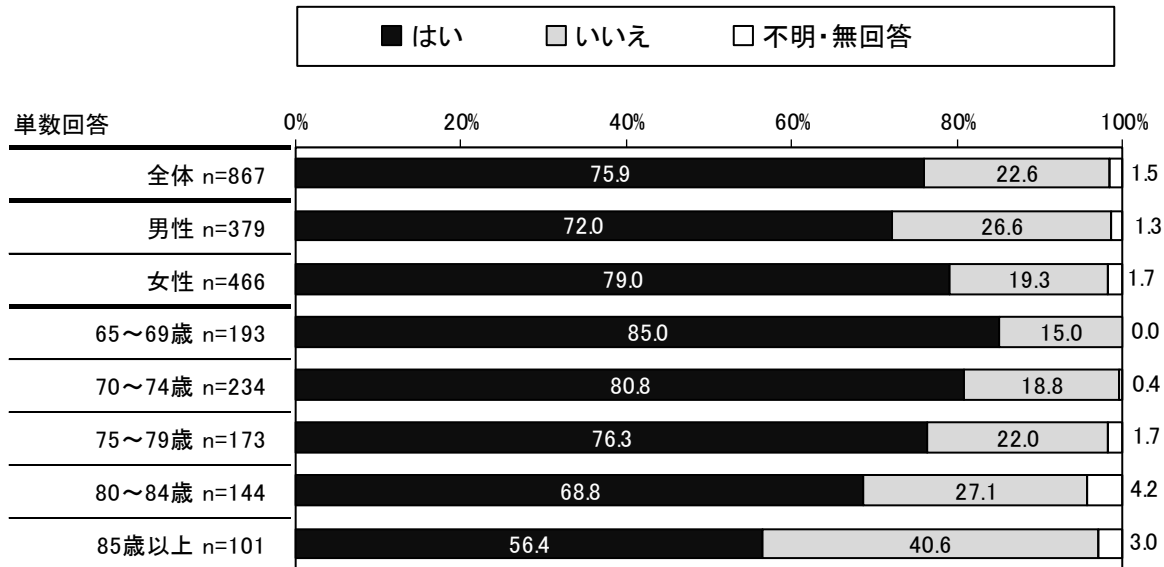
(%)

		はい	いいえ	不明・無回答
全体	n= 867	54.8	43.7	1.5
前回調査	n= 379	61.4	36.4	2.1
圏域別				
第一中学校圏域	n= 134	54.5	45.5	—
第二中学校圏域	n= 136	61.0	39.0	—
第三中学校圏域	n= 120	48.3	50.8	0.8
第四中学校圏域	n= 121	55.4	43.0	1.7
第五中学校圏域	n= 103	56.3	38.8	4.9
第六中学校圏域	n= 78	52.6	44.9	2.6
第七中学校圏域	n= 77	57.1	41.6	1.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	52.6	44.7	2.6

(10) 家族や友人の相談にのること

問4(10) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

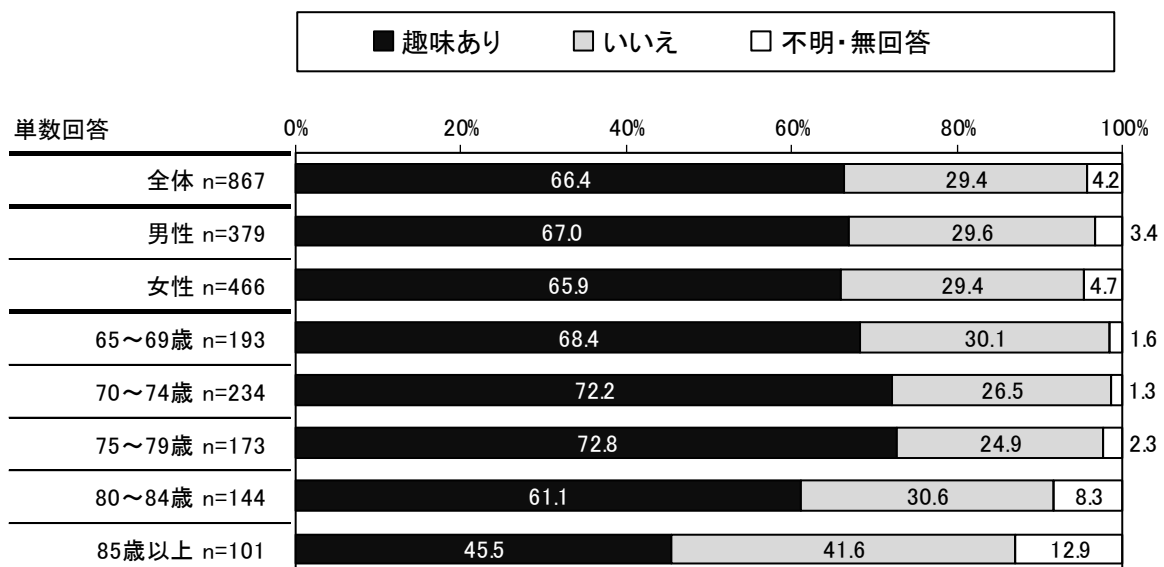
- 全体では、「はい」が75.9%、「いいえ」が22.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「いいえ」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「はい」の割合が低下しています。



(11) 趣味の有無

問4(11) 趣味はありますか。(○は1つ)

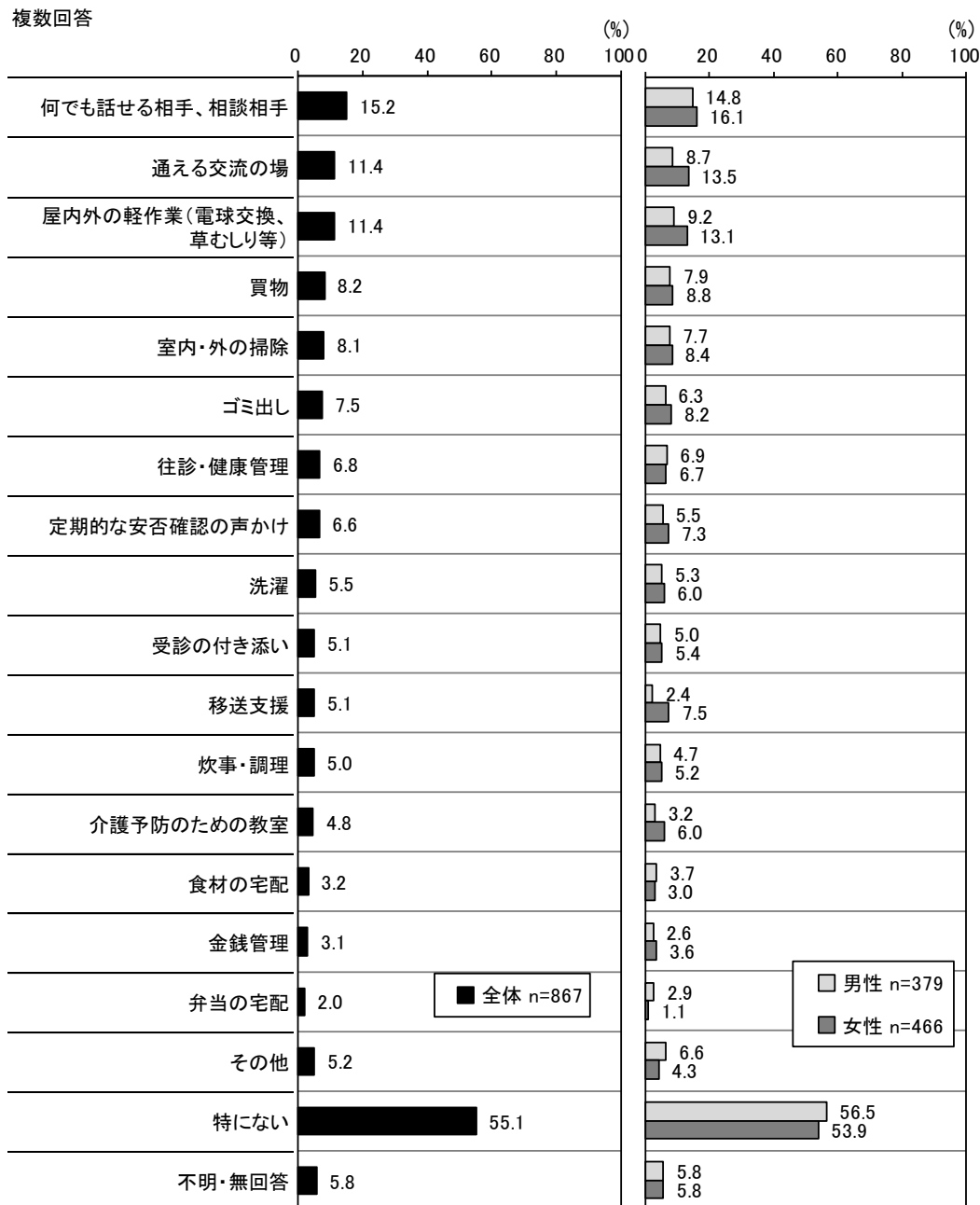
- 全体では、「趣味あり」が66.4%、「いいえ」が29.4%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【80～84歳】【85歳以上】は「趣味あり」の割合が他の年齢階層よりも低くなっています。



(12) 普段の生活に必要な支援

問4(12) あなたは、普段の生活でどのような支援が必要と感じますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「特にない」が55.1%と最も高くなっています。必要な支援としては、「何でも話せる相手、相談相手」が15.2%、「通える交流の場」「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」が同率で11.4%と高くなっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「通える交流の場」の割合が高くなっています。



- 前回調査との比較では、低下しているものが多く、中でも「通える交流の場」が前回から6.3ポイント低下しています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて割合が上昇するものが多く、中でも「買物」は年齢階層による差が大きくなっています。また、「特にない」割合は低下しています。
- 圏域別では、【第六中学校圏域】は「何でも話せる相手、相談相手」「屋内外の軽作業（電球交換、草むしり等）」「往診・健康管理」の割合が他の圏域よりも高くなっています。

上位7位及び「特にない」

(%)

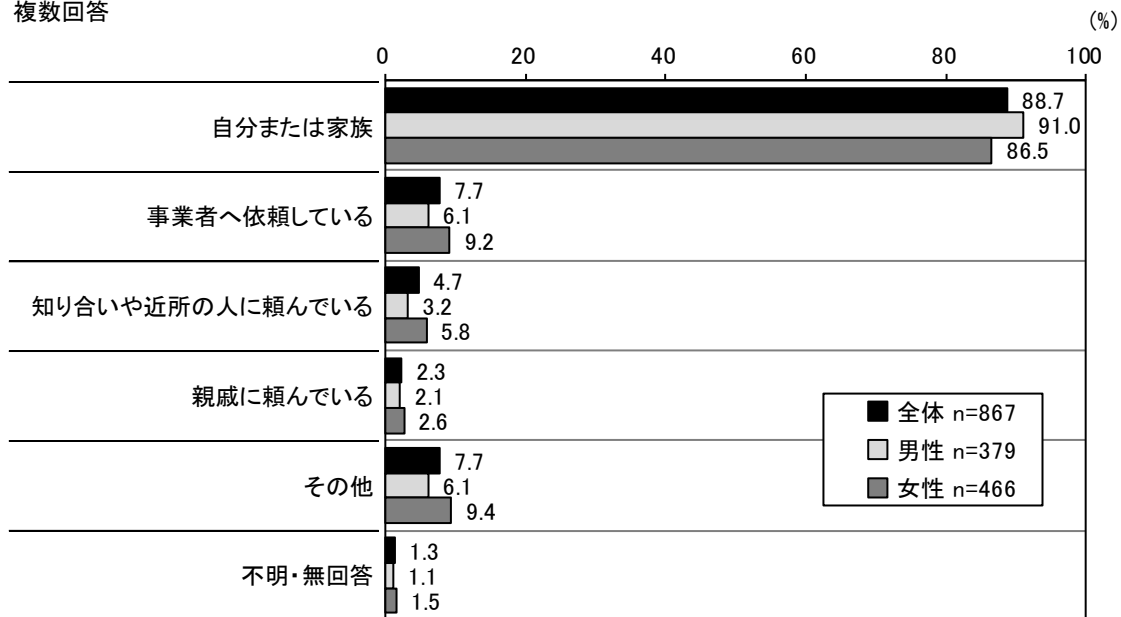
		談る何 相相 手手 も 、 話 相 せ	の通 場 え る 交 流	し交作屋 り換業内 等、(外 草電の む球軽	買 物	掃室 除内 ・ 外 の	ゴミ 出 し	管往 理診 ・ 健 康	特 に な い
全体	n= 867	15.2	11.4	11.4	8.2	8.1	7.5	6.8	55.1
前回	n= 793	18.8	17.7	15.4	10.3	12.1	9.7	7.1	-
年齢別									
65～69歳	n= 193	10.4	6.2	3.1	1.0	3.6	1.6	2.6	69.9
70～74歳	n= 234	12.4	9.4	8.1	3.4	3.0	4.3	3.0	65.4
75～79歳	n= 173	16.8	14.5	13.9	8.1	9.8	6.9	8.1	49.7
80～84歳	n= 144	18.8	15.3	19.4	13.2	12.5	11.8	9.0	45.8
85歳以上	n= 101	25.7	14.9	18.8	27.7	18.8	19.8	17.8	24.8
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	16.4	13.4	13.4	9.7	6.7	6.7	6.7	54.5
第二中学校圏域	n= 136	16.2	15.4	13.2	8.8	8.8	7.4	5.1	53.7
第三中学校圏域	n= 120	16.7	8.3	11.7	5.8	7.5	3.3	12.5	54.2
第四中学校圏域	n= 121	16.5	9.1	8.3	8.3	8.3	8.3	3.3	52.9
第五中学校圏域	n= 103	15.5	8.7	11.7	12.6	12.6	10.7	4.9	53.4
第六中学校圏域	n= 78	20.5	15.4	16.7	9.0	9.0	11.5	12.8	51.3
第七中学校圏域	n= 77	13.0	11.7	7.8	7.8	5.2	7.8	5.2	62.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	6.6	7.9	6.6	3.9	5.3	3.9	3.9	61.8

(13) 冬の除雪をする人

問4(13) 冬の除雪は誰がしますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「自分または家族」が88.7%と最も高く、次いで「事業者へ依頼している」が7.7%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「自分または家族」の割合がやや高くなっています。
- 前回調査との比較では、大きな差はみられませんが、「自分または家族」が前回よりも1.5ポイント低下しています。
- 年齢別では、【85歳以上】は他の年齢階層よりも「自分または家族」の割合が低く、「事業者へ依頼している」が高くなっています。

複数回答

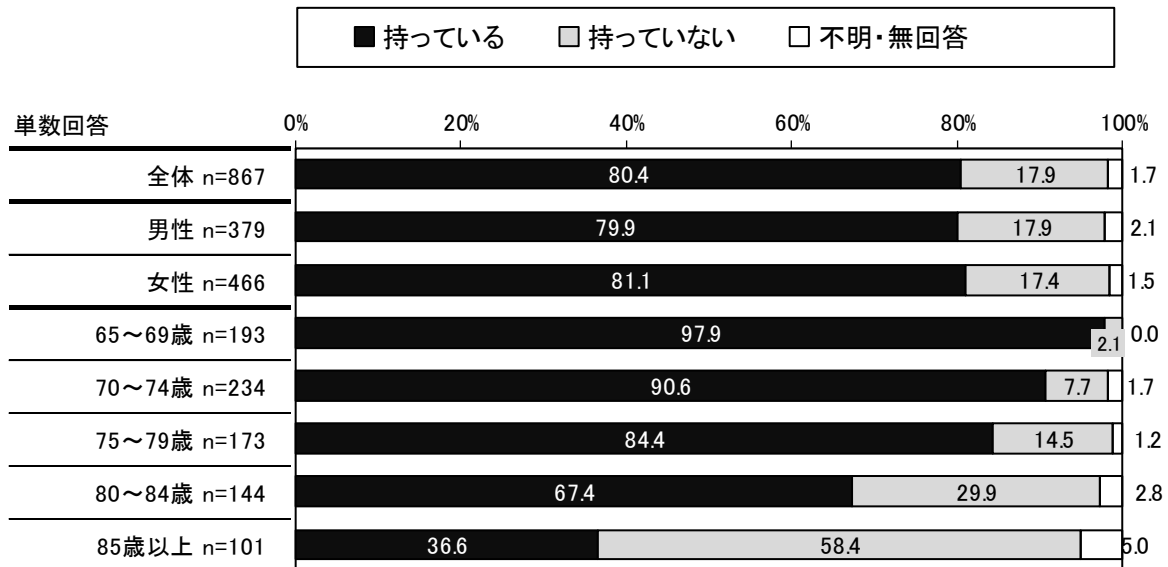


		家自	頼事	頼近知	で親	そ	答
		族分	業者	り所	い戚	他	明・
		または	依頼	の合	るに		無
		は	する依	い人	頼		回
				にや	ん		
全体	n= 867	88.7	7.7	4.7	2.3	7.7	1.3
前回	n= 793	90.2	6.7	4.9	1.8	2.5	3.2
年齢別							
65～69歳	n= 193	94.8	4.1	1.0	2.6	4.7	—
70～74歳	n= 234	89.7	6.0	3.0	0.4	10.3	0.9
75～79歳	n= 173	90.2	9.8	5.8	4.6	6.9	0.6
80～84歳	n= 144	84.7	7.6	7.6	2.8	9.0	2.1
85歳以上	n= 101	76.2	15.8	8.9	2.0	8.9	5.0
圏域別							
第一中学校圏域	n= 134	89.6	9.7	5.2	3.0	11.9	—
第二中学校圏域	n= 136	88.2	9.6	2.2	0.7	8.8	1.5
第三中学校圏域	n= 120	82.5	10.0	8.3	1.7	11.7	2.5
第四中学校圏域	n= 121	82.6	7.4	4.1	1.7	11.6	—
第五中学校圏域	n= 103	92.2	6.8	4.9	3.9	1.9	1.0
第六中学校圏域	n= 78	91.0	7.7	5.1	6.4	3.8	2.6
第七中学校圏域	n= 77	94.8	1.3	3.9	1.3	1.3	1.3
(旧)南原中学校圏域	n= 76	92.1	6.6	2.6	1.3	6.6	2.6

(14) 携帯電話またはスマートフォンの所持状況

問4(14) ご自分の携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。(○は1つ)

- 全体では、「持っている」が80.4%、「持っていない」が17.9%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「持っている」割合が低下しています。
- 前回調査との比較では、「持っている」割合が9.3ポイント上昇しています。



【前回調査】		(%)		
		持っている	持っていない	不明・無回答
全体	n= 867	80.4	17.9	1.7
前回調査	n= 793	71.1	26.7	2.1

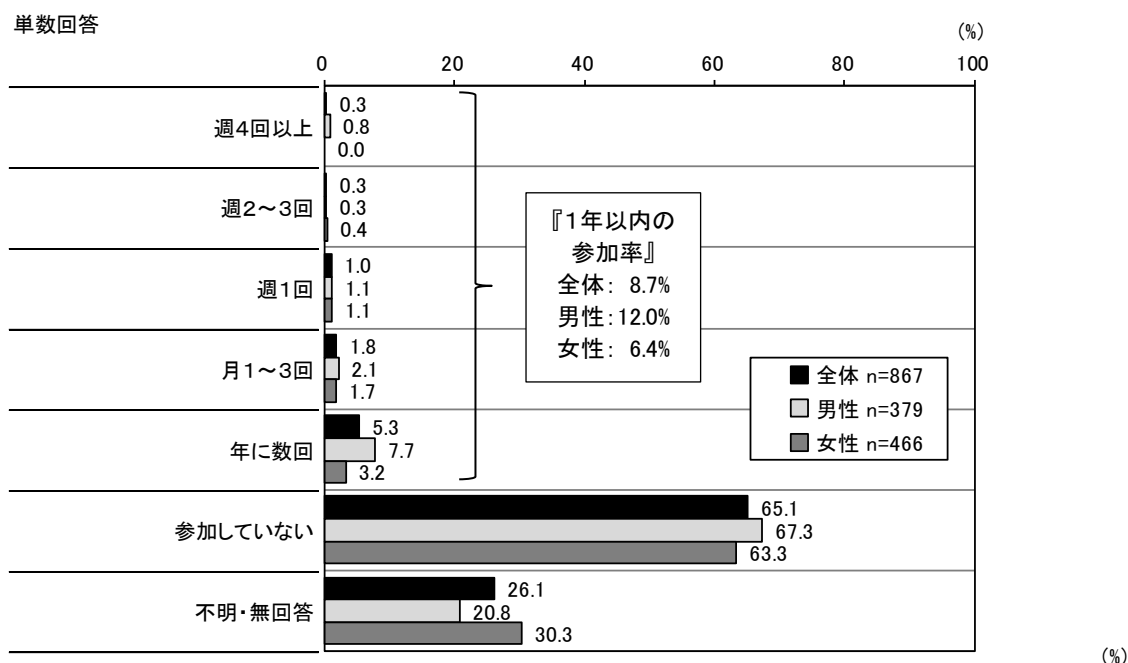
5 地域での活動等について

(1) 地域活動等への参加状況

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらい参加していますか。(①～⑧それぞれ○は1つ)

① ボランティアのグループ

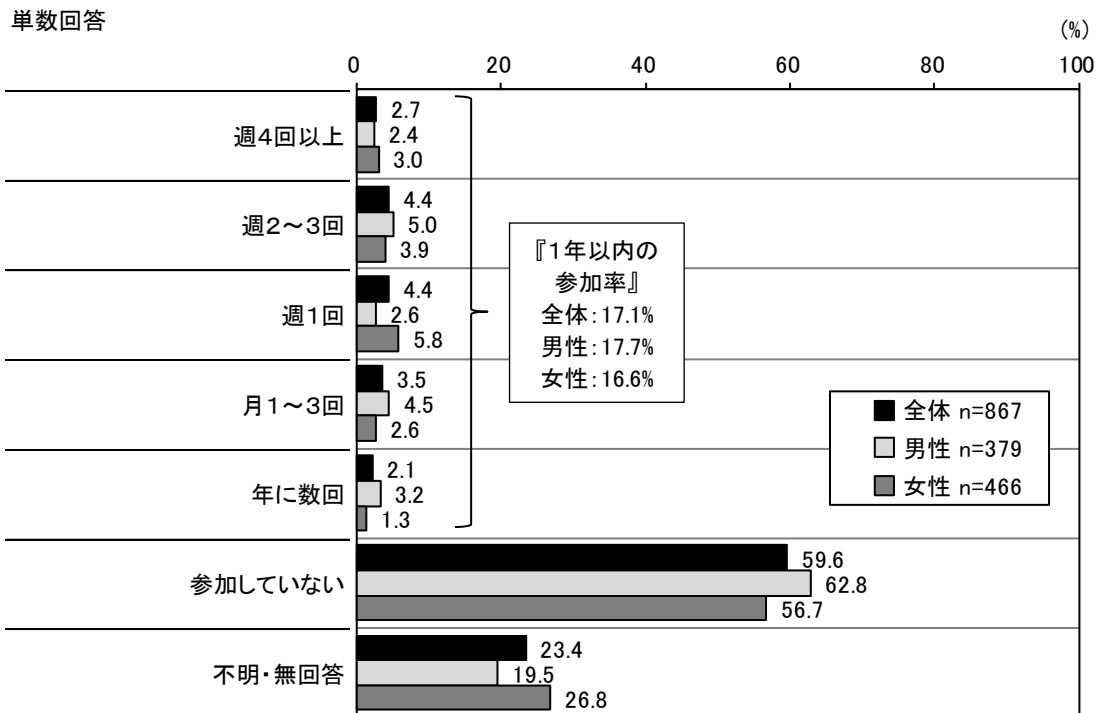
- 全体では、「参加していない」が65.1%と最も高く、次いで「年に数回」が5.3%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は8.7%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも『1年以内の参加率』が高くなっています。
- 前回調査との比較では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【65～69歳】は『1年以内の参加率』が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、特筆すべき差はみられません。



		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	不明・無回答	率内『1年以内の参加率』
全体	n= 867	0.3	0.3	1.0	1.8	5.3	65.1	26.1	8.7
前回	n= 793	0.8	0.6	0.9	1.6	5.3	48.5	42.4	9.2
年齢別									
65～69歳	n= 193	0.5	1.0	1.0	4.1	6.7	71.5	15.0	13.3
70～74歳	n= 234	0.4	0.4	0.9	1.3	7.3	66.2	23.5	10.3
75～79歳	n= 173	-	-	0.6	1.7	4.0	65.3	28.3	6.3
80～84歳	n= 144	-	-	1.4	1.4	3.5	60.4	33.3	6.3
85歳以上	n= 101	1.0	-	2.0	-	2.0	56.4	38.6	5.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	-	0.7	0.7	2.2	5.2	71.6	19.4	8.8
第二中学校圏域	n= 136	0.7	1.5	2.9	3.7	3.7	64.7	22.8	12.5
第三中学校圏域	n= 120	-	-	-	1.7	7.5	65.0	25.8	9.2
第四中学校圏域	n= 121	-	-	0.8	0.8	3.3	71.1	24.0	4.9
第五中学校圏域	n= 103	1.0	-	-	1.0	7.8	62.1	28.2	9.8
第六中学校圏域	n= 78	1.3	-	1.3	1.3	3.8	57.7	34.6	7.7
第七中学校圏域	n= 77	-	-	2.6	2.6	3.9	62.3	28.6	9.1
(旧)南原中学校圏域	n= 76	-	-	-	1.3	6.6	59.2	32.9	7.9

② スポーツ関係のグループやクラブ

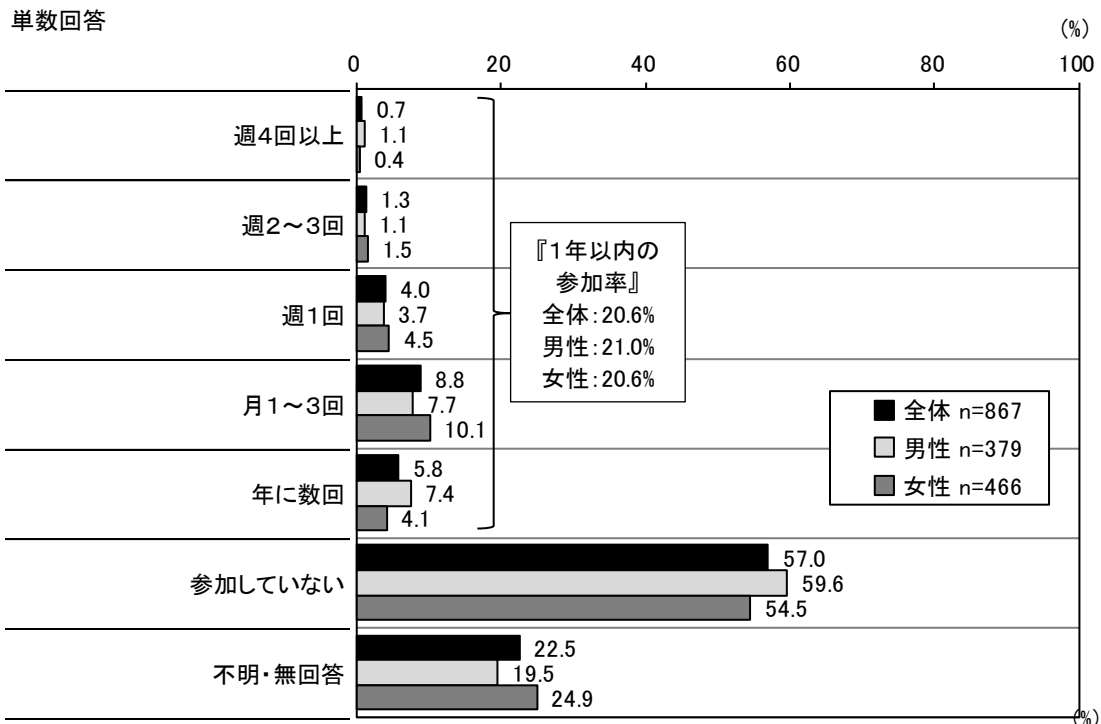
- 全体では、「参加していない」が59.6%と最も高く、次いで「週2～3回」「週1回」が同率で4.4%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は17.1%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 前回調査との比較では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【80～84歳】【85歳以上】は『1年以内の参加率』が他の年齢階層よりも低くなっています。
- 圏域別では、【第四中学校圏域】は『1年以内の参加率』が他の圏域よりも高くなっています。



		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回以上	年に数回	参加していない	不明・無回答	『1年以内の参加率』
全体	n= 867	2.7	4.4	4.4	3.5	2.1	59.6	23.4	17.1
前回	n= 793	2.9	3.7	4.3	2.6	2.8	45.3	38.5	16.3
年齢別									
65～69歳	n= 193	1.0	7.3	5.7	3.1	0.5	68.4	14.0	17.6
70～74歳	n= 234	3.8	5.6	3.0	4.7	2.6	60.7	19.7	19.7
75～79歳	n= 173	5.8	2.9	6.4	3.5	4.0	53.2	24.3	22.6
80～84歳	n= 144	1.4	3.5	3.5	4.2	2.1	54.9	30.6	14.7
85歳以上	n= 101	-	-	3.0	-	1.0	56.4	39.6	4.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	4.5	2.2	4.5	6.7	2.2	61.9	17.9	20.1
第二中学校圏域	n= 136	0.7	5.9	5.1	2.9	1.5	59.6	24.3	16.1
第三中学校圏域	n= 120	1.7	5.0	3.3	2.5	2.5	61.7	23.3	15.0
第四中学校圏域	n= 121	3.3	8.3	5.8	3.3	2.5	57.0	19.8	23.2
第五中学校圏域	n= 103	2.9	3.9	4.9	2.9	1.9	61.2	22.3	16.5
第六中学校圏域	n= 78	2.6	2.6	3.8	1.3	5.1	52.6	32.1	15.4
第七中学校圏域	n= 77	2.6	3.9	3.9	2.6	-	61.0	26.0	13.0
(旧)南原中学校圏域	n= 76	3.9	1.3	2.6	3.9	1.3	57.9	28.9	13.0

③ 趣味関係のグループ

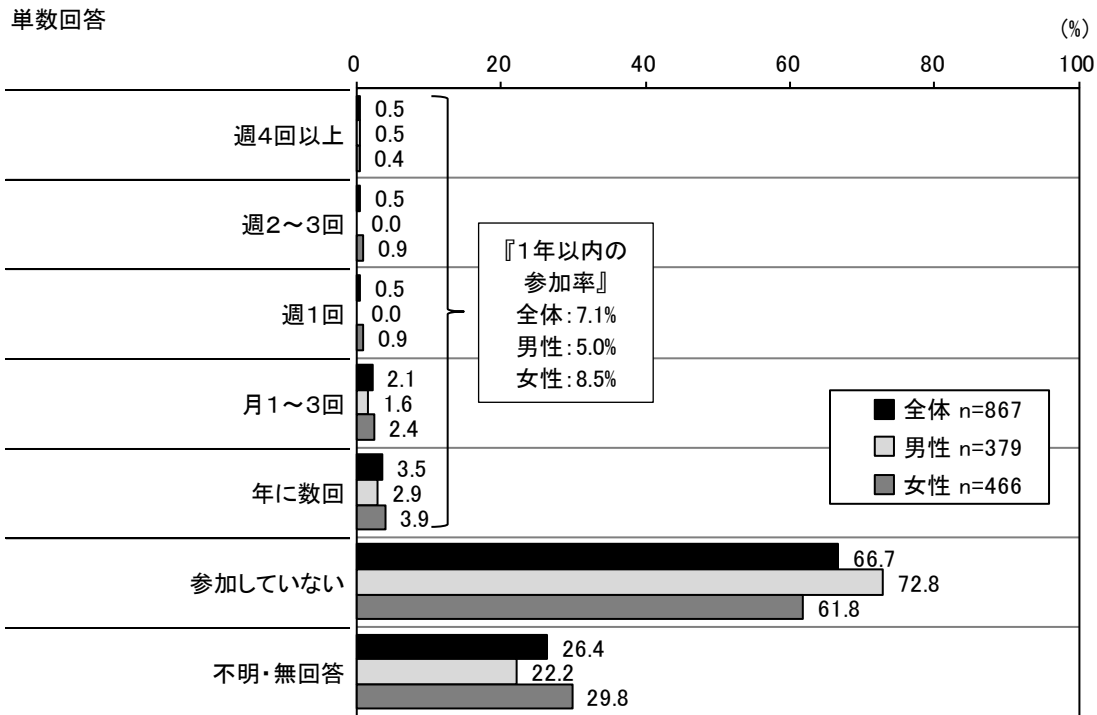
- 全体では、「参加していない」が57.0%と最も高く、次いで「月1～3回」が8.8%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は20.6%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 前回調査との比較では、『1年以内の参加率』は前回から5.7ポイント低下しています。
- 年齢別では、【75～79歳】は『1年以内の参加率』が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】【第四中学校圏域】は『1年以内の参加率』が他の圏域よりも高くなっています。



		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	不明・無回答	1年以内の参加率
全体	n= 867	0.7	1.3	4.0	8.8	5.8	57.0	22.5	20.6
前回	n= 793	1.5	3.0	6.2	9.5	6.1	39.0	34.8	26.3
年齢別									
65～69歳	n= 193	—	1.6	3.1	12.4	5.2	64.2	13.5	22.3
70～74歳	n= 234	0.9	—	4.7	6.8	6.0	61.1	20.5	18.4
75～79歳	n= 173	1.7	1.7	6.9	11.6	6.4	48.6	23.1	28.3
80～84歳	n= 144	0.7	3.5	2.1	7.6	6.3	52.8	27.1	20.2
85歳以上	n= 101	—	—	3.0	5.0	3.0	52.5	36.6	11.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	—	—	6.0	8.2	4.5	64.2	17.2	18.7
第二中学校圏域	n= 136	—	2.2	8.1	11.8	6.6	51.5	19.9	28.7
第三中学校圏域	n= 120	0.8	1.7	5.0	8.3	3.3	58.3	22.5	19.1
第四中学校圏域	n= 121	0.8	0.8	2.5	13.2	11.6	55.4	15.7	28.9
第五中学校圏域	n= 103	1.0	1.0	1.9	6.8	7.8	55.3	26.2	18.5
第六中学校圏域	n= 78	1.3	2.6	1.3	7.7	3.8	51.3	32.1	16.7
第七中学校圏域	n= 77	1.3	—	5.2	6.5	—	59.7	27.3	13.0
(旧)南原中学校圏域	n= 76	1.3	2.6	—	6.6	3.9	57.9	27.6	14.4

④ 学習・教養サークル

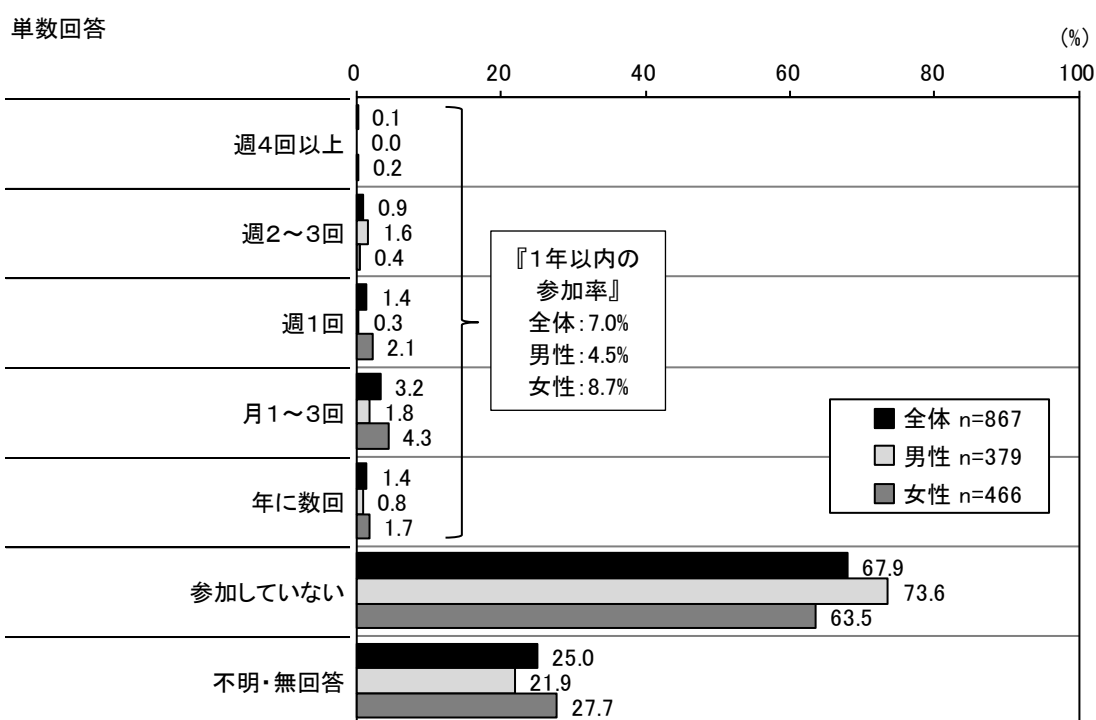
- 全体では、「参加していない」が66.7%と最も高く、次いで「年に数回」が3.5%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は7.1%となっています。
- 性別、年齢別及び圏域別、前回調査との比較では、特筆すべき差はみられません。
- 前回調査との比較では、特筆すべき差はみられません。



		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	不明・無回答	率内『1年以内の参加率』
全体	n= 867	0.5	0.5	0.5	2.1	3.5	66.7	26.4	7.1
前回	n= 793	—	0.4	0.9	1.6	3.0	50.1	44.0	5.9
年齢別									
65～69歳	n= 193	—	1.0	—	2.6	4.1	76.7	15.5	7.7
70～74歳	n= 234	0.4	—	0.4	1.7	3.4	69.7	24.4	5.9
75～79歳	n= 173	1.2	0.6	1.7	2.3	5.2	61.8	27.2	11.0
80～84歳	n= 144	—	0.7	—	2.1	2.1	63.2	31.9	4.9
85歳以上	n= 101	1.0	—	—	1.0	1.0	54.5	42.6	3.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	0.7	—	—	3.0	1.5	73.1	21.6	5.2
第二中学校圏域	n= 136	—	2.2	—	3.7	2.9	68.4	22.8	8.8
第三中学校圏域	n= 120	—	—	—	1.7	3.3	66.7	28.3	5.0
第四中学校圏域	n= 121	1.7	—	—	4.1	2.5	70.2	21.5	8.3
第五中学校圏域	n= 103	1.0	—	1.0	1.0	2.9	66.0	28.2	5.9
第六中学校圏域	n= 78	—	—	2.6	—	6.4	57.7	33.3	9.0
第七中学校圏域	n= 77	—	—	1.3	—	5.2	63.6	29.9	6.5
(旧)南原中学校圏域	n= 76	—	1.3	—	—	5.3	60.5	32.9	6.6

⑤ 通いの場（健康づくり、介護予防等の会・グループ）

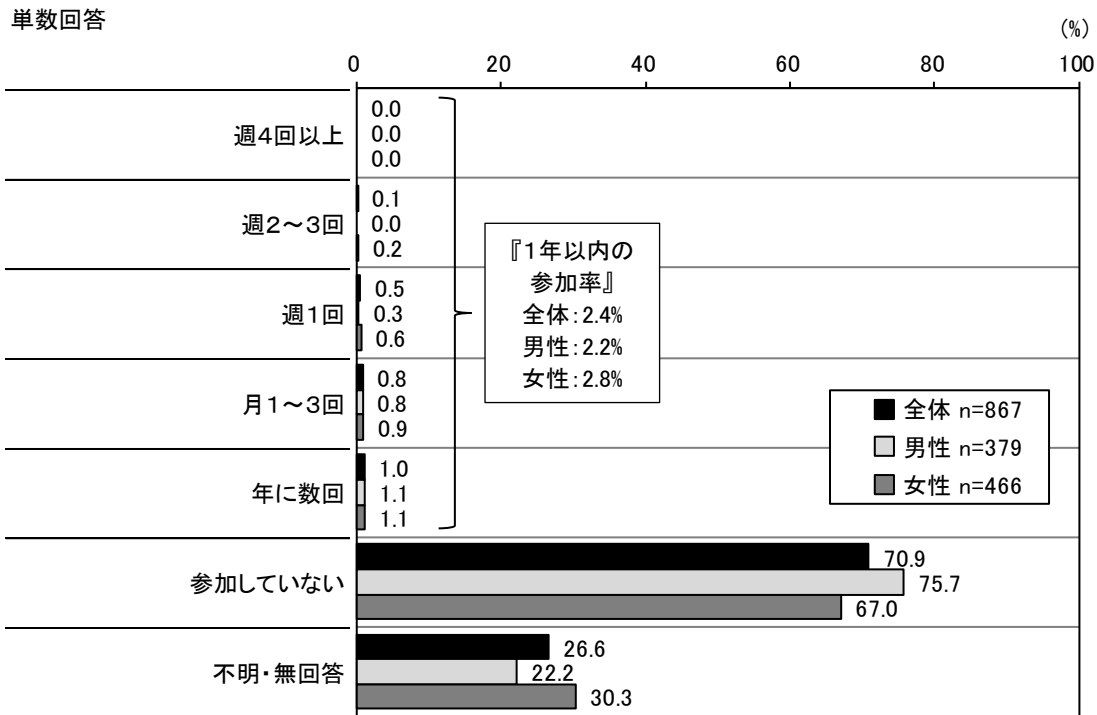
- 全体では、「参加していない」が67.9%と最も高く、次いで「月1～3回」が3.2%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は7.0%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 前回調査との比較では、『1年以内の参加率』は前回から2.9ポイント低下しています。
- 年齢別では、【85歳以上】は『1年以内の参加率』が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、特筆すべき差はみられません。



		週4回以上	週3回	週2回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	不明・無回答	率内『1年以内の参加率』
全体		n= 867	0.1	0.9	1.4	3.2	1.4	67.9	25.0	7.0
前回		n= 793	1.0	1.3	2.0	2.3	3.3	49.8	40.4	9.9
年齢別										
65～69歳	n= 193	—	0.5	1.0	3.1	0.5	79.8	15.0		5.1
70～74歳	n= 234	0.4	0.4	0.9	4.3	0.9	69.7	23.5		6.9
75～79歳	n= 173	—	0.6	1.2	2.3	3.5	65.3	27.2		7.6
80～84歳	n= 144	—	0.7	1.4	2.1	0.7	63.2	31.9		4.9
85歳以上	n= 101	—	4.0	3.0	4.0	1.0	53.5	34.7		12.0
圏域別										
第一中学校圏域	n= 134	—	—	0.7	3.7	1.5	73.9	20.1		5.9
第二中学校圏域	n= 136	—	2.2	2.2	5.9	1.5	64.7	23.5		11.8
第三中学校圏域	n= 120	—	1.7	1.7	2.5	—	70.0	24.2		5.9
第四中学校圏域	n= 121	—	1.7	1.7	3.3	1.7	71.9	19.8		8.4
第五中学校圏域	n= 103	—	—	—	3.9	1.9	65.0	29.1		5.8
第六中学校圏域	n= 78	—	1.3	1.3	2.6	3.8	60.3	30.8		9.0
第七中学校圏域	n= 77	1.3	—	2.6	—	—	68.8	27.3		3.9
(旧)南原中学校圏域	n= 76	—	—	—	1.3	—	65.8	32.9		1.3

⑥ 老人クラブ（サロン）

- 全体では、「参加していない」が70.9%と最も高く、次いで「年に数回」が1.0%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は2.4%となっています。
- 前回調査との比較では、『1年以内の参加率』は前回から4.7ポイント低下しています。
- 性別、年齢別及び圏域別では、特筆すべき差はみられません。

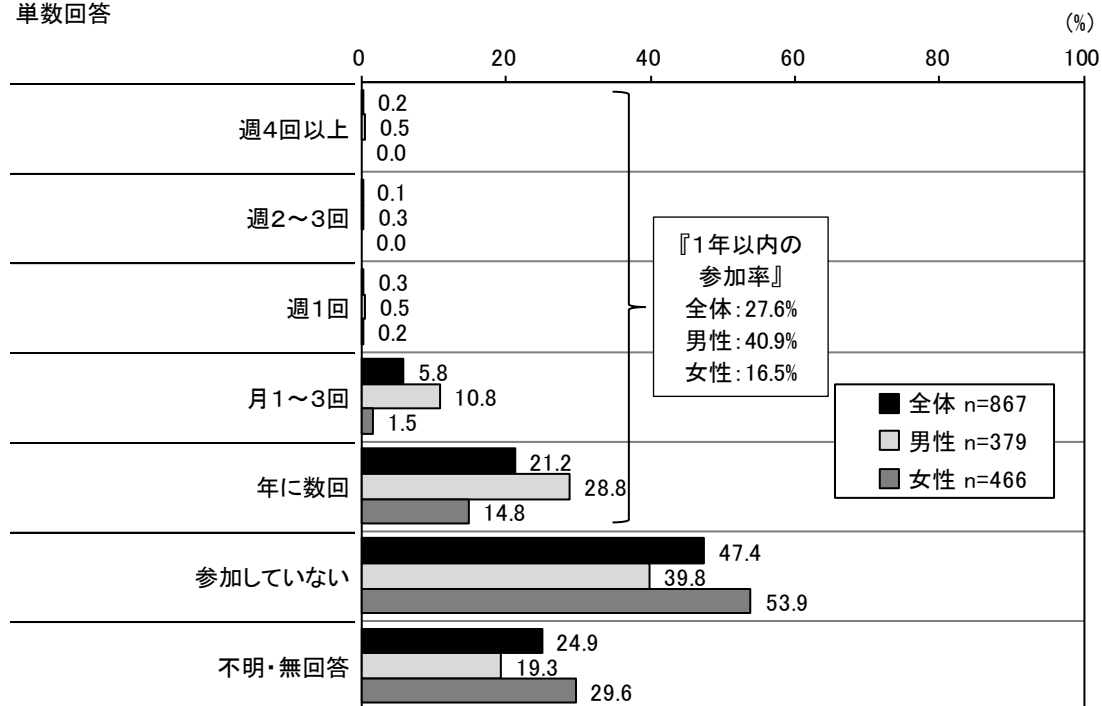


		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	不明・無回答	率内『1年以内の参加率』
全体	n= 867	0.0	0.1	0.5	0.8	1.0	70.9	26.6	2.4
前回	n= 793	0.1	0.5	0.5	1.8	4.2	50.8	42.1	7.1
年齢別									
65～69歳	n= 193	–	–	–	0.5	0.5	82.4	16.6	1.0
70～74歳	n= 234	–	–	0.4	0.4	1.7	73.5	23.9	2.5
75～79歳	n= 173	–	–	1.2	0.6	0.6	68.8	28.9	2.4
80～84歳	n= 144	–	0.7	–	2.8	0.7	63.2	32.6	4.2
85歳以上	n= 101	–	–	1.0	–	2.0	57.4	39.6	3.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	–	–	0.7	–	1.5	78.4	19.4	2.2
第二中学校圏域	n= 136	–	–	0.7	1.5	1.5	72.1	24.3	3.7
第三中学校圏域	n= 120	–	–	–	0.8	–	70.8	28.3	0.8
第四中学校圏域	n= 121	–	–	–	–	–	75.2	24.8	–
第五中学校圏域	n= 103	–	–	1.0	1.9	1.0	67.0	29.1	3.9
第六中学校圏域	n= 78	–	–	–	1.3	–	64.1	34.6	1.3
第七中学校圏域	n= 77	–	–	1.3	–	3.9	67.5	27.3	5.2
(旧)南原中学校圏域	n= 76	–	1.3	–	1.3	1.3	64.5	31.6	3.9

⑦ 町内会・自治会

- 全体では、「参加していない」が47.4%と最も高く、次いで「年に数回」が21.2%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は27.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも『1年以内の参加率』が高くなっています。
- 前回調査との比較では、『1年以内の参加率』は前回から5.3ポイント低下しています。
- 年齢別では、【65～69歳】【70～74歳】は『1年以内の参加率』が3割台と他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第七中学校圏域】は『1年以内の参加率』が他の圏域よりも高くなっています。

単数回答

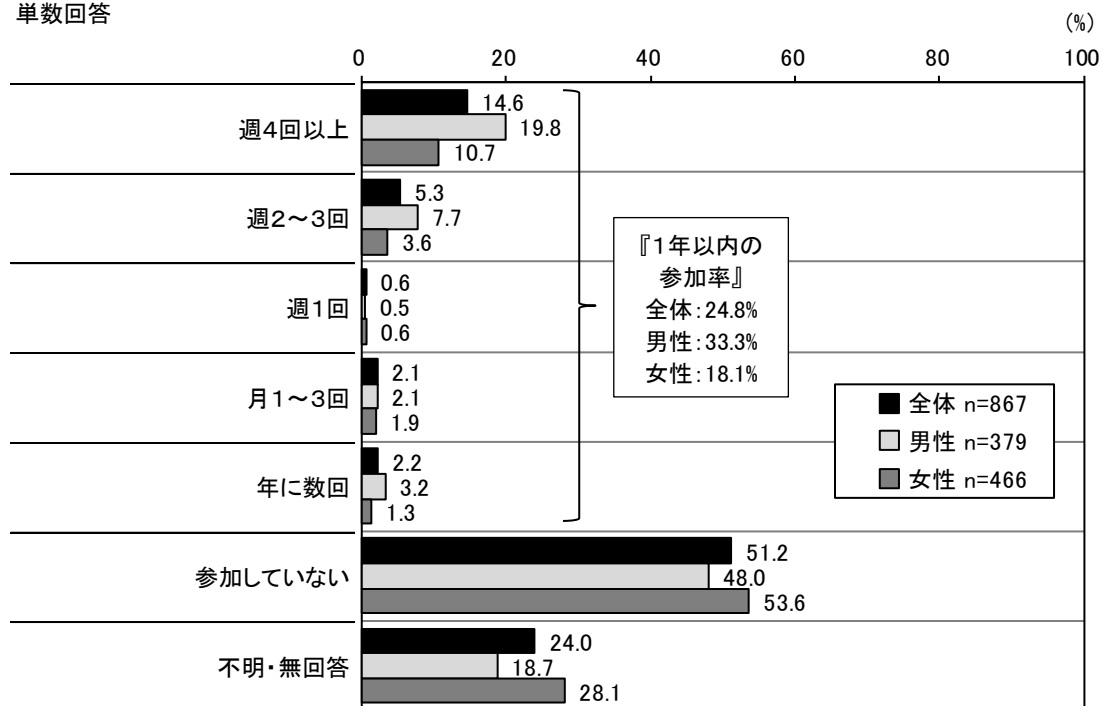


		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回	年に数回	参加していない	無不明回答・	率内『1年以内の参加率』
全体	n= 867	0.2	0.1	0.3	5.8	21.2	47.4	24.9	27.6
前回	n= 793	0.8	0.4	1.1	4.9	25.7	31.1	35.9	32.9
年齢別									
65～69歳	n= 193	-	-	-	10.9	25.4	49.7	14.0	36.3
70～74歳	n= 234	0.9	0.4	0.4	6.4	29.1	40.2	22.6	37.2
75～79歳	n= 173	-	-	0.6	5.8	14.5	51.4	27.7	20.9
80～84歳	n= 144	-	-	-	1.4	20.1	47.2	31.3	21.5
85歳以上	n= 101	-	-	1.0	-	6.9	54.5	37.6	7.9
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	-	-	-	9.7	22.4	49.3	18.7	32.1
第二中学校圏域	n= 136	0.7	-	-	2.9	25.0	44.9	26.5	28.6
第三中学校圏域	n= 120	-	-	1.7	2.5	15.8	56.7	23.3	20.0
第四中学校圏域	n= 121	-	0.8	-	5.8	20.7	50.4	22.3	27.3
第五中学校圏域	n= 103	1.0	-	-	4.9	23.3	45.6	25.2	29.2
第六中学校圏域	n= 78	-	-	1.3	2.6	16.7	46.2	33.3	20.6
第七中学校圏域	n= 77	-	-	-	7.8	24.7	41.6	26.0	32.5
(旧)南原中学校圏域	n= 76	-	-	-	10.5	18.4	40.8	30.3	28.9

⑧ 収入のある仕事

- 全体では、「参加していない」が51.2%と最も高く、次いで「週4回以上」が14.6%となっています。なお、『1年以内の参加率』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）は24.8%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも『1年以内の参加率』が高くなっています。
- 前回調査との比較では、『1年以内の参加率』は前回から4.8ポイント上昇しています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて『1年以内の参加率』が低下しています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は「週4回以上」の割合が他の圏域よりも高くなっています。また、『1年以内の参加率』は【第四中学校圏域】【(旧)南原中学校圏域】で高くなっています。

単数回答

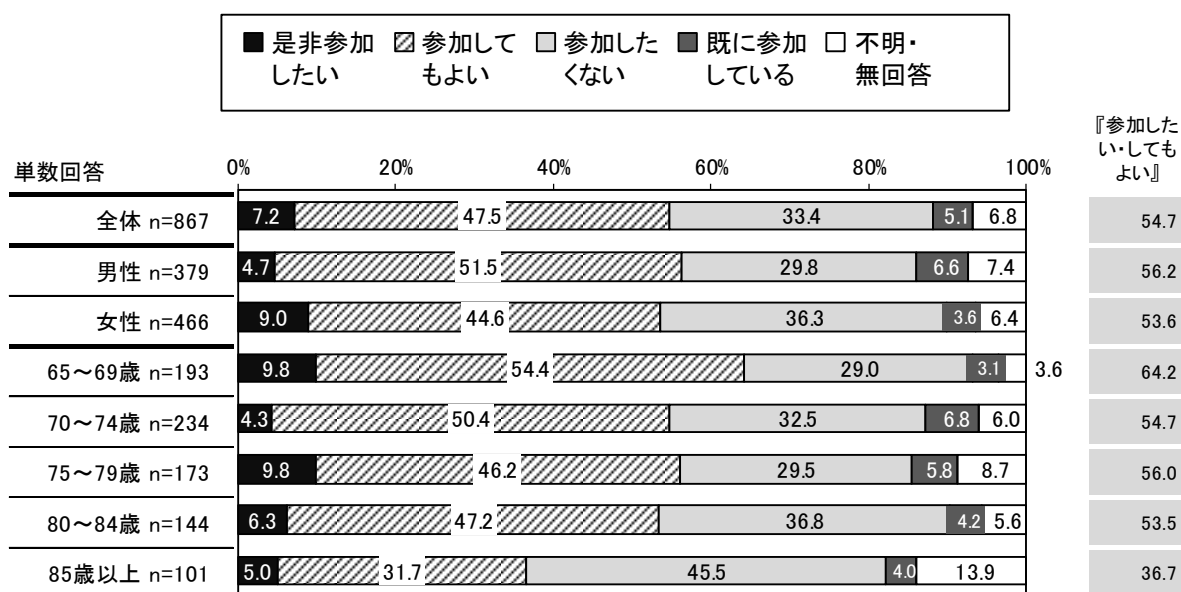


		週4回以上	週2～3回	週1回	3月1回以上	年に数回	参加していない	不明・無回答	率内『1年以内の参加率』
全体	n= 867	14.6	5.3	0.6	2.1	2.2	51.2	24.0	24.8
前回	n= 793	10.3	3.8	1.0	1.5	3.4	41.1	38.8	20.0
年齢別									
65～69歳	n= 193	33.2	11.4	1.0	2.6	1.0	38.3	12.4	49.2
70～74歳	n= 234	18.8	5.1	—	4.3	3.8	50.4	17.5	32.0
75～79歳	n= 173	7.5	5.8	1.7	0.6	3.5	54.3	26.6	19.1
80～84歳	n= 144	2.1	1.4	—	0.7	0.7	61.1	34.0	4.9
85歳以上	n= 101	1.0	—	—	—	—	57.4	41.6	1.0
圏域別									
第一中学校圏域	n= 134	13.4	3.7	0.7	1.5	0.7	60.4	19.4	20.0
第二中学校圏域	n= 136	12.5	2.9	—	2.9	3.7	54.4	23.5	22.0
第三中学校圏域	n= 120	21.7	4.2	—	1.7	1.7	45.8	25.0	29.3
第四中学校圏域	n= 121	14.9	8.3	1.7	2.5	2.5	48.8	21.5	29.9
第五中学校圏域	n= 103	12.6	6.8	—	1.0	1.0	51.5	27.2	21.4
第六中学校圏域	n= 78	12.8	6.4	1.3	1.3	1.3	47.4	29.5	23.1
第七中学校圏域	n= 77	15.6	2.6	1.3	1.3	3.9	54.5	20.8	24.7
(旧)南原中学校圏域	n= 76	14.5	10.5	—	3.9	2.6	40.8	27.6	31.5

(2) 地域活動への参加者としての参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- 全体では、「参加してもよい」が47.5%と最も高く、次いで「参加したくない」は33.4%となっています。なお、『参加したい・してもよい』(「是非参加したい」「参加してもよい」の合計)は54.7%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【65～69歳】は『参加したい・してもよい』割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 前回調査との比較では、「参加したくない」が前回から3.9ポイント上昇し、『参加したい・してもよい』は2.9ポイント低下しています。
- 圏域別では、【第四中学校圏域】は『参加したい・してもよい』割合が他の圏域よりも高くなっていますが、【第七中学校圏域】【(旧)南原中学校圏域】は低くなっています。



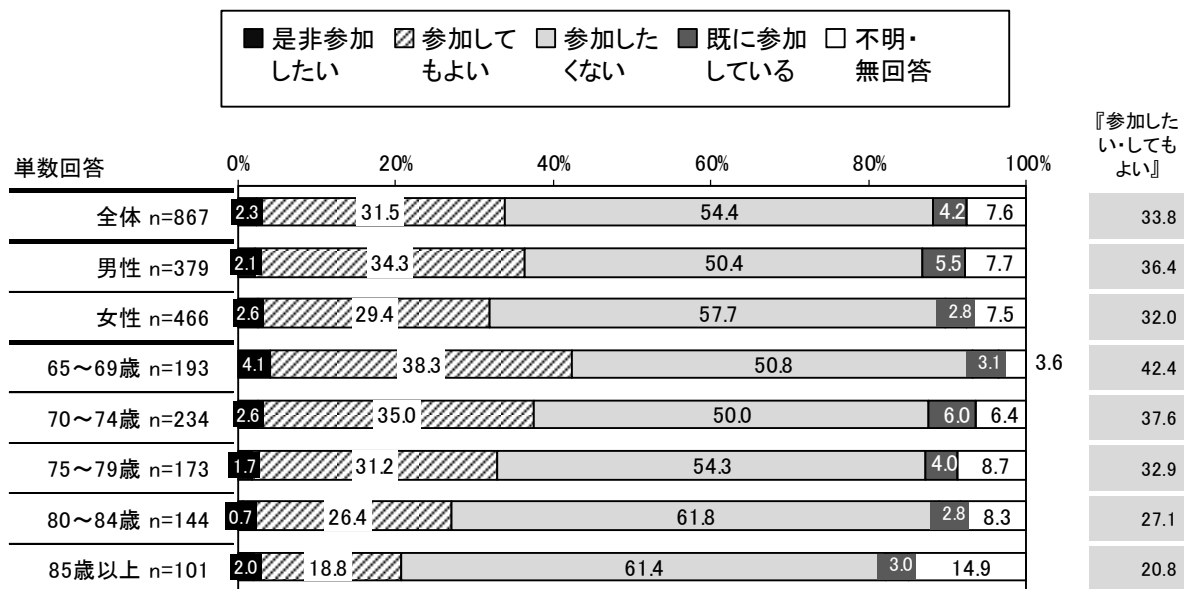
【前回調査、圏域別】

【前回調査・圏域別】		是非参加し たい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加し ている	不明・無回 答	『参加したい・ してもよい』	
全体	n= 867	7.2	47.5	33.4	5.1	6.8	54.7	
前回調査	n= 793	9.1	48.5	29.5	7.1	7.8	57.6	
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	5.2	52.2	32.1	4.5	6.0	57.4
	第二中学校圏域	n= 136	8.1	44.1	34.6	7.4	5.9	52.2
	第三中学校圏域	n= 120	5.0	48.3	35.8	4.2	6.7	53.3
	第四中学校圏域	n= 121	9.9	54.5	28.9	1.7	5.0	64.4
	第五中学校圏域	n= 103	6.8	52.4	27.2	6.8	6.8	59.2
	第六中学校圏域	n= 78	3.8	47.4	35.9	6.4	6.4	51.2
	第七中学校圏域	n= 77	11.7	35.1	37.7	5.2	10.4	46.8
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	6.6	40.8	38.2	3.9	10.5	47.4

(3) 地域活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

- 全体では、「参加したくない」が54.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」は31.5%となっています。なお、『参加したい・してもよい』（「是非参加したい」「参加してもよい」の合計）は33.8%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「参加してもよい」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年階層が高くなるにつれて『参加したい・してもよい』割合が低下しています。
- 前回調査との比較では、「参加したくない」が前回から3.5ポイント上昇し、『参加したい・してもよい』は1.7ポイント低下しています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】は『参加したい・してもよい』割合が他の圏域よりも高くなっていますが、【第三中学校圏域】は低くなっています。



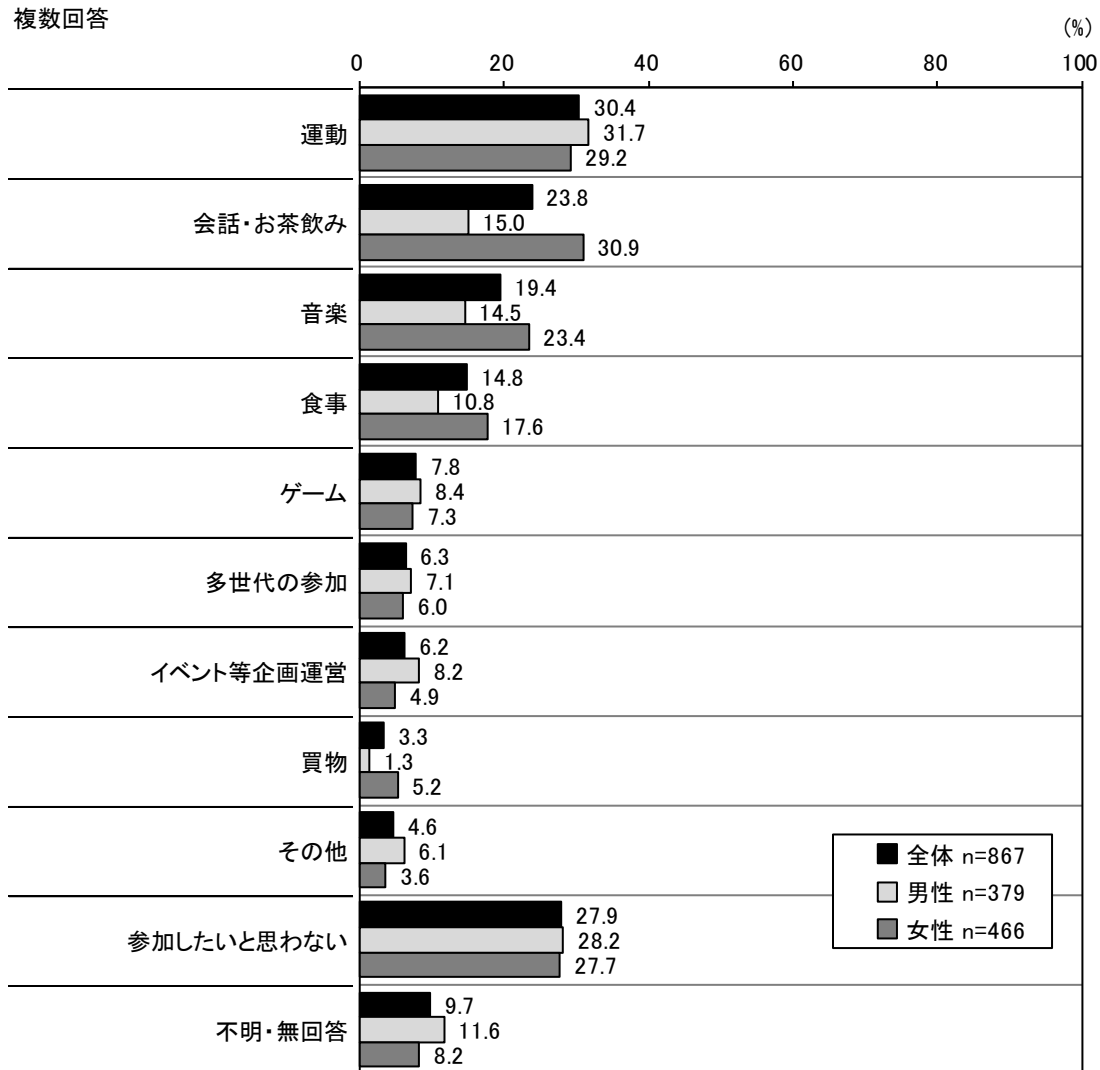
【前回調査、圏域別】

【前回調査・圏域別】		是非参加し たい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加し ている	不明・無回 答	『参加したい・ してもよい』	
全体		n= 867	2.3	31.5	54.4	4.2	7.6	33.8
前回調査		n= 793	3.3	32.2	50.9	4.2	9.5	35.5
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	3.0	36.6	49.3	3.7	7.5	39.6
	第二中学校圏域	n= 136	2.2	33.1	50.7	5.1	8.8	35.3
	第三中学校圏域	n= 120	1.7	25.0	61.7	2.5	9.2	26.7
	第四中学校圏域	n= 121	5.8	28.9	57.9	1.7	5.8	34.7
	第五中学校圏域	n= 103	1.0	30.1	54.4	6.8	7.8	31.1
	第六中学校圏域	n= 78	1.3	35.9	53.8	3.8	5.1	37.2
	第七中学校圏域	n= 77	1.3	36.4	50.6	5.2	6.5	37.7
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	1.3	27.6	57.9	3.9	9.2	28.9

(4) 参加したい集まり

問5(4)どのような集まりであれば、参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「運動」が30.4%と最も高く、次いで「会話・お茶飲み」が23.8%、「音楽」が19.4%となっています。なお、「参加したいと思わない」が27.9%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも「会話・お茶飲み」「音楽」の割合が高くなっています。



- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「会話・お茶飲み」の割合が上昇しています。【65～69歳】は「運動」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】【第五中学校圏域】は「運動」の割合が他の圏域よりも高くなっています。

【年齢別、圏域別】上位6位

(%)

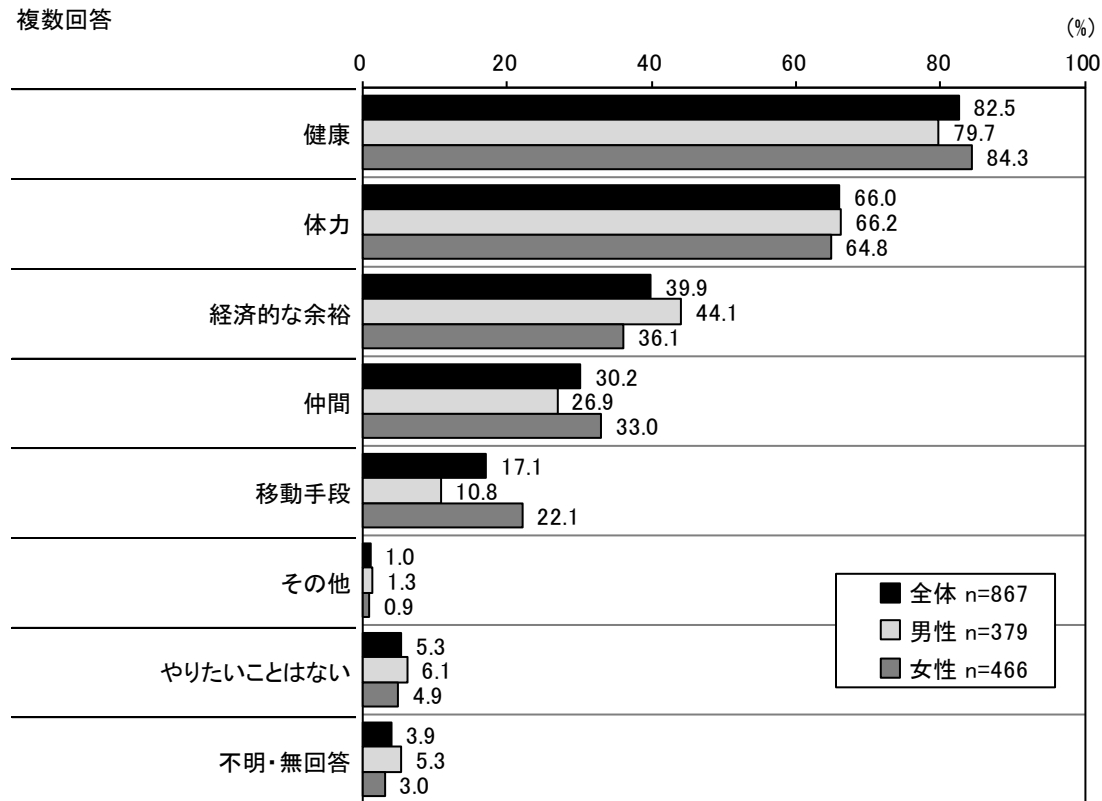
		運動	会話・お茶 飲み	音楽	食事	ゲーム	多世代の 参加	
全体		n= 867	30.4	23.8	19.4	14.8	7.8	6.3
年 齢 別	65～69歳	n= 193	42.5	19.7	22.3	14.0	10.9	8.3
	70～74歳	n= 234	29.1	21.4	17.1	14.1	6.8	6.8
	75～79歳	n= 173	30.6	24.9	27.7	16.8	7.5	5.2
	80～84歳	n= 144	25.7	27.8	13.9	13.9	6.9	6.9
	85歳以上	n= 101	15.8	29.7	12.9	13.9	5.9	4.0
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	33.6	26.1	19.4	17.2	7.5	7.5
	第二中学校圏域	n= 136	34.6	22.1	17.6	14.7	11.0	2.9
	第三中学校圏域	n= 120	30.8	20.8	20.0	12.5	7.5	8.3
	第四中学校圏域	n= 121	30.6	25.6	21.5	14.0	5.8	4.1
	第五中学校圏域	n= 103	35.0	26.2	21.4	18.4	11.7	4.9
	第六中学校圏域	n= 78	23.1	20.5	16.7	10.3	6.4	7.7
	第七中学校圏域	n= 77	26.0	24.7	16.9	11.7	3.9	9.1
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	21.1	23.7	21.1	15.8	6.6	10.5

(5) やりたいことを続けていくために必要なこと

問5(5) あなたのやりたいことを続けていくためには、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「健康」が82.5%と最も高く、次いで「体力」が66.0%、「経済的な余裕」が39.9%、「仲間」が30.2%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「経済的な余裕」が、【女性】は男性よりも「移動手段」「仲間」が高い割合となっています。
- 年齢別では、【65～69歳】は「体力」「経済的な余裕」が、【80～84歳】は「移動手段」が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は「経済的な余裕」が、【第四中学校圏域】は「仲間」が、【(旧)南原中学校圏域】は「移動手段」が他の圏域よりも高い割合となっています。

複数回答



【年齢別、圏域別】上位5位

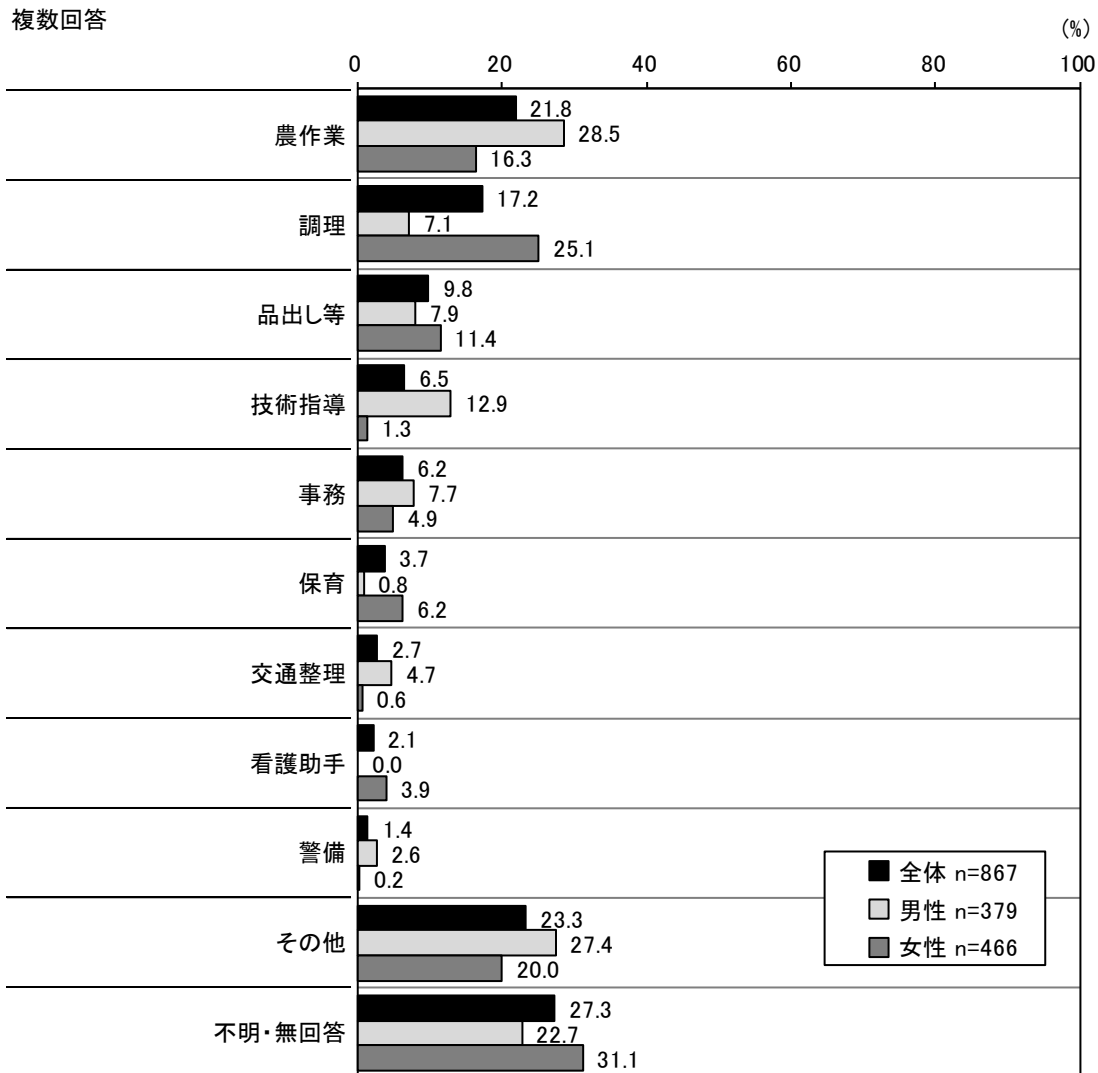
(%)

【年齢別・圏域別】主世帯			健康	体力	経済的な余	仲間	移動手段	
全体			n= 867	82.5	66.0	39.9	30.2	17.1
年 齢 別	65～69歳	n= 193	85.5	72.5	52.3	34.2	14.0	
	70～74歳	n= 234	82.1	65.0	43.6	34.2	13.7	
	75～79歳	n= 173	81.5	68.8	37.0	27.7	20.2	
	80～84歳	n= 144	80.6	56.9	29.9	26.4	22.9	
	85歳以上	n= 101	80.2	59.4	24.8	23.8	16.8	
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	77.6	67.9	41.0	31.3	20.9	
	第二中学校圏域	n= 136	84.6	66.9	39.0	29.4	14.7	
	第三中学校圏域	n= 120	79.2	67.5	45.0	27.5	11.7	
	第四中学校圏域	n= 121	85.1	70.2	40.5	35.5	15.7	
	第五中学校圏域	n= 103	83.5	59.2	39.8	31.1	18.4	
	第六中学校圏域	n= 78	82.1	60.3	39.7	29.5	20.5	
	第七中学校圏域	n= 77	84.4	63.6	33.8	27.3	14.3	
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	82.9	63.2	34.2	28.9	22.4	

(6) やってみたい仕事や地域活動

問5(6)どのような仕事や地域活動なら行いたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「農作業」が21.8%と最も高く、次いで「調理」が17.2%となっています。なお、「その他」は23.3%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「農作業」「技術指導」が、【女性】は男性よりも「調理」「保育」が高い割合となっています。



- 年齢別では、【65～69歳】【70～74歳】は他の年齢階層よりも概ね高い割合となっています。
- 圏域では、【第四中学校圏域】【第五中学校圏域】は「調理」が、【第六中学校圏域】【第七中学校圏域】【(旧)南原中学校圏域】は「農作業」の割合が他の圏域よりも高くなっています。

【年齢別、圏域別】上位5位

(%)

			農作業	調理	品出し等	技術指導	事務	
全体			n= 867	21.8	17.2	9.8	6.5	6.2
年 齢 別	65～69歳	n= 193	24.9	17.6	11.9	10.4	9.8	
	70～74歳	n= 234	23.9	20.1	12.0	8.1	9.8	
	75～79歳	n= 173	17.9	17.3	11.6	5.8	2.9	
	80～84歳	n= 144	22.9	15.3	6.9	3.5	2.1	
	85歳以上	n= 101	15.8	10.9	2.0	1.0	2.0	
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	20.1	13.4	9.0	5.2	8.2	
	第二中学校圏域	n= 136	20.6	13.2	12.5	5.9	5.1	
	第三中学校圏域	n= 120	22.5	13.3	8.3	10.8	5.8	
	第四中学校圏域	n= 121	12.4	24.0	15.7	7.4	12.4	
	第五中学校圏域	n= 103	16.5	29.1	8.7	6.8	4.9	
	第六中学校圏域	n= 78	26.9	16.7	6.4	5.1	1.3	
	第七中学校圏域	n= 77	32.5	11.7	7.8	2.6	3.9	
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	31.6	14.5	6.6	6.6	3.9	

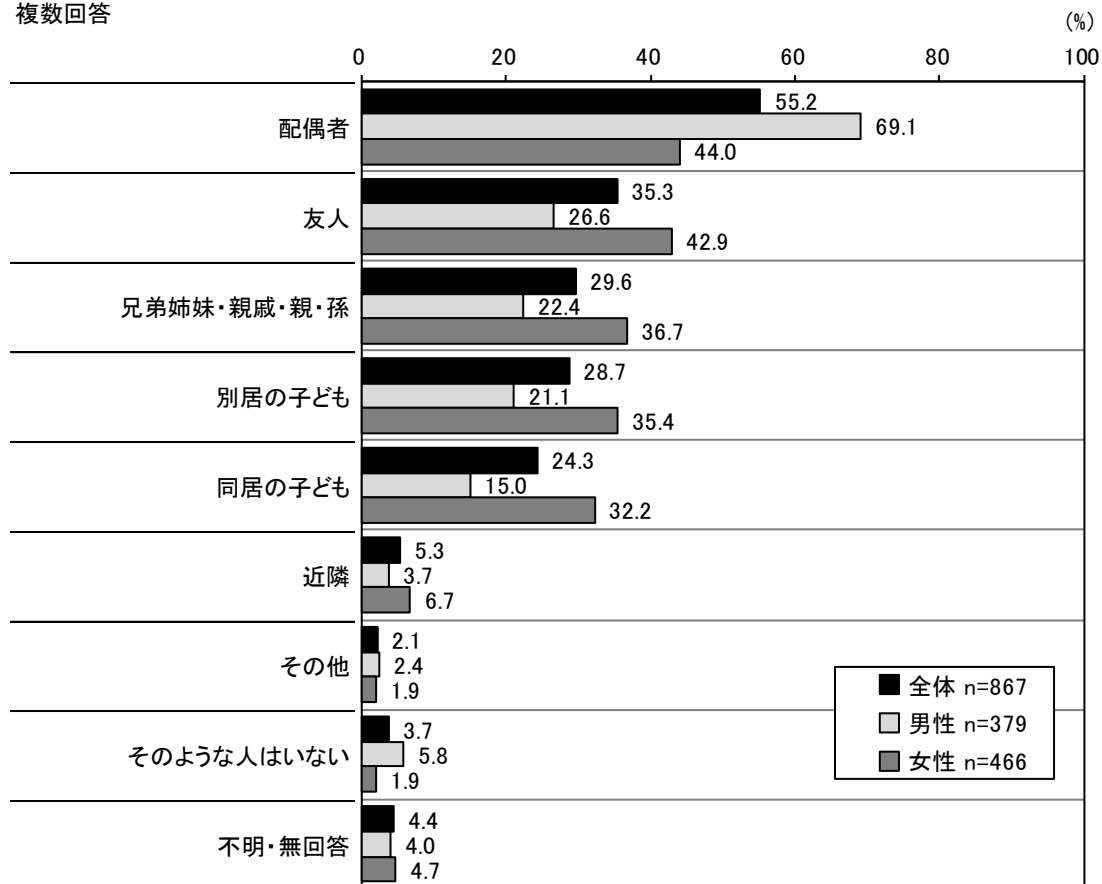
6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 全体では、「配偶者」が55.2%と最も高く、次いで「友人」が35.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.6%、「別居の子ども」が28.7%、「同居の子ども」が24.3%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「配偶者」が、【女性】は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低下しています。一方、「同居の子ども」の割合は上昇しています。

複数回答



【年齢別】

(%)

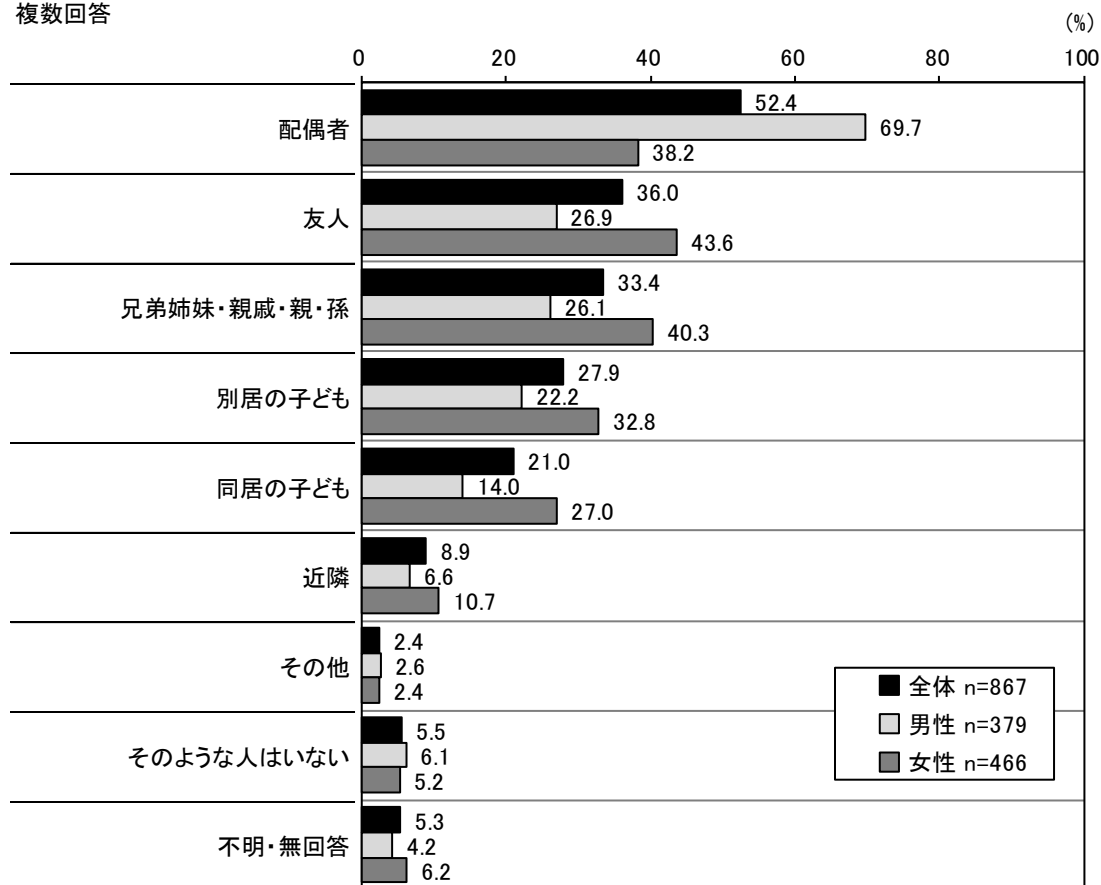
		配偶者	友人	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	別居の子ど も	同居の子ど も	近隣	その他	そのような 人はいない	不明・ 無回答	
全体		n= 867	55.2	35.3	29.6	28.7	24.3	5.3	2.1	3.7	4.4
年 齢 別	65～69歳	n= 193	66.3	45.6	35.2	31.1	17.6	5.7	3.6	1.0	2.6
	70～74歳	n= 234	64.5	42.7	33.3	30.8	20.9	8.5	1.3	4.7	1.3
	75～79歳	n= 173	53.8	34.1	29.5	28.3	23.7	1.7	1.7	2.9	8.1
	80～84歳	n= 144	40.3	27.1	25.7	29.2	29.2	4.2	0.7	6.3	7.6
	85歳以上	n= 101	36.6	14.9	21.8	21.8	40.6	5.0	4.0	4.0	4.0

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 全体では、「配偶者」が52.4%と最も高く、次いで「友人」が36.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.4%、「別居の子ども」が27.9%、「同居の子ども」が21.0%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「配偶者」が、【女性】は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「配偶者」「友人」の割合が低下しています。

複数回答



【年齢別】

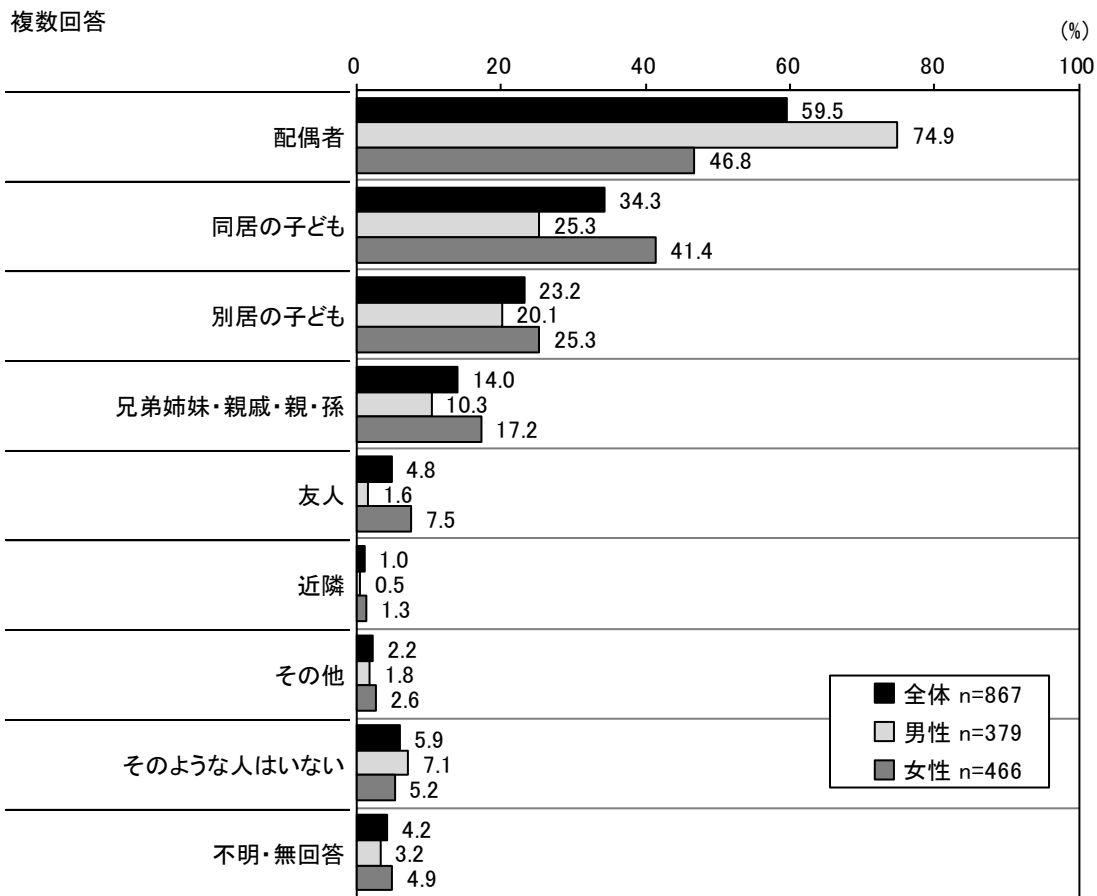
(%)

		配偶者	友人	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような 人はいない	不明・ 無回答	
全体		n= 867	52.4	36.0	33.4	27.9	21.0	8.9	2.4	5.5	5.3
年 齢 別	65～69歳	n= 193	66.3	45.6	36.8	30.6	18.7	8.3	5.2	3.6	2.1
	70～74歳	n= 234	59.0	41.5	38.9	33.3	18.8	11.5	1.3	5.1	3.0
	75～79歳	n= 173	50.9	35.3	32.4	30.6	23.7	4.6	1.7	6.4	7.5
	80～84歳	n= 144	39.6	27.8	29.9	20.1	22.2	9.7	0.7	4.9	9.0
	85歳以上	n= 101	30.7	18.8	25.7	17.8	25.7	9.9	4.0	9.9	7.9

(3) 看病や世話をしてくれる人

問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「配偶者」が59.5%と最も高く、次いで「同居の子ども」が34.3%、「別居の子ども」が23.2%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「配偶者」が、【女性】は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「配偶者」「友人」の割合が低下しています。一方、「同居の子ども」の割合は上昇しています。



【年齢別】

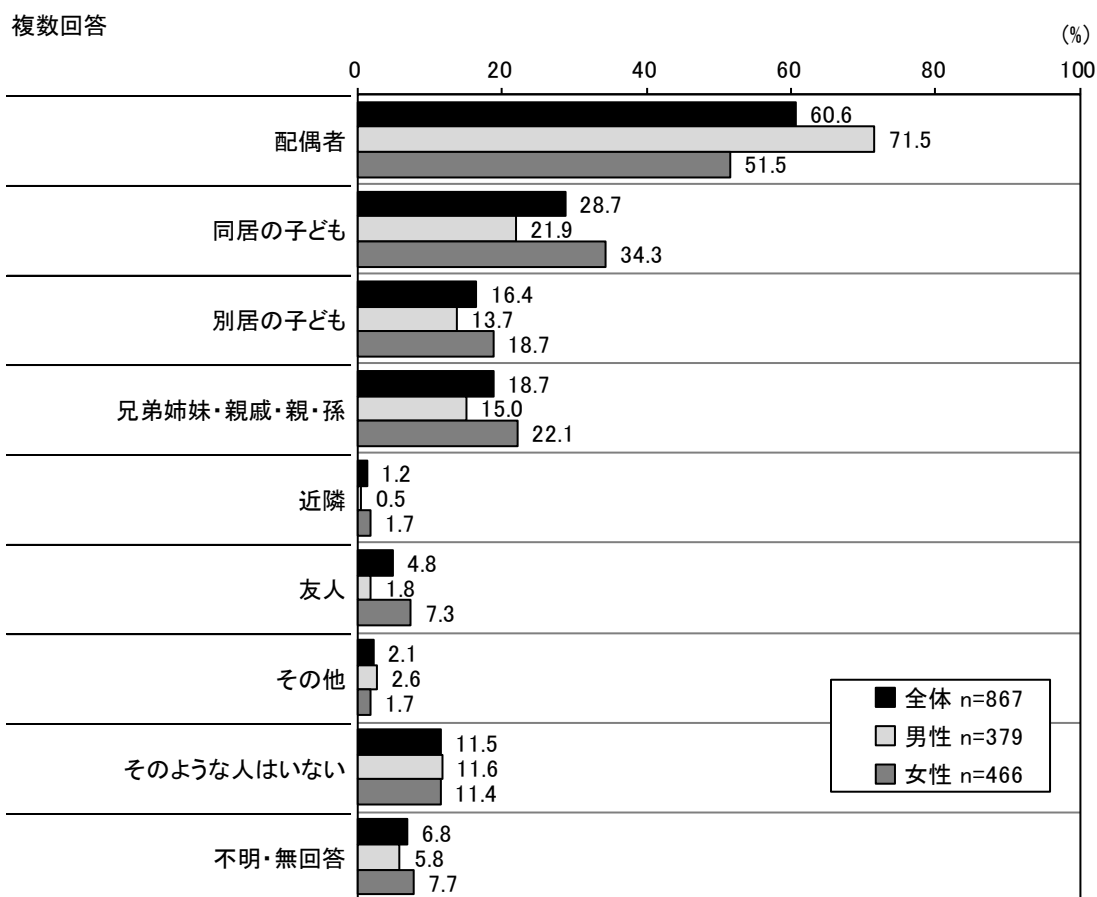
(%)

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	友人	近隣	その他	そのような 人はいない	不明・ 無回答	
全体		n= 867	59.5	34.3	23.2	14.0	4.8	1.0	2.2	5.9	4.2
年 齢 別	65～69歳	n= 193	71.0	28.5	19.7	15.5	6.7	0.5	2.6	6.7	2.1
	70～74歳	n= 234	70.1	28.6	21.8	16.2	5.6	1.7	0.4	7.7	1.7
	75～79歳	n= 173	57.2	38.2	22.5	10.4	5.8	0.6	1.7	4.6	7.5
	80～84歳	n= 144	46.5	37.5	26.4	16.0	2.8	0.0	2.8	6.9	6.3
	85歳以上	n= 101	34.7	46.5	27.7	9.9	1.0	2.0	5.9	2.0	5.0

(4) 看病や世話をしている人

問6(4) 反対に、看病や世話をしている人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 全体では、「配偶者」が60.6%と最も高く、次いで「同居の子ども」が28.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.7%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「配偶者」が、【女性】は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低下しています。一方、「そのような人はいない」という割合は上昇しています。



【年齢別】

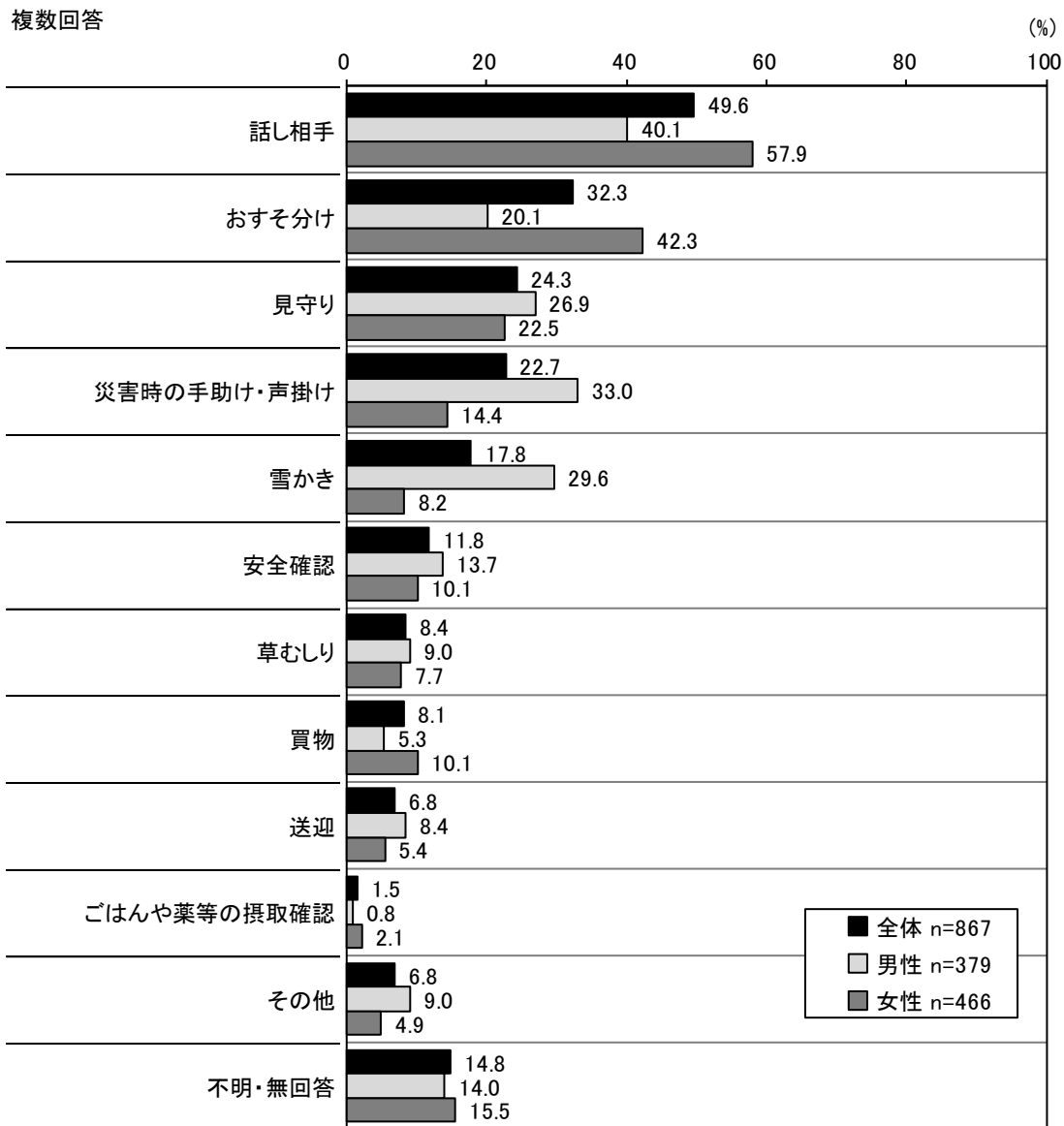
(%)

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
全体		n= 867	60.6	28.7	16.4	18.7	1.2	4.8	2.1	11.5	6.8
年齢別	65～69歳	n= 193	73.1	26.9	20.7	24.4	0.5	5.2	3.6	7.8	4.1
	70～74歳	n= 234	69.7	29.1	17.9	25.6	2.6	5.6	0.4	8.5	1.7
	75～79歳	n= 173	60.1	31.2	17.9	15.6	1.2	7.5	1.2	8.1	10.4
	80～84歳	n= 144	47.9	28.5	11.1	16	0	2.8	2.1	13.9	11.1
	85歳以上	n= 101	33.7	27.7	9.9	3	1	1	5	27.7	11.9

(5) 隣近所の人に手助けをしてあげられること

問6(5) あなたは、隣近所の人にどのような手助けをしてあげられますか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「話し相手」が49.6%と最も高く、次いで「おすそ分け」が32.3%、「見守り」が24.3%、「災害時の手助け・声掛け」が22.7%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「災害時の手助け・声掛け」「雪かき」が、【女性】は男性よりも「話し相手」「おすそ分け」の割合が高くなっています。



- 年齢別では、【65～69歳】【70～74歳】は「見守り」「雪かき」「災害時の手助け・声掛け」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は「災害時の手助け・声掛け」が、【第四中学校圏域】は「安全確認」が、【第五中学校圏域】は「見守り」の割合が他の圏域よりも高くなっています。

【年齢別、圏域別】上位6位

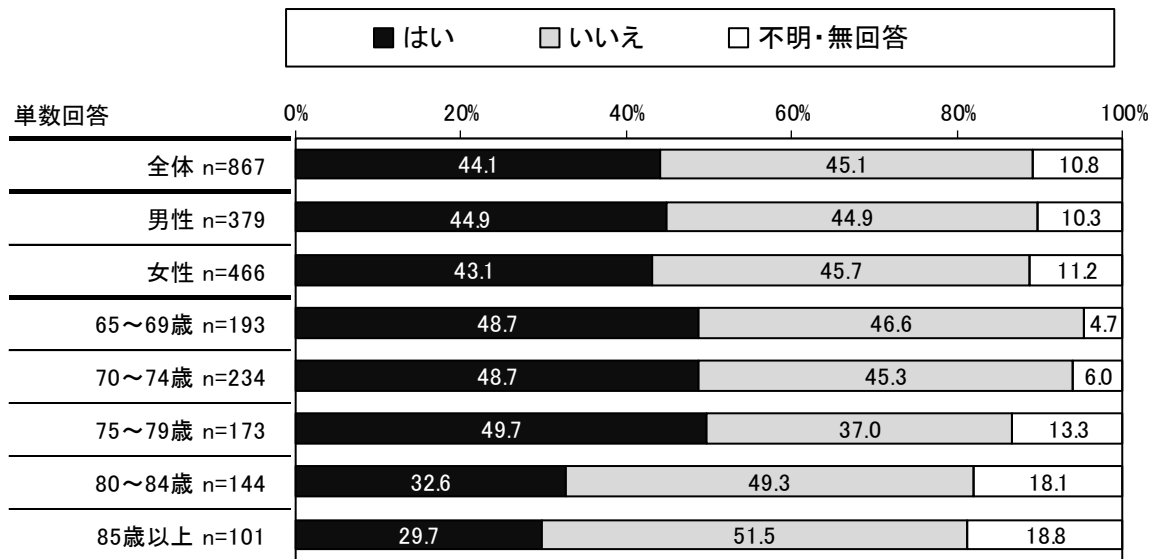
(%)

			話し相手	おすそ分け	見守り	災害時の 手助け・声 掛け	雪かき	安全確認
全体		n= 867	49.6	32.3	24.3	22.7	17.8	11.8
年 齢 別	65～69歳	n= 193	47.7	33.2	34.2	31.1	23.8	19.2
	70～74歳	n= 234	49.1	34.2	29.5	29.1	23.5	11.1
	75～79歳	n= 173	50.9	38.7	20.8	17.9	17.3	12.1
	80～84歳	n= 144	52.1	26.4	18.8	17.4	8.3	6.9
	85歳以上	n= 101	51.5	23.8	8.9	7.9	6.9	5.0
圏 域 別	第一中学校圏域	n= 134	46.3	32.1	26.9	21.6	20.1	12.7
	第二中学校圏域	n= 136	48.5	28.7	16.2	21.3	20.6	8.8
	第三中学校圏域	n= 120	51.7	34.2	29.2	28.3	18.3	13.3
	第四中学校圏域	n= 121	52.9	37.2	25.6	24.8	17.4	17.4
	第五中学校圏域	n= 103	54.4	32.0	31.1	26.2	15.5	13.6
	第六中学校圏域	n= 78	50.0	30.8	23.1	17.9	10.3	6.4
	第七中学校圏域	n= 77	51.9	29.9	19.5	20.8	18.2	9.1
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	43.4	32.9	23.7	17.1	18.4	9.2

(6) (5) のような手助けを既に行っているか

問6(6)あなたは、(5)のような手助けを既に行っていますか。(○は1つ)

- 全体では、「いいえ」が45.1%、「はい」が44.1%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【65～69歳】【70～74歳】【75～79歳】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【(旧)南原中学校圏域】は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっています。



【圏域別】

(%)

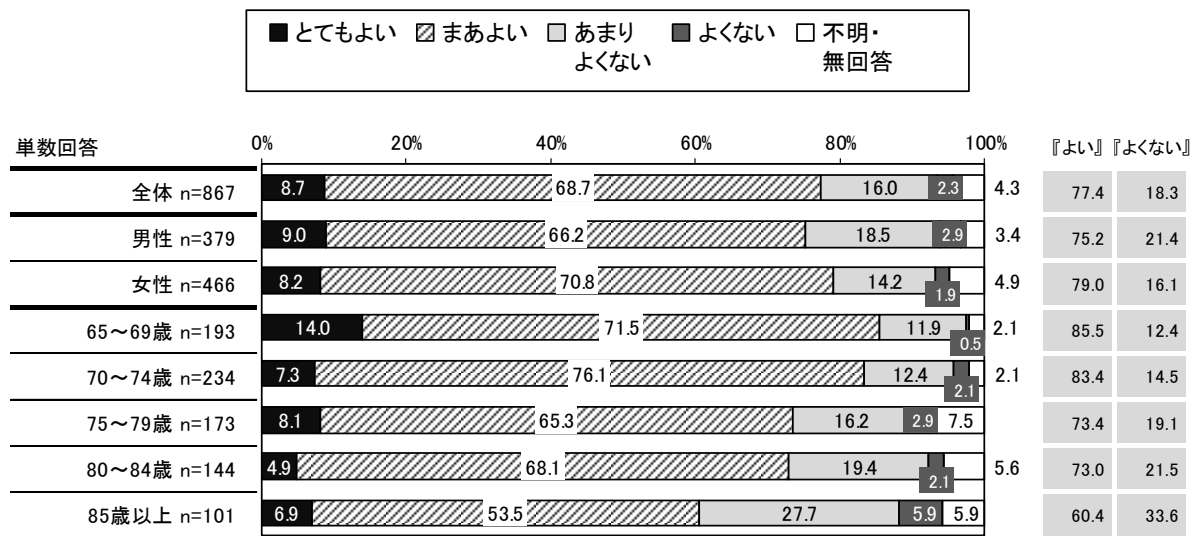
		はい	いいえ	不明・無回答	
	全体	n= 867	44.1	45.1	10.8
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	44.8	46.3	9.0
	第二中学校圏域	n= 136	39.0	49.3	11.8
	第三中学校圏域	n= 120	47.5	45.8	6.7
	第四中学校圏域	n= 121	43.0	47.1	9.9
	第五中学校圏域	n= 103	42.7	44.7	12.6
	第六中学校圏域	n= 78	39.7	47.4	12.8
	第七中学校圏域	n= 77	46.8	44.2	9.1
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	50.0	32.9	17.1

7 健康について

(1) 健康状態

問7(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

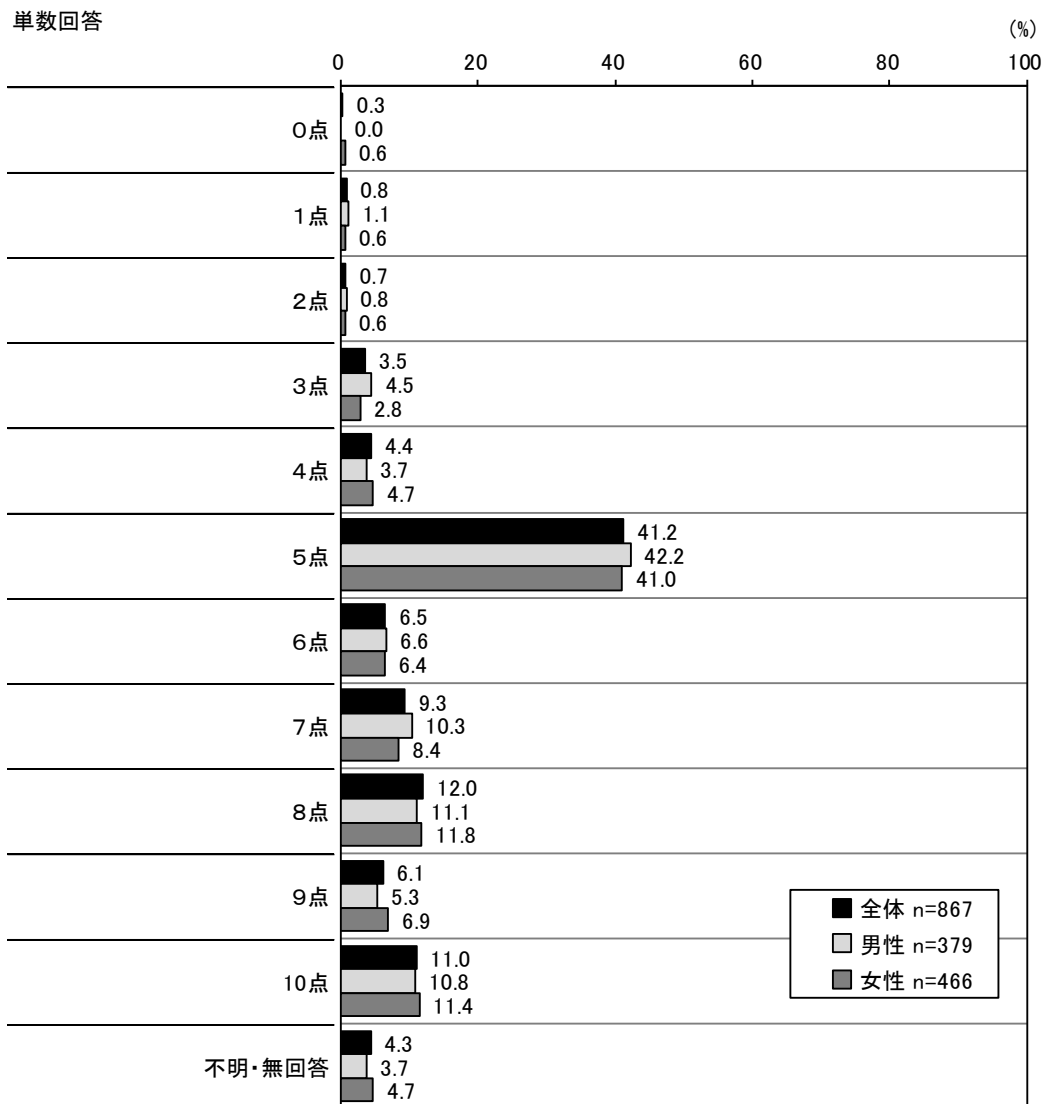
- 全体では、「まあよい」が68.7%と最も高く、「とてもよい」の8.7%と合わせると『よい』は77.4%となっています。『よくない』(「あまりよくない」「よくない」の合計)は18.3%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて『よい』という割合が低下し、『よくない』という割合が上昇しています。



(2) 幸福度

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字を○で囲んでください。(○は1つ)

- 全体では、「5点」が41.2%と最も高く、次いで「8点」が12.0%、「10点」が11.0%となっています。平均点は6.27点となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【65～69歳】の平均点は他の年齢階層よりも高くなっていますが、【80～84歳】の平均点は低くなっています。



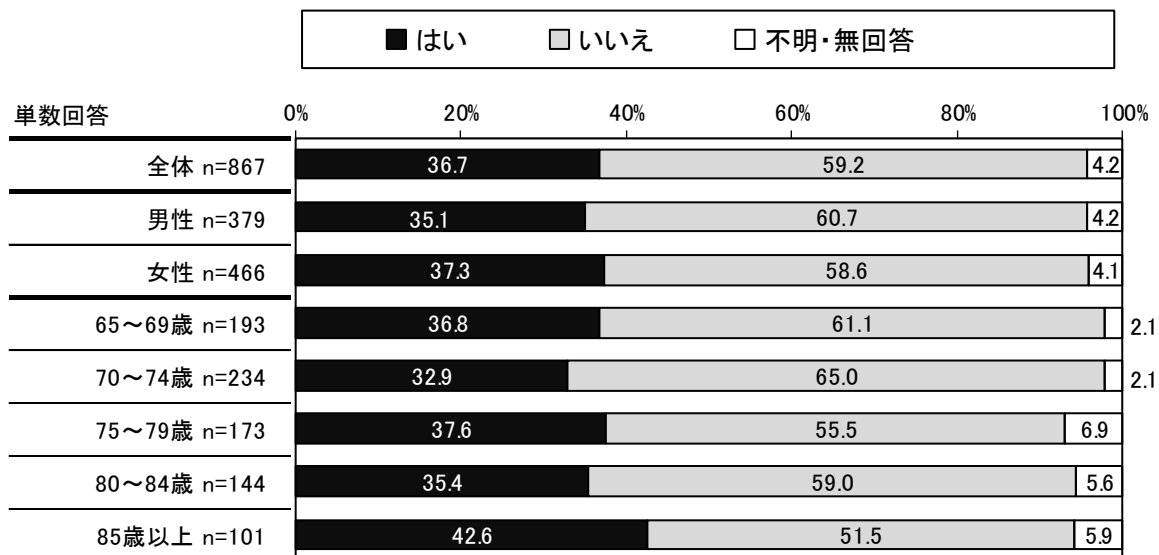
平均点【性別、年齢別】 (点)

		平均点
性別	全体	n= 867 6.27
	男性	n= 379 6.21
	女性	n= 466 6.31
年齢別	65～69歳	n= 193 6.44
	70～74歳	n= 234 6.28
	75～79歳	n= 173 6.28
	80～84歳	n= 144 6.02
	85歳以上	n= 101 6.20

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

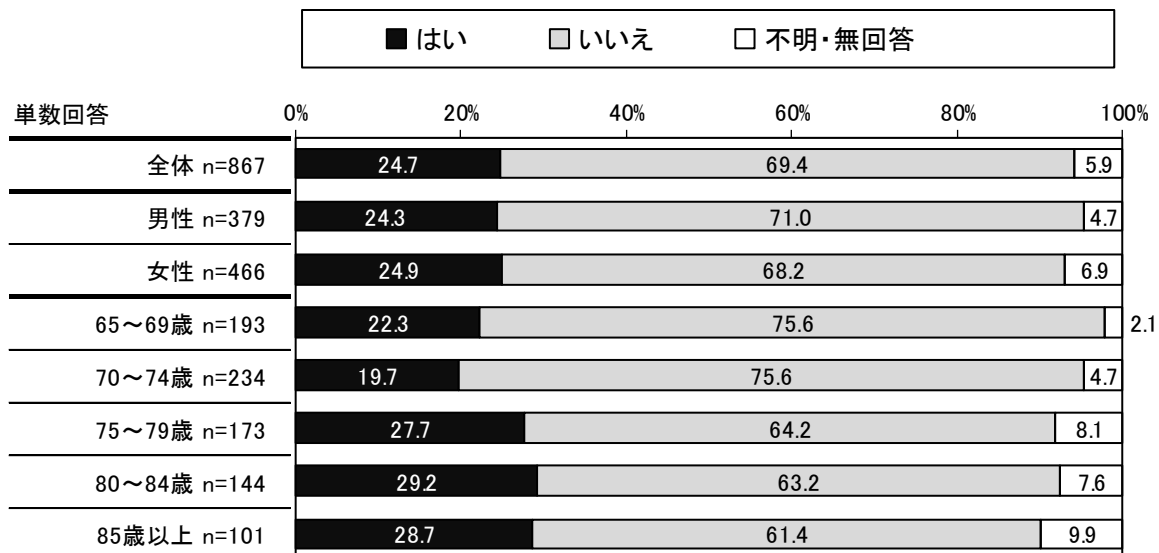
- 全体では、「いいえ」が59.2%、「はい」が36.7%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(4) この1か月間、興味がわかない、心から楽しめないと感じたりすること

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

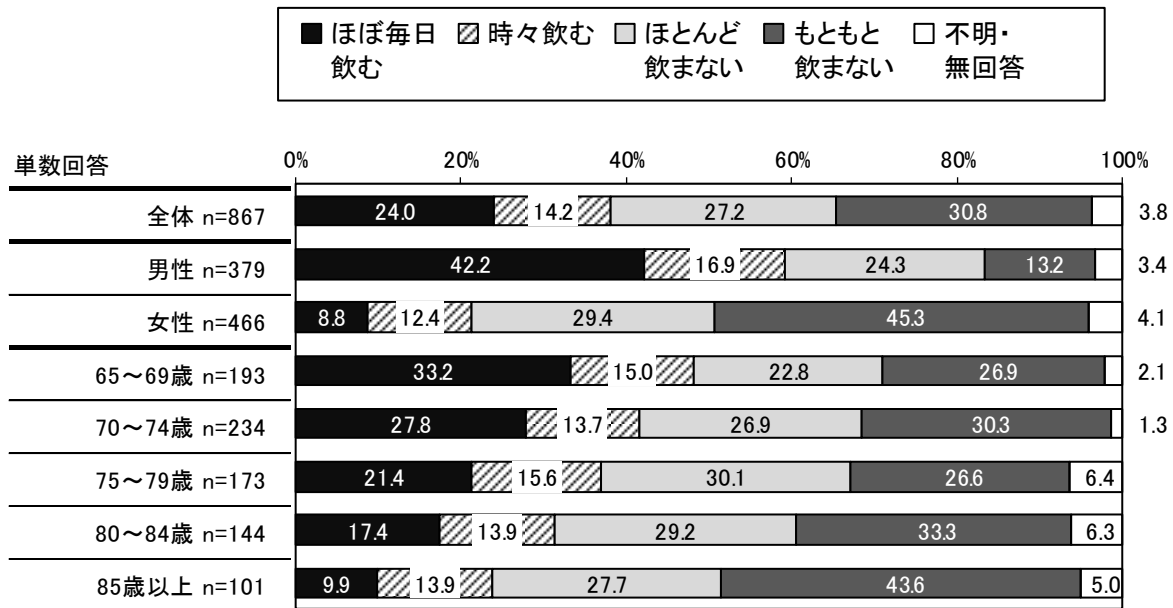
- 全体では、「いいえ」が69.4%、「はい」が24.7%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【75～79歳】以上の年齢階層は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(5) 飲酒状況

問7(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

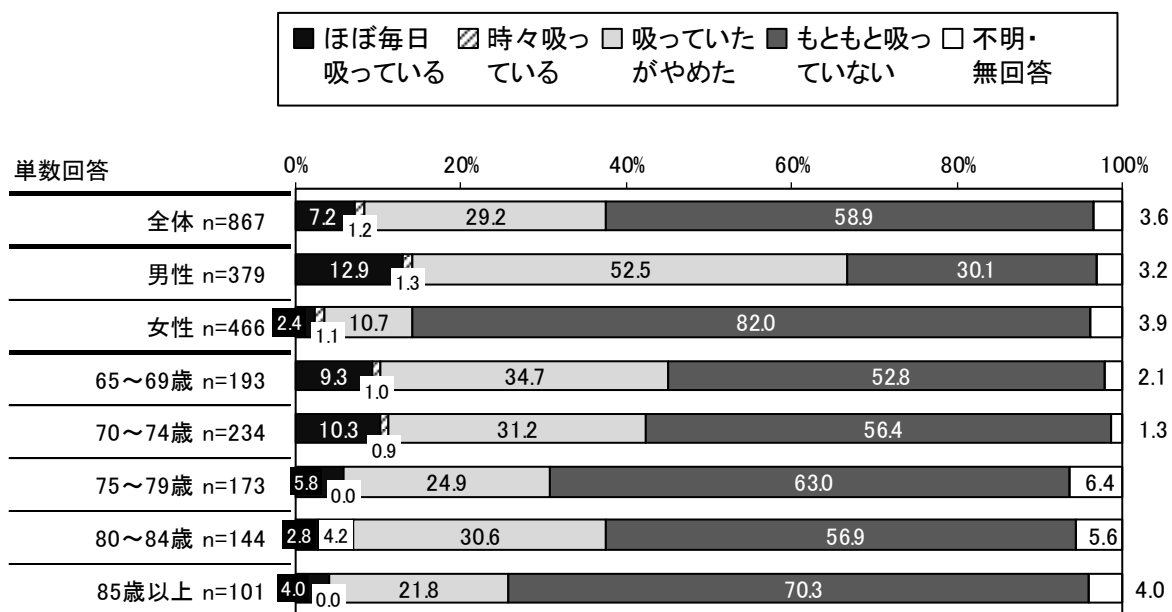
- 全体では、「もともと飲まない」が30.8%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.2%、「ほぼ毎日飲む」が24.0%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「ほぼ毎日飲む」が、【女性】は男性よりも「もともと飲まない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「ほぼ毎日飲む」割合が低下しています。



(6) 喫煙状況

問7(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

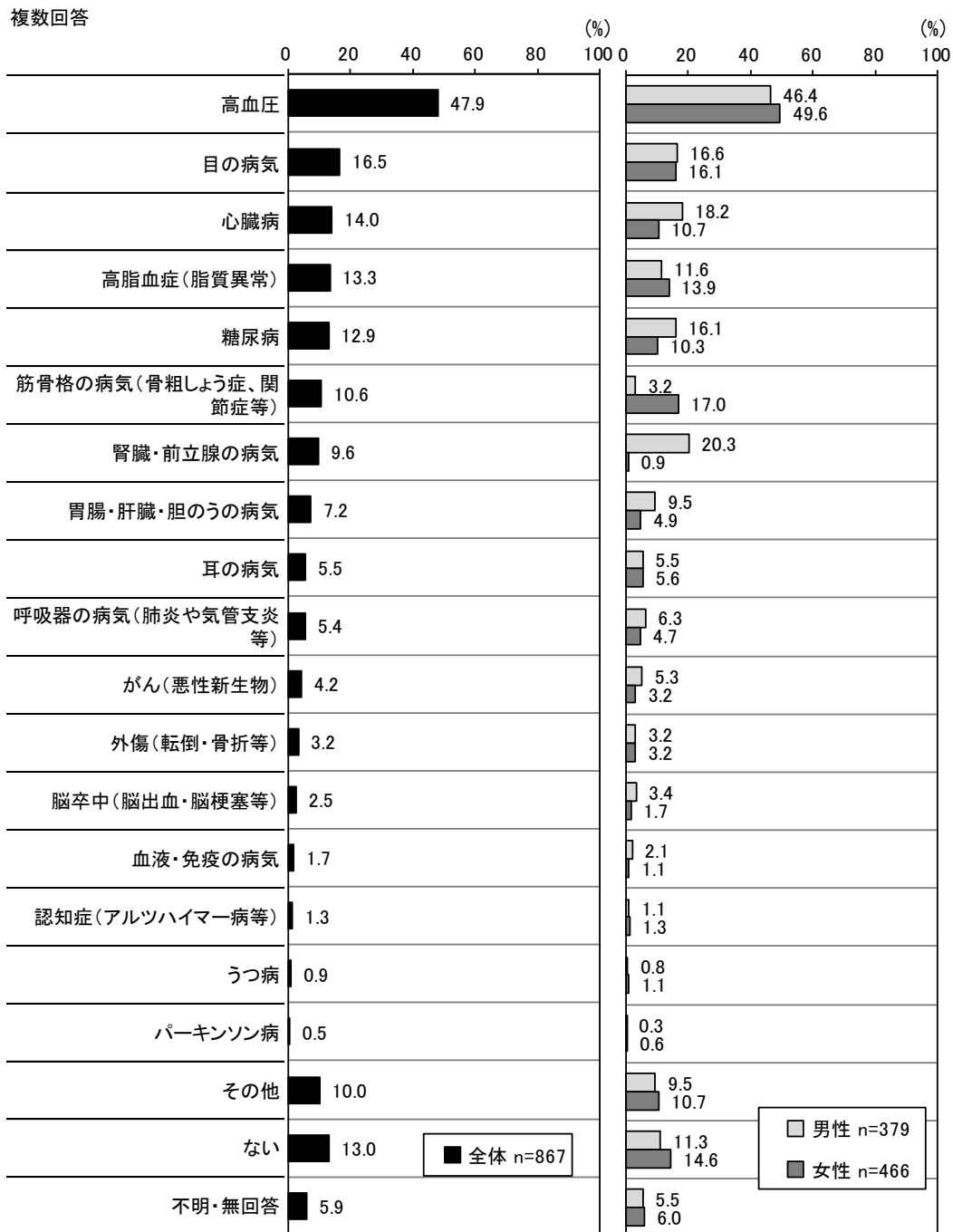
- 全体では、「もともと吸っていない」が58.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.2%となっています。
- 性別では、【男性】は「吸っていたがやめた」が、【女性】は男性よりも「もともと吸っていない」割合が高くなっています。
- 年齢別では、【65～69歳】【70～74歳】は「吸っていたがやめた」が4割台と他の年齢階層よりも高くなっています。



(7) 治療中、または後遺症のある病気

問7(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- 全体では、「高血圧」が47.9%と最も高く、次いで「目の病気」が16.5%、「心臓病」が14.0%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」が、【女性】は男性よりも「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が高くなっています。



- 年齢別では、「高脂血症（脂質異常）」の割合は【65～69歳】が高くなっています。

【年齢別】上位7位

(%)

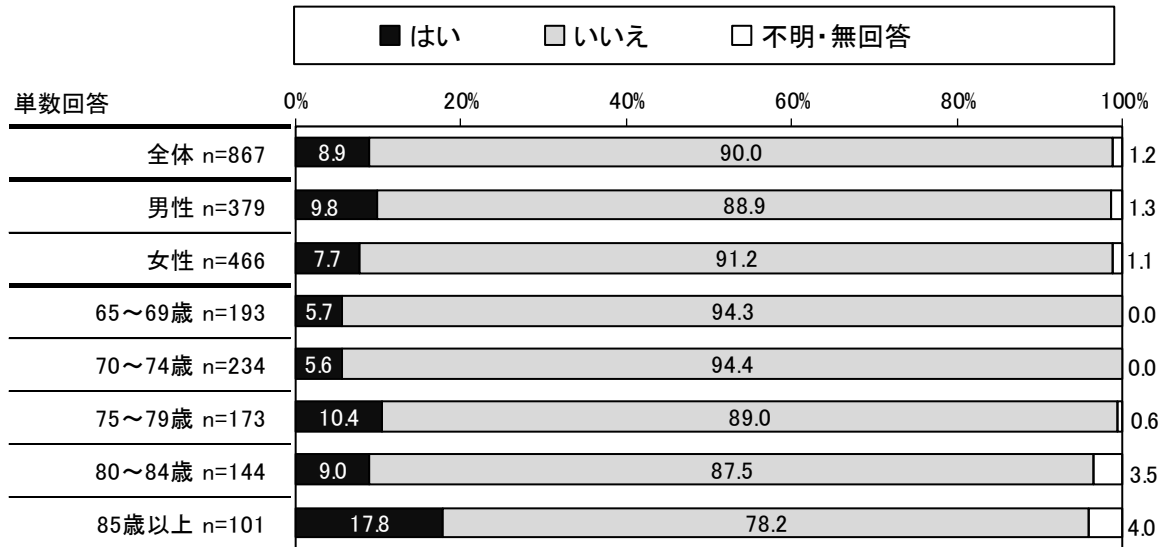
			高血圧	目の病気	心臓病	高脂血症(脂質異常)	糖尿病	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	腎臓・前立腺の病気
全体		n= 867	47.9	16.5	14.0	13.3	12.9	10.6	9.6
年齢別	65～69歳	n= 193	40.4	10.9	8.8	15.0	12.4	6.7	4.7
	70～74歳	n= 234	51.7	15.0	9.0	13.7	15.8	9.4	9.8
	75～79歳	n= 173	43.9	15.0	17.3	12.7	15.0	12.7	12.1
	80～84歳	n= 144	56.9	22.9	20.1	12.5	12.5	11.8	10.4
	85歳以上	n= 101	49.5	22.8	21.8	7.9	4.0	16.8	12.9

8 認知症および成年後見制度について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無

問8(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

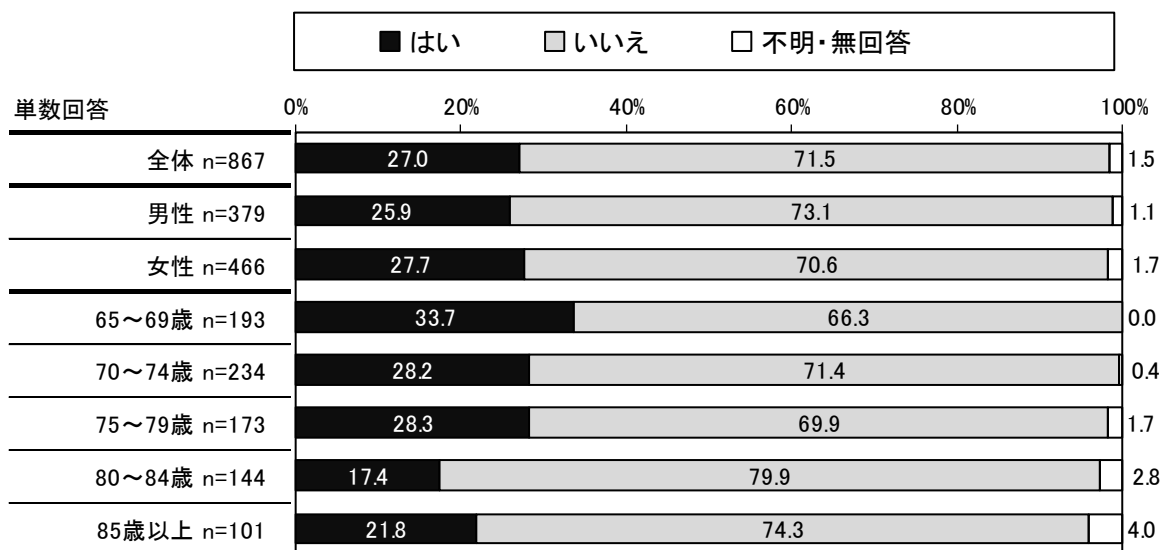
- 全体では、「いいえ」が90.0%、「はい」が8.9%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問8(2) あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- 全体では、「いいえ」が71.5%、「はい」が27.0%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【65～69歳】は「はい」の割合が他の年齢階層よりも高く、【80～84歳】【85歳以上】は低くなっています。
- 前回調査との比較では、「はい」の割合がほぼ同程度となっています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】は「はい」の割合が他の圏域よりも高くなっています。



【前回調査、圏域別】

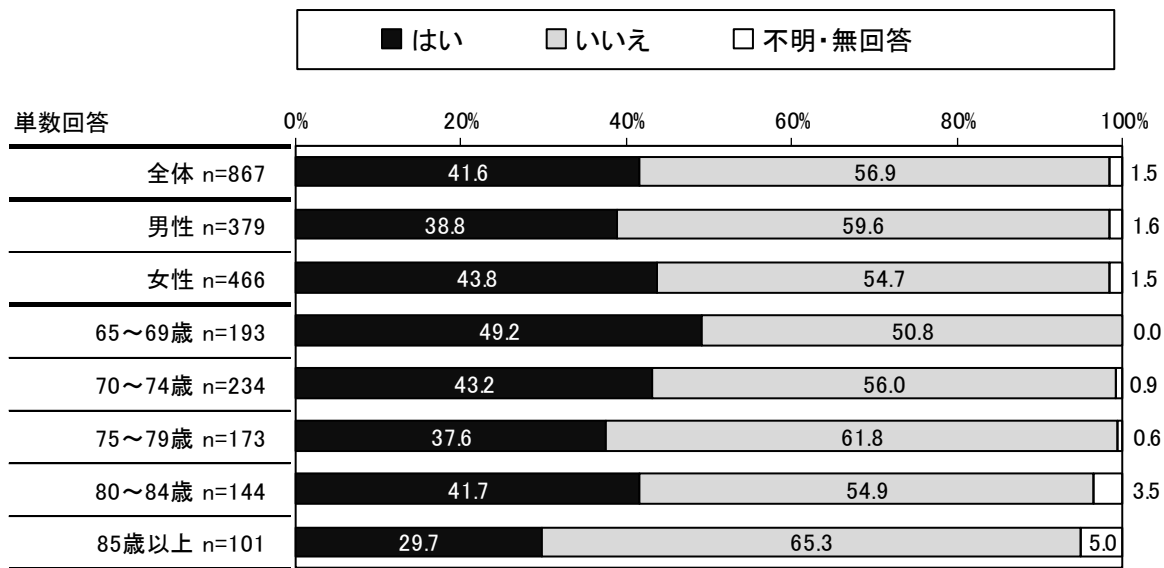
(%)

【前回調査・圏域別】			はい	いいえ	不明・無回答
全体		n= 867	27.0	71.5	1.5
前回調査		n= 793	26.9	68.7	4.4
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	34.3	64.2	1.5
	第二中学校圏域	n= 136	24.3	74.3	1.5
	第三中学校圏域	n= 120	30.0	69.2	0.8
	第四中学校圏域	n= 121	30.6	69.4	—
	第五中学校圏域	n= 103	26.2	71.8	1.9
	第六中学校圏域	n= 78	20.5	76.9	2.6
	第七中学校圏域	n= 77	16.9	81.8	1.3
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	25.0	72.4	2.6

(3) 成年後見制度に関する相談を市役所や地域包括支援センターでできることについての認知度

問8(3) 成年後見制度について米沢市役所や地域包括支援センターでもご相談いただけることをご存知ですか。(○は1つ)

- 全体では、「いいえ」が56.9%、「はい」が41.6%となっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも認知度が低くなっています。
- 年齢別では、【65～69歳】は認知度が他の年齢階層よりも高くなっていますが、【85歳以上】は低くなっています。
- 圏域別では、【第一中学校圏域】【第四中学校圏域】は他の圏域よりも認知度が高い一方、【第七中学校圏域】は低くなっています。



【圏域別】

(%)

		はい	いいえ	不明・無回答	
全体		n= 867	41.6	56.9	1.5
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	50.0	49.3	0.7
	第二中学校圏域	n= 136	35.3	62.5	2.2
	第三中学校圏域	n= 120	41.7	57.5	0.8
	第四中学校圏域	n= 121	51.2	47.1	1.7
	第五中学校圏域	n= 103	35.9	62.1	1.9
	第六中学校圏域	n= 78	44.9	53.8	1.3
	第七中学校圏域	n= 77	33.8	64.9	1.3
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	34.2	63.2	2.6

9 自由意見

(1) 自由意見の概要

最後に、介護保険事業や高齢者の保健福祉に関するご意見やご要望等について、自由にお書きください。

- 市への意見・要望については、記入者数は266人、内容を分類した記入件数は271件となっています。内容を分類すると、「介護保険・医療について」が56件と最も多く、次いで「高齢者施策について」が44件、「感想や生き方について」が35件となっています。

回答者数：266人

順位	内容	件数
1	介護保険・医療について	56
2	高齢者施策について	44
3	感想や生き方について	35
4	交通について	26
5	生活に対する不安について	20
6	経済的負担や軽減について	20
7	行政について	16
8	健康づくりや介護予防について	10
9	介護者の負担について	6
10	アンケートについて	4
	その他	35
合計		272

※複数回答者がいるため、回答者数と合計数は一致していません。

(2) 主な意見

※回答者の原文のままとしています。一部記載については、回答者のプライバシーの保護等を目的として匿名化ならびに秘匿化を施しています。

① 介護保険・医療について

- 介護施設を増やしてほしい。入居の費用を手頃な金額にできないでしょうか。
- 祖父母の介護保険が長い間あったので、つらい面もたくさんあったし、今はさまざま利用できる場所があるので、安心はしております。人と人との関わりの難しさも知りましたので、面倒なこともありますよね。
- 介護が必要になった場合また、認知症になった場合、家族に負担をかけたくないということは誰しも思う事だと思います。施設に入所するのはいいのですが、高い金額だとやっぱり負担がかかってしまう。誰もが入所できる安い施設があればいいなあと思います。（介護に携わる方の給料の面も、問題点がでてきて申し訳ないかな？）
- パーキンソンの夫を看護していますが、介護度3ではなかなか特別養護老人ホームの入居が難しい。年金生活では、有料老人ホームへの入居は難しい。
- 施設等に入らず、子供達にも迷惑をかけず、最終的訪問医療を受ける事ができるのでしょうか？知りたいと思います。
- 介護士の給与アップ（仕事に見合った内容へ）必要と思います。
- 特別養護老人ホームが少なく、順番待ちに時間が何年もかかりそのため高額な老人ホーム

に行かざるを得ないのが残念だし、家族の負担が大きい。もっと手頃なホームがあればと思います。

- 介護保険料は払っているものの、自分が要介護になった場合の手続き、金銭的な支払い額等、具体的な事項について聞いた事がないので、この様な事について、内容等記載したパンフレットでも良いので、配布をお願いしたい。
- 月2回デイサービスに行って、とても楽しんでいます。週1回くらいあったらもっと楽しいのと思っています。市のいきいきデイサービスゆったりコースに行っています。
- もし病気になって入院などした時に3ヶ月しか入院出来ずに外の病院に移らないといけない様ですが別な所が見つからないと大変ですね。

② 高齢者施策について

- 高齢者の一人暮らしマップ等、又は、地域委員による週一回程度の訪問、町内会での訪問確認等が必要と思われる。
- 成年後見制度について、制度の利用を始めると本人が亡くなるまで辞めることができないこと。途中交代（後見人）が難しく最初に決まった人物が継続する、又、親族が後見人に就くことが難しいこと。「法定後見」と「任意後見」の2種類等々、疑問点が多々あることに不安を感じる。
- 自分の周辺にも、一人暮らしの高齢者が多いのですが、子ども見守り隊のように、定期的に安否確認等の声掛けが必要になってくるのではないのでしょうか？今は、介護を必要とせず、生活できていますが、先の事を考えると、何かと不安が募ります。
- 衰退の一途の毎日で何とか気力、体力維持しなければと思っていますが、介護施設は空きがないとか聞きますとどちら相談に伺うといいのか。いざという時の助けを求める先がわかりません。お忙しい業務の中、この様なアンケートは、自分の見直しになりました。
- 今現在の状況で、何にも浮かびませんが、夫婦二人だけの元気な生活を過ごしているうちに、終活をどうするか、自分なりの課題解決の方策を進めるための助言をいただける窓口があれば幸いです。
- アンケートの対象にもならず、ひっそりと何も知らないで一人暮らししている高齢者の方がたくさんおられます。地道な訪問確認でケアしてあげて下さい。高齢化も少子化と同じくらい、取り組むべき問題だと思いませんか。
- コロナ禍になって、外に出ることが恐くなり、お友達を家に来てもらうのも恐く、じっとしています。何かよい方法があれば、孤独にならなくて済みますね。お友達も同じ年ぐらいで、お互いに電話で励まし合っています。
- 米沢市にあって利用できる施設、相談できる施設の一覧表のようなものがあるといい。

③ 感想や生き方について

- なるべく介護保険をつかわなくて良い様に自分の事は自分で出来る様に頑張りたいと常に思っております。
- 米沢に生まれて86年、雪さえなければ1人にも慣れて毎日普通に生活できて本当にうれしく思っています。不満よりも感謝の毎日です。
- 昨年から思っていることがある。前年と比べると、動作が苦痛になってきている。歩くこ

とが困難にならないように、脚の筋肉が落ちないように等々、無理しない程度に集中して器具を使って頑張っています。

- 先のことは心配だが、身体、生活の不自由さに直面しないとわからない。現在、健康福祉部には大変お世話になっております。それだけでも生活するには、助けられています。ありがとうございます。
- みんなが幸せな老後を生活できることを祈りたいです。
- 高齢になると必ずお世話になることであると理解していますが、今のところ自分のことであまり考えたことがないので、これからは少しずつ勉強していきたいと思っています。
- 今はとっても元気ですが、この先5年後～10年後の不安がないと言えど？今後は分からないので今を楽しみます。願うとすれば共同生活「シェアハウス」の1人に入れて頂き、友人達と暮らしたいです。

④ 交通について

- 雪に対する対策や病院、買物の移送手段について検討していただきたい。年金のみでも介護保険や医療費が高く生活しにくい。
- 都会とちがい交通が不便で困ります。住居が館山なので、雪は多いし、商店へのバスの便は少ないので、どうかしていただきたいです。
- 現在車を所有し、移動手段はあるが、早晚免許返納が必要である（79 才）返納した後の移動手段について、どうなるのか不安である。乗合タクシー等の拡充や他の手段をぜひ検討してほしい。それが、年配の人の生きがいにもなり、引きこもりを予防することになると思う。
- 年齢とともに乗り物に乗れなくなり、お店の遠い人は買い物にも行けない人が多いので、右廻り、左廻りのバスだけでなく、もっと市内からはずれた地区の方にもバスを出して欲しい。
- 三友堂病院が市立病院に移るので、バスの運行の回数を多くしたり、タクシー代の援助がほしいと思います。・介護予防運動や手軽にできる料理講座、会話のできる場所を近くに設けてほしいと思います。
- ニュースなど見る度に、運転免許証の返納時期を考えるのですが、他の交通手段が無い事が、不安です。タクシーではなく、気軽に利用出来るものがあればいいのですが...特に、雪道では、感じます!!

⑤ 生活に対する不安について

- 数年後を考えると不安でいっぱいになります。取りこぼしのない見守りとその時が来た時の支援をよろしくお願いします。個々に合わせた支援の方法で安心して生活できたらと思います。そろそろなので、保健福祉について説明を受ける機会があったら参加してみたいです。
- 介護が終わったばかりです。自分も介護が必要になる年齢になったらとっても不安になります。その時が来たら、誰に相談出きるのか、家族には苦勞かけたくないので!!とても不安になります。先が明るいといいますが、気分的には明→暗になります。
- 国民年金のみの生活なので、将来介護施設等へ入居の場合、経済的に不安があると申しています。（本人）

- 自分も含め、近隣は、高齢の2人住まい夫婦や、高齢独居の方など、大変増しており、雪の時期などは特に不安と重労働になる。今は、健康面・経済面に恵まれて日々暮らせる事に感謝しているが、5年、10年後の介護サービスや、保険制度がどうなるのか不安。できる限り、外出しないことを心がけた3年間でした。地域の活動やサークルも止まったまま、隣組の人さえ挨拶もろくにしなくなりました。交流していた親しい人たちともすっかり疎遠になっています。まもなくマスクをとっても良い日が来るようですが、元の生活に戻れるとは思えません。今は何とか配偶者と2人で助け合って元気でやっていますが、子供たちとの交流もほとんどなく、体のあちこち少しずつ調子悪くなっているし、ゆううつになったり、楽しめない感じもあります。いつも漠然と不安2文字を抱えています。他の人はどうなのでしょう。大勢で大きな声で笑いたいなー。
- 現在何とか毎日無事に暮らしておりますが、冬の季節雪かきが一番心配です。妻がほとんど除排雪していますが、妻も後期高齢者で今後が心配です。

⑥ 経済的負担や軽減

- 物価が高くなり、何もかも計算通りにならず、予算を上回ります。介護保険料も安くなれば幸いです。
- 医療保険（費）が現在よりあがらない様にして欲しい。冬期の除雪について、補助又は雪かきの手助け方を拡充していただきたい。
- 受取り年金より控除される後期高齢者医療保険料、介護保険料の金額が大きい。受給金額が年々少なくなるし、生活にも負担が大。上記の2点の保険料控除などかなりませんか。政治的な問題。健康に気を付けて毎日頑張っていますのに。
- 収入がなく固定資産税の支払い、これより大変になるので建物を解体しようとしていますが、元の税より高くなるので困っています。今年度よりアルバイトは体の調子が悪いのでやめます。
- 令和5年度市民税の申告書を提出しましたが、年金の収入より、介護保険等、その他の支出の方が多くて、大変苦しいです。もっと年金額が上がってほしいと思います。

⑦ 行政について

- 気軽に何でも話せる、相談できるようにしていただきたいです。色々と指導アドバイスをお願いします。
- 除雪の重機が高齢者の玄関前に置いて行って、それを片付ける人が大変。片付ける必要がないように除雪をするようにオペレーターの指導ができませんか？ますます高齢者が多くなる米沢ですので、町内の除雪の方法も考えるべきではないですか。市役所に TEL しても改善がなっていません。（時々業者の変更も考えては）
- 市役所の中でどこで、どの様な相談出来るのか、分かりづらいのでマニュアルがほしい。
- もともと高齢者です。どなたにも分かりやすい説明を行って下さい。何度も同じことを聞き返したりしている人を見っていますが、その対応、最初は優しく対応していますが、徐々に顔に出たり、態度に出たりしているのを見た事があります。大勢の人たちを相手にしてお疲れでしょうが、相手の人は初めの人です。そんなところをみると相談も考えてしまいます。何もわからないのに言いたい事書いて失礼いたしました。ご苦勞様です。
- 高齢者にもわかりやすい市役所の担当一覧表的な表を作成し、配布して欲しい。〇〇部〇

○課○○係と複雑な感じでどこにどんな相談していいか……。宜しくお願いします。

⑧ 健康づくりや介護予防について

- 認知症や体力低下になる前の予防をどうしたらいいか考えています。予防が大事だと思うのです。
- 通いの場健康づくり介護予防等の会グループに参加して仲間作りをしたいと思っています。
- 公民館で百歳体操に週1回参加し、その間に体力測定や栄養に関する事、市の方が教えて下さるので助かります。なるべく自分のできることをしていきたいと思っています。
- 市で行っている介護予防教室、認知症予防教室に参加させていただいています。知らなかった方とも話ができたり、楽しく体力作りもやっています。長く続けてもらいたいです。知らない方もいらっしゃるの、もっとPRしてはどうでしょう。

⑨ 介護者の負担について

- 現在は妻の介護と自分の通院で精一杯。
- 夫婦とも70才代ですが、認知症の母親がいますので、老々介護です。自営業ですので、時間が取れない時等デイ、ショートを利用していますが、長期入所を必要と思う事が多くなりました。順番待ちだとわかっていますが、先の不安、心配、介護もとても大変です。
- 母を介護した経験がありますが、介護施設になかなか入居できませんでした。やっと入居できる電話をもらった時にはすでに母は亡くなった後でした。実母を介護できるのは私一人だけだったので、すごく大変で私の体調も悪く、精神的にもきつく、夜も眠れなかった事を思い出します。介護施設がもう少しあればと思います。
- 今は、私は元気ですが、高齢福祉課の方には、妻の要介護申請手続き等でお世話になっております。今後は、老々介護になるのではと心配もしている所ですが、これからも何かとお世話にならなくてはならず、よろしくお願いいたします。

⑩ アンケートについて

- 自分は、腰部に持病があるため、外での仕事はできず、家の中での仕事だけなので、この様なアンケートの答え方になりました。
- 表面に氏名ありますが、無記名でもいいと思います。自由。名前ありますが、私はOKですが。

⑪ その他

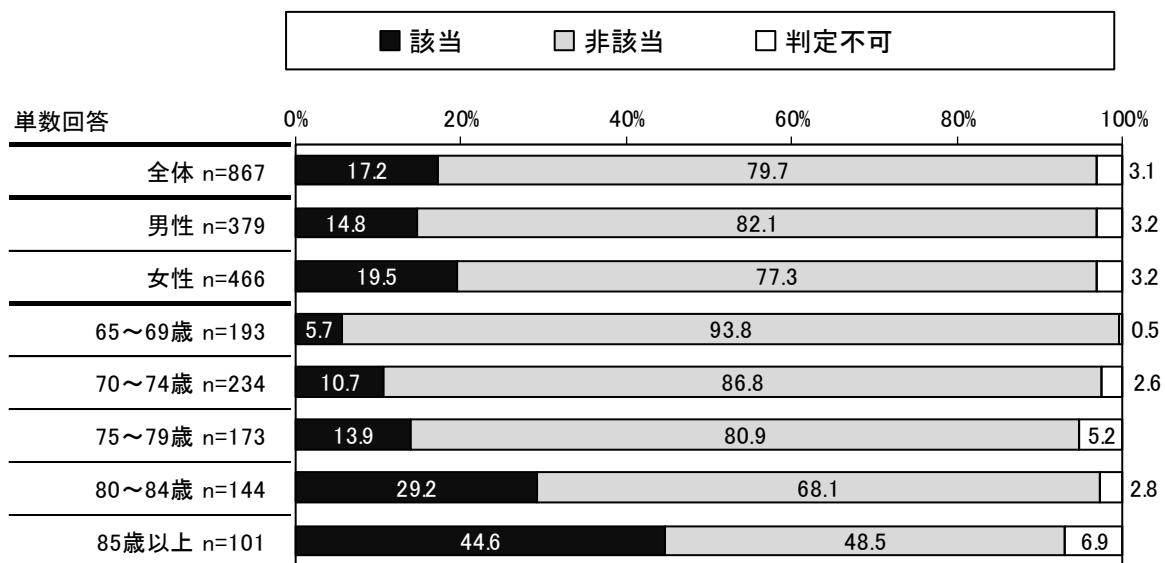
- 72才になりますが、介護保険、保健福祉も利用した事がないので分かりません。
- 今のところないです。じっくり考えるとあると思います。

10 高齢者リスク判定分析

(1) 運動器機能リスク

問2(1)(2)(3)で「3.できない」、問2(4)で「1.何度もある」「2.一度ある」、問2(5)で「1.とても不安である」「2.やや不安である」という回答が3問以上の場合は該当

- 全体では、「該当」は17.2%となっています。
- 性別では、【女性】が男性よりも該当者の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者の割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第六中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも高くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が61.5%と一般高齢者よりも高くなっています。



【圏域別、状態像別】

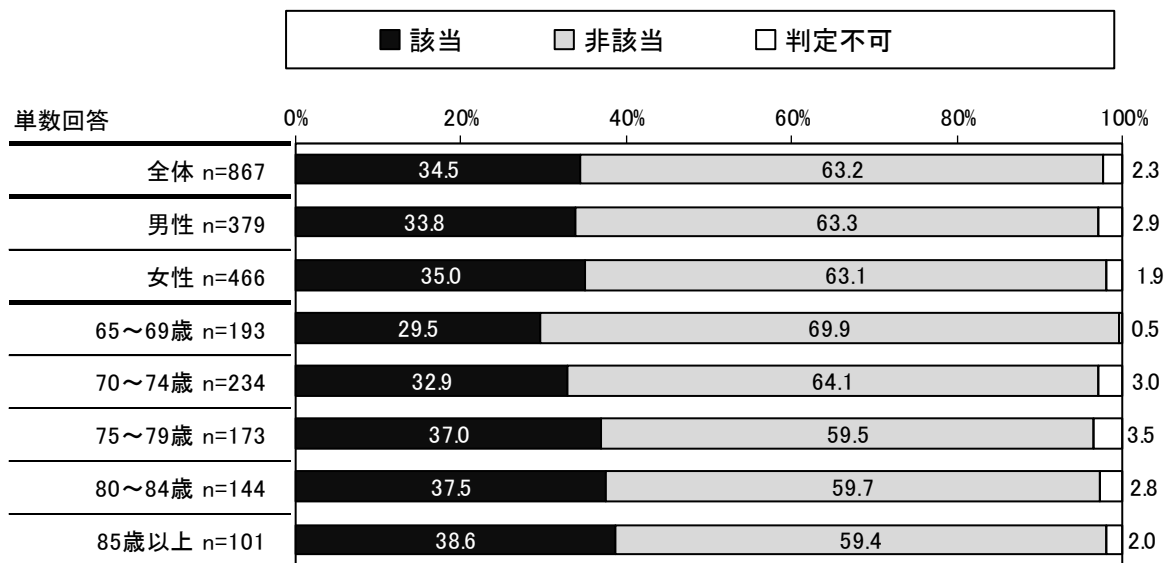
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	17.2	79.7	3.1
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	14.9	82.1	3.0
	第二中学校圏域	n= 136	19.1	75.0	5.9
	第三中学校圏域	n= 120	19.2	77.5	3.3
	第四中学校圏域	n= 121	15.7	81.0	3.3
	第五中学校圏域	n= 103	16.5	82.5	1.0
	第六中学校圏域	n= 78	21.8	75.6	2.6
	第七中学校圏域	n= 77	15.6	84.4	—
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	17.1	77.6	5.3
状態像別	一般高齢者	n= 806	15.3	81.6	3.1
	要支援1・2	n= 39	61.5	33.3	5.1

(2) 転倒リスク

問2(4)で「1. 何度もある」「2. 一度ある」と回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は34.5%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者の割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第六中学校圏域】【(旧)南原中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも高くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が51.3%と一般高齢者よりも高くなっています。



【圏域別、状態像別】

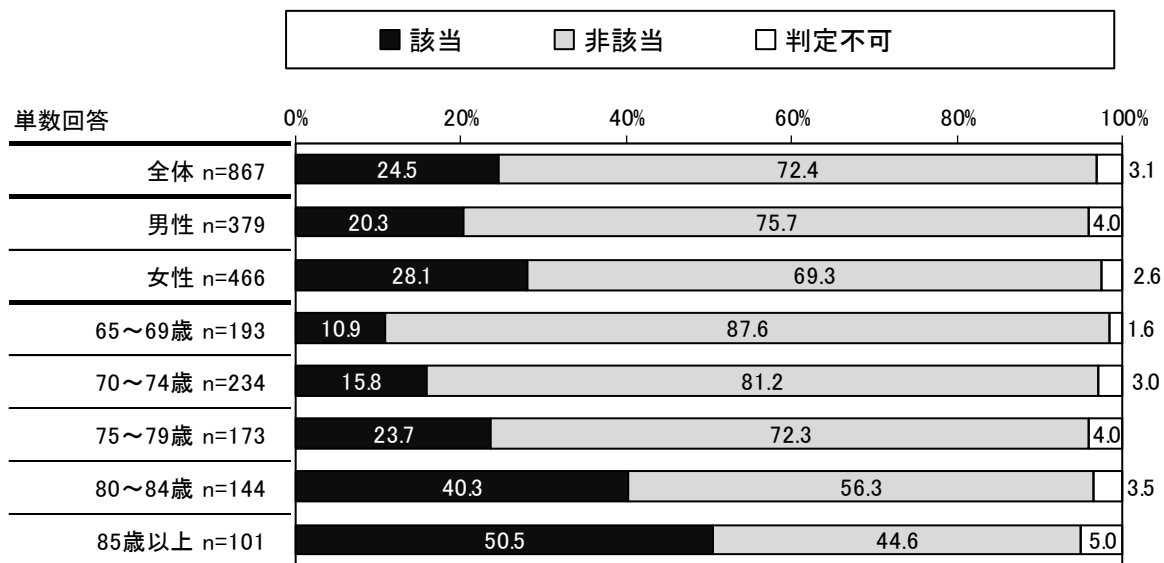
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	34.5	63.2	2.3
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	38.8	59.7	1.5
	第二中学校圏域	n= 136	33.8	62.5	3.7
	第三中学校圏域	n= 120	37.5	60.0	2.5
	第四中学校圏域	n= 121	26.4	69.4	4.1
	第五中学校圏域	n= 103	31.1	67.0	1.9
	第六中学校圏域	n= 78	41.0	57.7	1.3
	第七中学校圏域	n= 77	28.6	71.4	-
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	39.5	57.9	2.6
状態像別	一般高齢者	n= 806	33.6	63.9	2.5
	要支援1・2	n= 39	51.3	48.7	-

(3) 閉じこもりリスク

問2(6)で「1.ほとんど外出しない」「2.週1回」と回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は24.5%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも該当者の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者の割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第五中学校圏域】【第六中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも高くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が61.5%と一般高齢者よりも高くなっています。



【圏域別、状態像別】

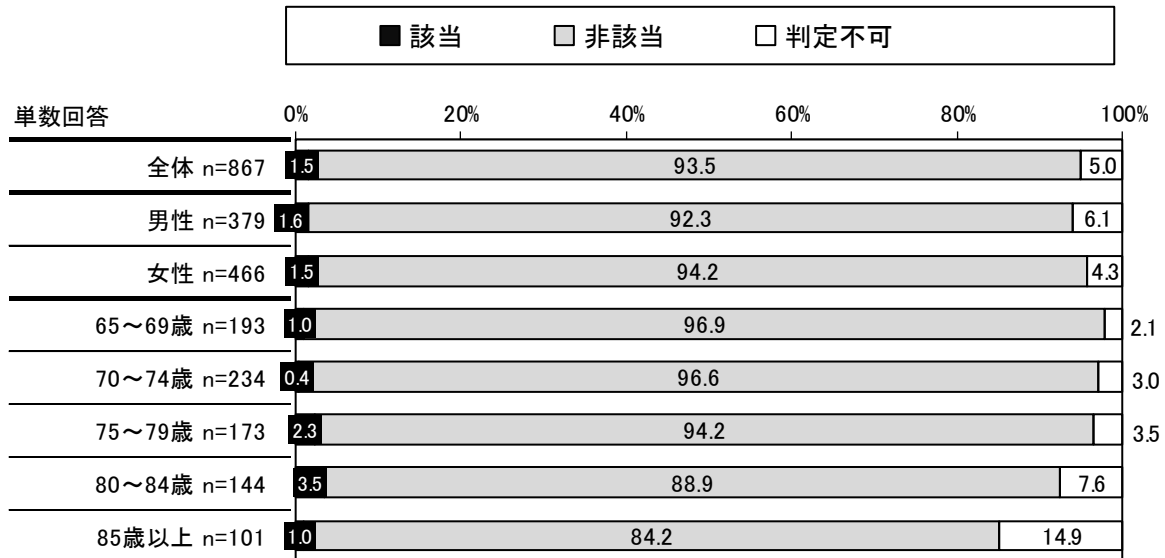
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	24.5	72.4	3.1
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	21.6	76.9	1.5
	第二中学校圏域	n= 136	22.1	73.5	4.4
	第三中学校圏域	n= 120	28.3	69.2	2.5
	第四中学校圏域	n= 121	17.4	78.5	4.1
	第五中学校圏域	n= 103	32.0	67.0	1.0
	第六中学校圏域	n= 78	29.5	66.7	3.8
	第七中学校圏域	n= 77	23.4	74.0	2.6
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	26.3	67.1	6.6
状態像別	一般高齢者	n= 806	22.8	73.9	3.2
	要支援1・2	n= 39	61.5	35.9	2.6

(4) 低栄養リスク

問3(1)でBMI((体重kg)÷(身長m)×(身長m))が18.5以下、(7)で「1.はい」と回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は1.5%となっています。
- 性別、年齢別、圏域別及び状態像別では、特筆すべき差はみられません。



【圏域別、状態像別】

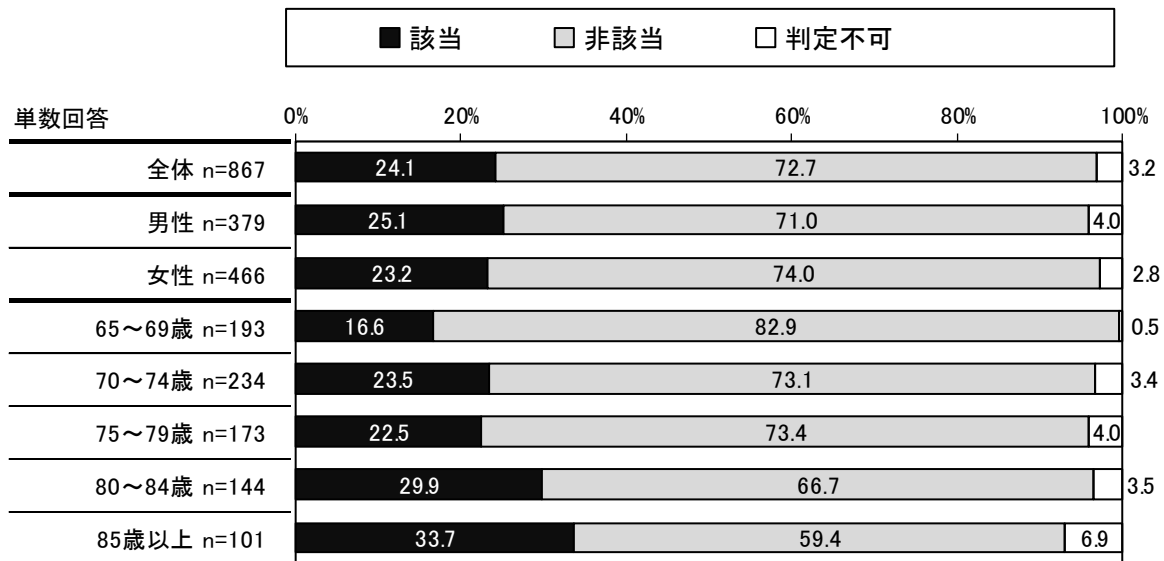
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	1.5	93.5	5.0
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	3.0	91.0	6.0
	第二中学校圏域	n= 136	0.7	95.6	3.7
	第三中学校圏域	n= 120	0.8	96.7	2.5
	第四中学校圏域	n= 121	0.8	94.2	5.0
	第五中学校圏域	n= 103	2.9	93.2	3.9
	第六中学校圏域	n= 78	2.6	89.7	7.7
	第七中学校圏域	n= 77	—	93.5	6.5
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	1.3	90.8	7.9
状態像別	一般高齢者	n= 806	1.5	93.8	4.7
	要支援1・2	n= 39	2.6	84.6	12.8

(5) 口腔機能リスク

問3(2)(4)(5)で2問以上「1. はい」と回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は24.1%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【75～79歳】以上は年齢階層が高くなるにつれて該当者の割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第七中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも低くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が35.9%と一般高齢者よりも高くなっています。



【圏域別、状態像別】

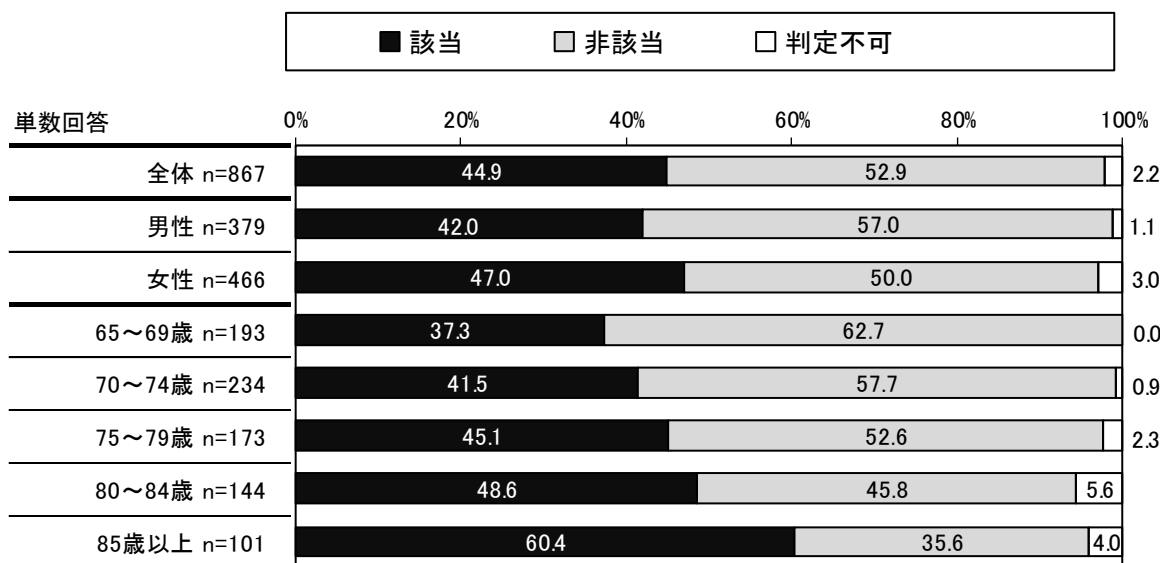
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	24.1	72.7	3.2
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	25.4	71.6	3.0
	第二中学校圏域	n= 136	27.2	69.9	2.9
	第三中学校圏域	n= 120	28.3	68.3	3.3
	第四中学校圏域	n= 121	26.4	69.4	4.1
	第五中学校圏域	n= 103	25.2	69.9	4.9
	第六中学校圏域	n= 78	21.8	76.9	1.3
	第七中学校圏域	n= 77	10.4	87.0	2.6
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	19.7	76.3	3.9
状態像別	一般高齢者	n= 806	23.4	73.3	3.2
	要支援1・2	n= 39	35.9	59.0	5.1

(6) 認知機能リスク

問4(1)(3)で「1. はい」、(2)「2. いいえ」のいずれかを回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は44.9%となっています。
- 性別では、【女性】は男性よりも該当者の割合が高くなっています。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて該当者の割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第二中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも高くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が53.8%と一般高齢者よりも高くなっていますが、他のリスク判定と比較すると【一般高齢者】の該当者は44.3%と高くなっています。



【圏域別、状態像別】

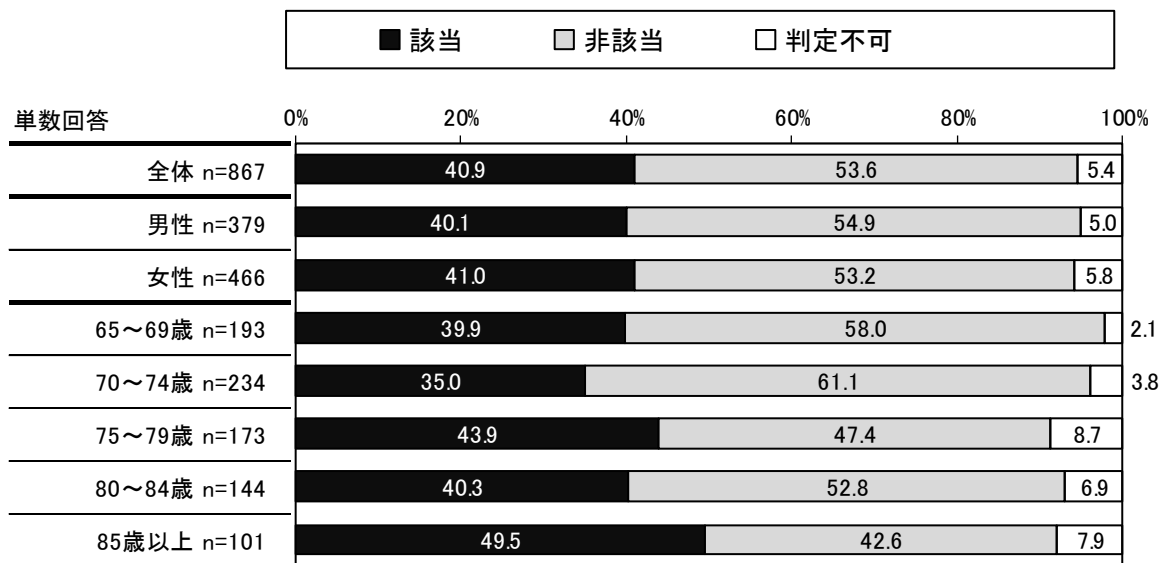
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	44.9	52.9	2.2
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	43.3	56.0	0.7
	第二中学校圏域	n= 136	52.2	47.1	0.7
	第三中学校圏域	n= 120	37.5	59.2	3.3
	第四中学校圏域	n= 121	43.8	55.4	0.8
	第五中学校圏域	n= 103	49.5	47.6	2.9
	第六中学校圏域	n= 78	42.3	53.8	3.8
	第七中学校圏域	n= 77	45.5	51.9	2.6
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	42.1	53.9	3.9
状態像別	一般高齢者	n= 806	44.3	53.6	2.1
	要支援1・2	n= 39	53.8	43.6	2.6

(7) うつリスク

問7(3)(4)でいずれかを「1. はい」と回答した場合は該当

- 全体では、「該当」は40.9%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、【85歳以上】は該当者の割合が他の年齢階層よりも高くなっています。
- 圏域別では、【第六中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも低くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が46.2%と一般高齢者よりも高くなっていますが、他のリスク判定と比較すると【一般高齢者】の該当者は40.3%と高くなっています。



【圏域別、状態像別】

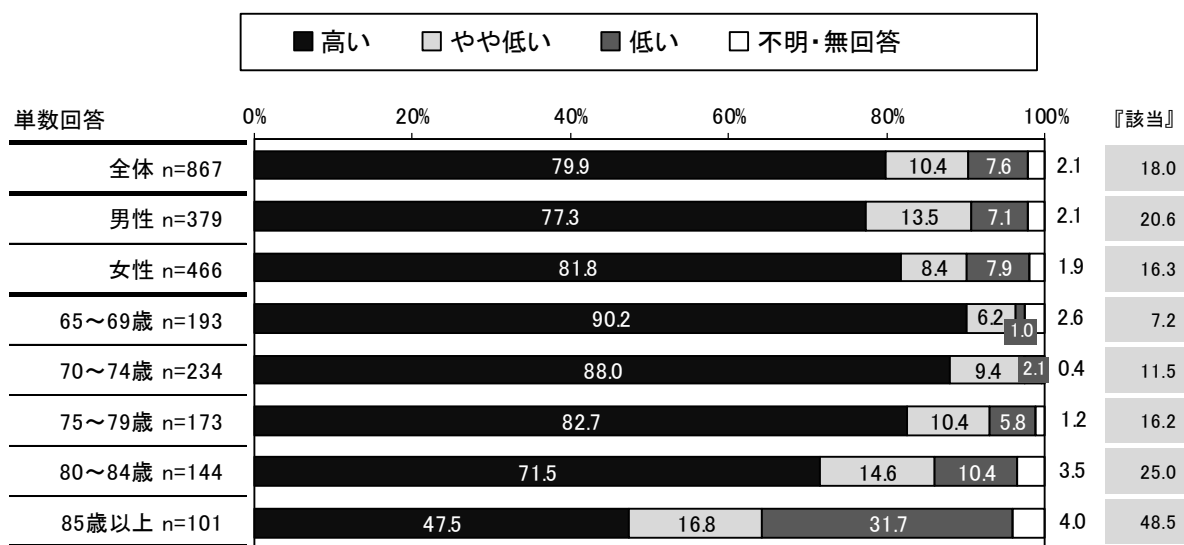
(%)

		該当	非該当	判定不可	
全体		n= 867	40.9	53.6	5.4
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	39.6	53.7	6.7
	第二中学校圏域	n= 136	43.4	52.2	4.4
	第三中学校圏域	n= 120	41.7	55.8	2.5
	第四中学校圏域	n= 121	43.0	52.9	4.1
	第五中学校圏域	n= 103	37.9	55.3	6.8
	第六中学校圏域	n= 78	33.3	61.5	5.1
	第七中学校圏域	n= 77	39.0	54.5	6.5
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	44.7	46.1	9.2
状態像別	一般高齢者	n= 806	40.3	54.6	5.1
	要支援1・2	n= 39	46.2	41.0	12.8

(8) IADL (手段的自立度)

問4(4)(5)(6)(7)(8)で「1.できるし、している」「2.できるけどしていない」を回答した場合を1点とし、計5点を「高い」、計4点を「やや低い」、計3点以下を「低い」

- 全体では、「高い」が79.9%と最も高く、次いで「やや低い」が10.4%、「低い」が7.6%となっています。なお、『該当』（「やや低い」「低い」の合計）は18.0%となっています。
- 性別では、特筆すべき差はみられません。
- 年齢別では、年齢階層が高くなるにつれて「高い」割合が低下し、該当者の割合が上昇しています。
- 圏域別では、【第七中学校圏域】は該当者の割合が他の圏域よりも高くなっています。
- 状態像別では、【要支援1・2】は該当者が61.6%と一般高齢者よりも高くなっています。



【圏域別、状態像別】

【区分別・状態像別】						(%)	
		高い	やや低い	低い	不明・無回答	『該当』	
全体		n= 867	79.9	10.4	7.6	2.1	18.0
圏域別	第一中学校圏域	n= 134	79.9	12.7	6.7	0.7	19.4
	第二中学校圏域	n= 136	80.1	10.3	5.9	3.7	16.2
	第三中学校圏域	n= 120	80.0	9.2	8.3	2.5	17.5
	第四中学校圏域	n= 121	81.8	9.1	8.3	0.8	17.4
	第五中学校圏域	n= 103	80.6	4.9	12.6	1.9	17.5
	第六中学校圏域	n= 78	76.9	12.8	7.7	2.6	20.5
	第七中学校圏域	n= 77	72.7	19.5	6.5	1.3	26.0
	(旧)南原中学校圏域	n= 76	84.2	9.2	3.9	2.6	13.1
像 状 別 態	一般高齢者	n= 806	81.9	9.7	6.5	2.0	16.2
	要支援1・2	n= 39	35.9	30.8	30.8	2.6	61.6

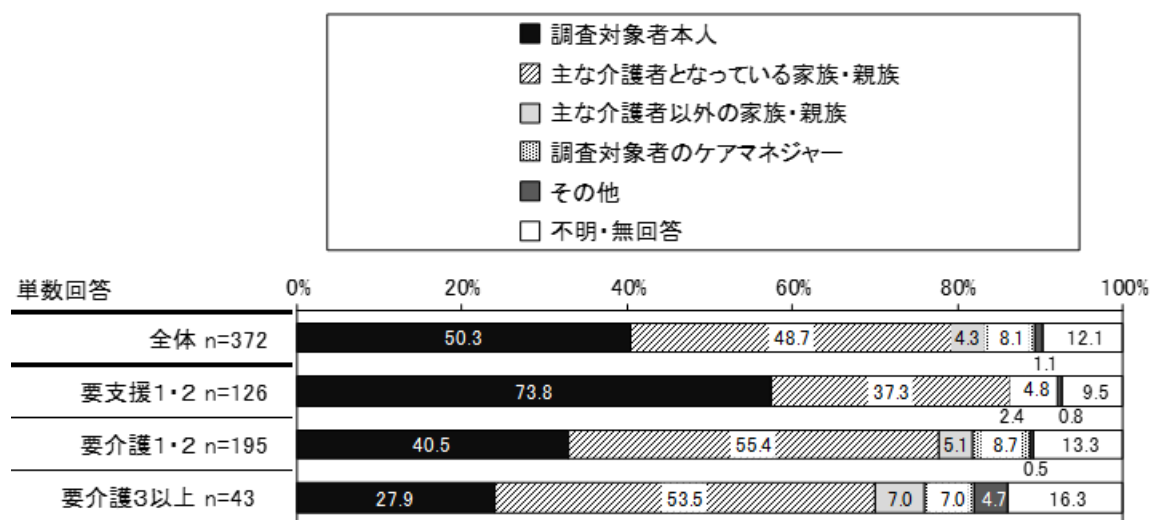
第3章 在宅介護実態調査結果の分析

1 対象者について

(1) 調査票の聞き取りを行った相手

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか

- 全体では、「調査対象者本人」が50.3%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が48.7%、「調査対象者のケアマネジャー」が8.1%となっています。
- 要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「調査対象者本人」の割合が低下しています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「調査対象者のケアマネジャー」が、【夫婦のみ世帯】は「調査対象者本人」が、【その他】は「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっています。
- 施設入所検討別では、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は件数は少ないものの「調査対象者のケアマネジャー」の割合が高くなっています。

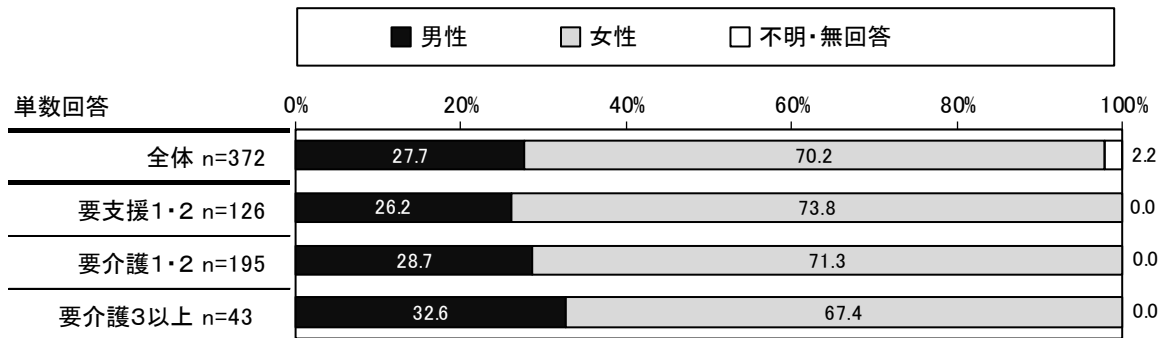


(%)

		調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	不明・無回答
全体	n= 372	50.3	48.7	4.3	8.1	1.1	12.1
世帯別							
単身世帯	n= 68	54.4	22.1	2.9	17.6	2.9	14.7
夫婦のみ世帯	n= 63	65.1	39.7	6.3	6.3	-	15.9
その他	n= 224	46.4	61.2	4.0	6.3	0.9	7.1
施設入所検討別							
入所・入居は検討していない	n= 280	56.1	48.6	3.9	6.1	0.4	11.4
入所・入居を検討している	n= 59	23.7	55.9	5.1	8.5	1.7	13.6
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	52.2	30.4	8.7	34.8	8.7	4.3

(2) 性別

- 全体では、「男性」が27.7%、「女性」が70.2%と多数を占めています。
- 要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「男性」の割合が上昇しています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「女性」が、【夫婦のみ世帯】は「男性」の割合が高くなっています。

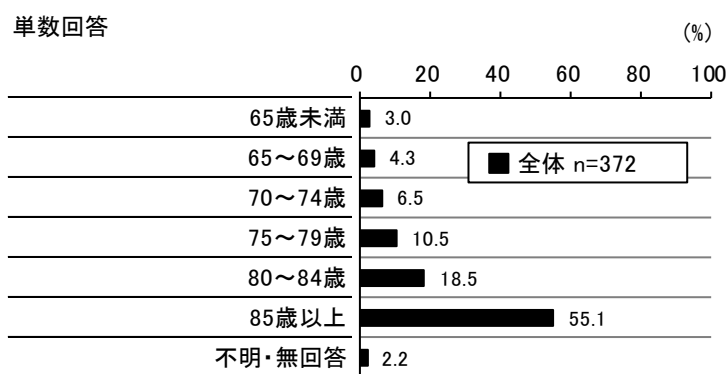


(%)

		男 性	女 性	無 回 答 ・
全体	n= 372	27.7	70.2	2.2
世帯別				
単身世帯	n= 68	16.2	77.9	5.9
夫婦のみ世帯	n= 63	44.4	52.4	3.2
その他	n= 224	27.2	71.9	0.9

(3) 年齢

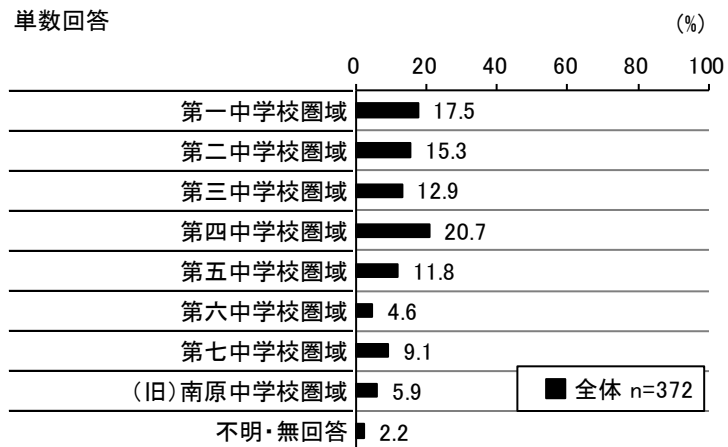
- 全体では、「85歳以上」が55.1%と最も高く、次いで「80～84歳」が18.5%、「75～79歳」が10.5%となっています。なお、『前期高齢者』（「65～69歳」「70～74歳」の合計）は10.8%、『後期高齢者』（「75～79歳」「80～84歳」「85歳以上」の合計）は84.1%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は『前期高齢者』の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は『前期高齢者』の割合が他の世帯よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方】は『後期高齢者』の割合が特に高くなっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも『前期高齢者』の割合が高くなっています。



		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不明・無回答	『前期高齢者』	
全体	n= 372	3.0	4.3	6.5	10.5	18.5	55.1	2.2	10.8	84.1
要介護度別										
要支援1・2	n= 126	2.4	4.0	4.8	12.7	22.2	54.0	-	8.8	88.9
要介護1・2	n= 195	2.6	3.6	7.2	9.7	17.9	59.0	-	10.8	86.6
要介護3以上	n= 43	7.0	9.3	9.3	9.3	14.0	51.2	-	18.6	74.5
世帯別										
単身世帯	n= 68	2.9	1.5	2.9	8.8	23.5	54.4	5.9	4.4	86.7
夫婦のみ世帯	n= 63	1.6	6.3	11.1	22.2	22.2	33.3	3.2	17.4	77.7
その他	n= 224	3.6	4.0	6.3	8.0	15.6	61.6	0.9	10.3	85.2
施設入所検討別										
入所・入居は検討していない	n= 280	3.2	5.0	6.8	12.5	21.1	49.6	1.8	11.8	83.2
入所・入居を検討している	n= 59	1.7	3.4	1.7	3.4	8.5	81.4	-	5.1	93.3
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	4.3	-	4.3	4.3	8.7	65.2	13.0	4.3	78.2
性別										
男性	n= 103	5.8	5.8	11.7	15.5	17.5	43.7	-	17.5	76.7
女性	n= 261	1.9	3.8	4.6	8.8	19.5	61.3	-	8.4	89.6

(4) 居住地区

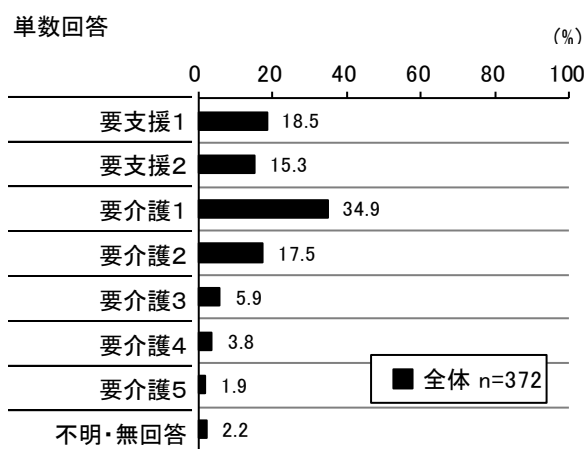
- 全体では、「第四中学校圏域」が20.7%と最も高く、次いで「第一中学校圏域」が17.5%、「第二中学校圏域」が15.3%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「第一中学校圏域」の割合が他の要介護度よりも高くなっています



		(%)								
		圏第一中学校	圏第二中学校	圏第三中学校	圏第四中学校	圏第五中学校	圏第六中学校	圏第七中学校	中(旧)南原中学校圏域	答不明・無回答
全体	n= 372	17.5	15.3	12.9	20.7	11.8	4.6	9.1	5.9	2.2
要介護度別										
要支援1・2	n= 126	15.1	16.7	15.1	19.0	14.3	4.8	10.3	4.8	-
要介護1・2	n= 195	17.9	15.4	12.3	23.1	11.3	5.1	8.2	6.7	-
要介護3以上	n= 43	25.6	14.0	11.6	18.6	9.3	2.3	11.6	7.0	-

(5) 要介護度

- 全体では、「要介護1」が34.9%と最も高く、次いで「要支援1」が18.5%、「要介護2」が17.5%、「要支援2」が15.3%となっています。なお、『要支援1・2』の合計は33.8%、『要介護1・2』の合計は52.4%、『要介護3以上』の合計は11.6%となっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は『要介護3以上』の割合が他の世帯よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方】は『要介護1・2』が62.7%、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は『要介護3以上』が30.3%と高くなっています。
- 年齢別では、【75～79歳】及び【80～84歳】は『要支援1・2』が4割台と他の年代よりも高くなっています。

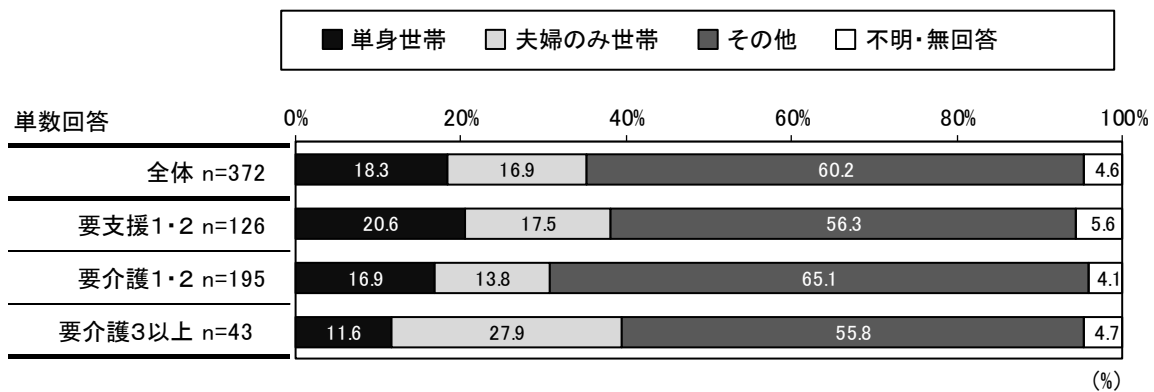


		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無不明回答	1・要2支援	1・要2介護	3・要以上介護
全体	n= 372	18.5	15.3	34.9	17.5	5.9	3.8	1.9	2.2	33.8	52.4	11.6
世帯別												
単身世帯	n= 68	19.1	19.1	33.8	14.7	4.4	2.9	-	5.9	38.2	48.5	7.3
夫婦のみ世帯	n= 63	23.8	11.1	34.9	7.9	6.3	11.1	1.6	3.2	34.9	42.8	19.0
その他	n= 224	16.5	15.2	34.8	21.9	6.3	2.2	2.2	0.9	31.7	56.7	10.7
施設入所検討別												
入所・入居を検討していない	n= 280	21.4	16.8	37.1	12.9	5.4	2.5	2.1	1.8	38.2	50.0	10.0
入所・入居を検討している	n= 59	15.3	11.9	27.1	35.6	5.1	5.1	-	-	27.2	62.7	10.2
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	-	4.3	30.4	21.7	13.0	13.0	4.3	13.0	4.3	52.1	30.3
年齢別												
65歳未満	n= 11	18.2	9.1	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	-	27.3	45.5	27.3
65～69歳	n= 16	12.5	18.8	31.3	12.5	12.5	12.5	-	-	31.3	43.8	25.0
70～74歳	n= 24	12.5	12.5	41.7	16.7	12.5	-	4.2	-	25.0	58.4	16.7
75～79歳	n= 39	25.6	15.4	33.3	15.4	5.1	5.1	-	-	41.0	48.7	10.2
80～84歳	n= 69	18.8	21.7	46.4	4.3	-	7.2	1.4	-	40.5	50.7	8.6
85歳以上	n= 205	19.0	14.1	32.2	23.9	6.8	2.0	2.0	-	33.1	56.1	10.8

(6) 世帯類型

A票問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- 全体では、「その他」が60.2%と最も高く、次いで「単身世帯」が18.3%、「夫婦のみ世帯」が16.9%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「夫婦のみ世帯」の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「単身世帯」の割合が他の世帯よりも高くなっています。



		単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	不明・無回答
全体	n= 372	18.3	16.9	60.2	4.6
施設入所検討別					
入所・入居は検討していない	n= 280	16.4	18.2	60.7	4.6
入所・入居を検討している	n= 59	18.6	13.6	66.1	1.7
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	39.1	13.0	47.8	-

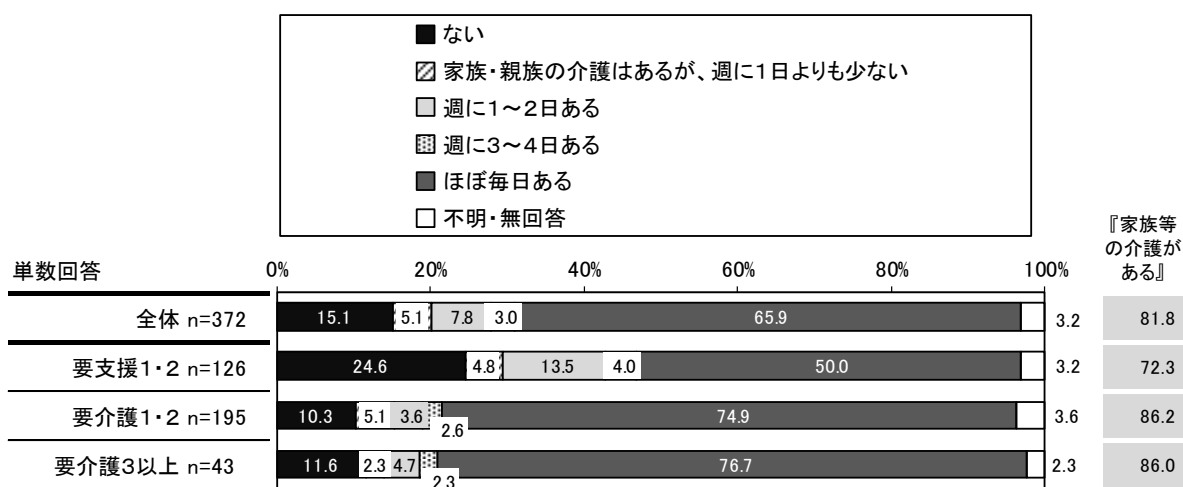
2 介護者について

(1) 家族や親族からの介護の頻度

A票問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- 全体では、「ほぼ毎日ある」が65.9%と最も高く、次いで「ない」が15.1%となっています。
- 要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「ない」の割合が低下し、「ほぼ毎日ある」の割合が上昇しています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「ない」が、【その他】は「ほぼ毎日ある」の割合が他の世帯よりも高くなっています。

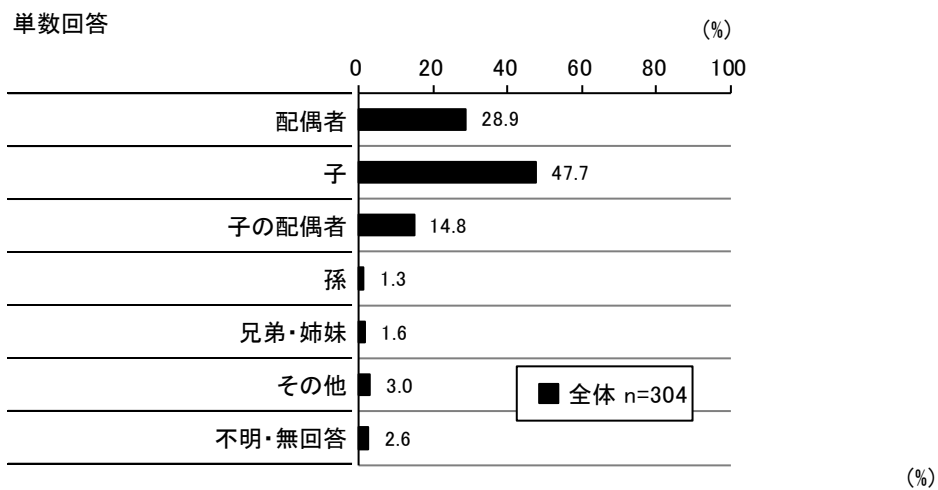


		(%)						『家族等の介護がある』
		ない	が家族・週に1日以上の介護もは少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	不明・無回答	
全体	n= 372	15.1	5.1	7.8	3.0	65.9	3.2	81.8
世帯別								
単身世帯	n= 68	33.8	14.7	16.2	4.4	27.9	2.9	63.2
夫婦のみ世帯	n= 63	14.3	3.2	4.8	6.3	68.3	3.2	82.6
その他	n= 224	10.7	2.7	6.3	1.3	78.6	0.4	88.9

(2) 主な介護者

A票問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

- 全体では、「子」が47.7%と最も高く、次いで「配偶者」が28.9%、「子の配偶者」が14.8%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「配偶者」の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「子」が、【夫婦のみ世帯】は「配偶者」の割合が最も高くなっています。
- 性別では、【男性】は「配偶者」が、【女性】は「子」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別では、【80～84歳】及び【85歳以上】は「子」の割合が最も高くなっています。また、85歳以上は「子の配偶者」の割合が他の年代よりも高くなっています。

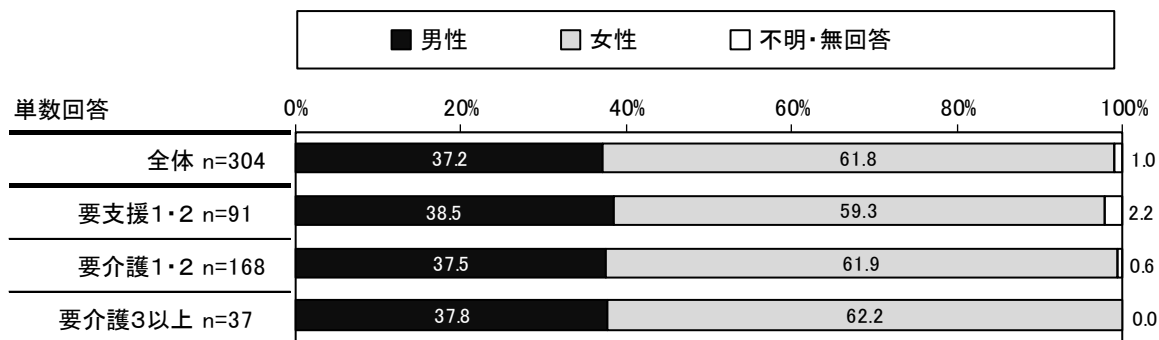


		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無不明回答・
全体	n= 304	28.9	47.7	14.8	1.3	1.6	3.0	2.6
要介護度別								
要支援1・2	n= 91	27.5	48.4	14.3	－	2.2	3.3	4.4
要介護1・2	n= 168	27.4	50.6	15.5	2.4	0.6	1.8	1.8
要介護3以上	n= 37	43.2	29.7	13.5	－	2.7	8.1	2.7
世帯別								
単身世帯	n= 43	2.3	72.1	7.0	2.3	7.0	7.0	2.3
夫婦のみ世帯	n= 52	78.8	15.4	1.9	－	1.9	1.9	－
その他	n= 199	22.6	50.8	19.6	1.5	0.5	2.0	3.0
性別								
男性	n= 84	56.0	29.8	7.1	－	2.4	1.2	3.6
女性	n= 212	18.9	54.2	17.9	1.9	0.9	3.8	2.4
年齢別								
65歳未満	n= 11	54.5	9.1	－	－	18.2	18.2	－
65～69歳	n= 13	84.6	15.4	－	－	－	－	－
70～74歳	n= 19	73.7	15.8	10.5	－	－	－	－
75～79歳	n= 32	59.4	31.3	3.1	－	3.1	－	3.1
80～84歳	n= 55	29.1	56.4	5.5	3.6	－	5.5	－
85歳以上	n= 166	12.7	56.0	22.9	1.2	0.6	2.4	4.2

(3) 主な介護者の性別

A票問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- 全体では、「男性」が37.2%、「女性」が61.8%と多数を占めています。
- 要介護度別では特筆すべき差はみられません。
- 介護者の就労状況別では、【フルタイムで働いている方】は「男性」が42.6%と高く、【パートタイムで働いている方】は「女性」が76.0%と高くなっています。



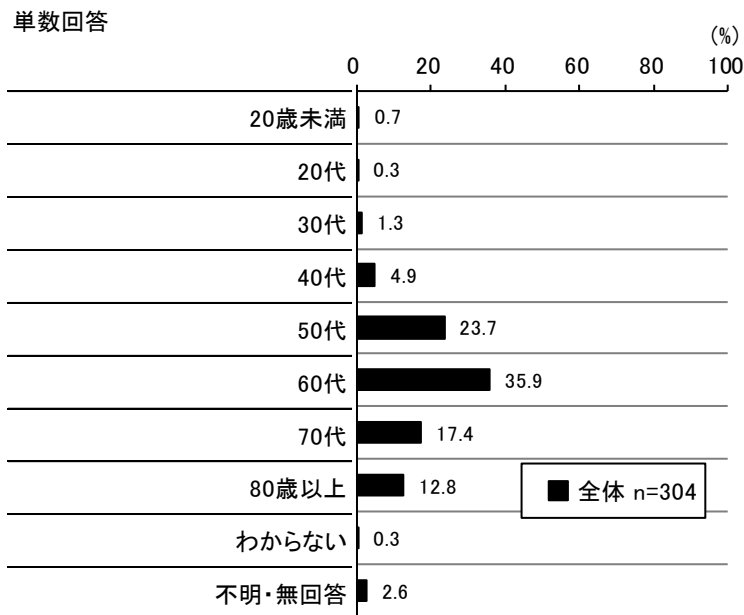
(%)

		男性	女性	無不 回明 答・
全体	n= 304	37.2	61.8	1.0
介護者の就労状況別				
フルタイムで働いている	n= 115	42.6	55.7	1.7
パートタイムで働いている	n= 50	24.0	76.0	-
働いていない	n= 127	37.8	61.4	0.8

(4) 主な介護者の年齢

A票問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- 全体では、「60代」が35.9%と最も高く、次いで「50代」が23.7%、「70代」が17.4%、「80歳以上」が12.8%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「70代」の割合が他の年代よりも高くなっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は「70代」「80歳以上」の割合が他の世帯よりも高くなっています。
- 介護者の就労状況別では、【フルタイムで働いている方】は「50代」が、【パートタイムで働いている方】は「60代」の割合が最も高くなっています。【働いていない方】は「70代」「80歳以上」の割合が働いている方よりも高くなっています。

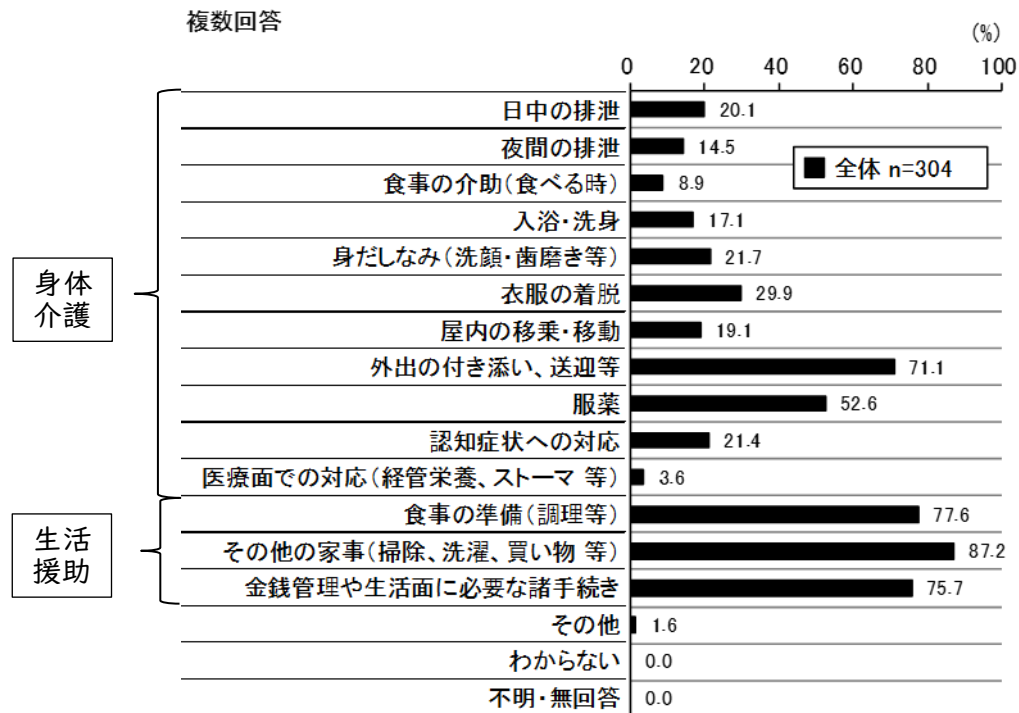


		(%)									
		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
全体	n= 304	0.7	0.3	1.3	4.9	23.7	35.9	17.4	12.8	0.3	2.6
要介護度別											
要支援1・2	n= 91	-	1.1	1.1	6.6	25.3	35.2	15.4	13.2	-	2.2
要介護1・2	n= 168	1.2	-	1.2	3.6	25.6	37.5	13.7	13.7	0.6	3.0
要介護3以上	n= 37	-	-	2.7	5.4	13.5	32.4	35.1	8.1	-	2.7
世帯別											
単身世帯	n= 43	-	-	4.7	7.0	30.2	37.2	9.3	4.7	2.3	4.7
夫婦のみ世帯	n= 52	-	-	-	1.9	7.7	11.5	38.5	34.6	-	5.8
その他	n= 199	1.0	0.5	1.0	5.0	26.1	41.2	14.1	9.5	-	1.5
介護者の就労状況別											
フルタイムで働いている	n= 115	1.7	0.9	1.7	9.6	47.0	29.6	5.2	2.6	-	1.7
パートタイムで働いている	n= 50	-	-	4.0	4.0	16.0	58.0	12.0	2.0	-	4.0
働いていない	n= 127	-	-	-	0.8	7.1	33.9	29.9	26.0	-	2.4

(5) 主な介護者が行っている介護等

A票問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

- 全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が87.2%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が77.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.7%となっています。



- 前回調査との比較では、「認知症状への対応」は前回（29.9％）から8.5ポイント低下し、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は前回（70.1％）から5.6ポイント上昇しています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「服薬」「日中の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」など、身体介護の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「外出の付き添い、送迎等」が、【夫婦のみ世帯】は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」などが、【その他】は「衣服の着脱」「服薬」「食事の準備（調理等）」などの割合が他の世帯よりも高くなっています。

(%)

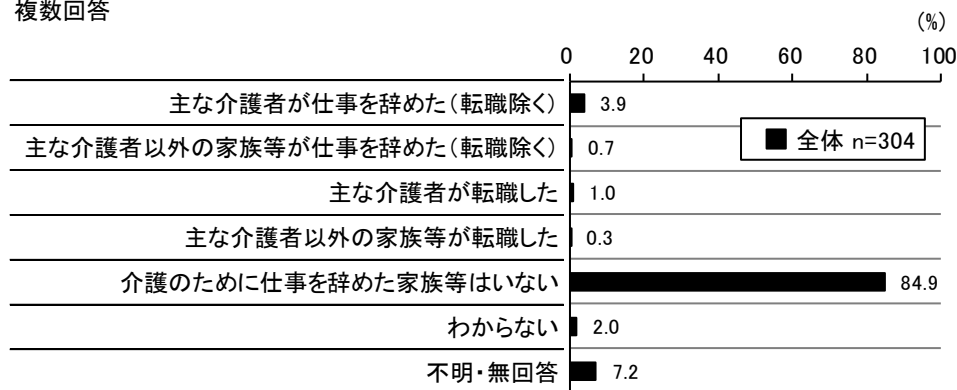
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・医療面での対応（経管等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物（掃除、等）	その他の家事（掃除、等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
全体	n= 304	20.1	14.5	8.9	17.1	21.7	29.9	19.1	71.1	52.6	21.4	3.6	77.6	87.2	75.7	1.6	0.0	0.0	
前回	n= 431	23.0	15.8	12.3	18.8	22.3	33.2	20.6	67.7	51.7	29.9	6.3	75.6	82.8	70.1	4.4	0.2	3.7	
要介護度別																			
要支援1・2	n= 91	7.7	4.4	2.2	14.3	4.4	6.6	4.4	69.2	31.9	9.9	3.3	72.5	84.6	59.3	1.1	-	-	
要介護1・2	n= 168	15.5	14.3	6.0	17.3	20.8	34.5	17.9	74.4	60.1	28.0	3.0	80.4	89.3	81.5	2.4	0.0	0.0	
要介護3以上	n= 37	67.6	37.8	40.5	24.3	67.6	64.9	59.5	54.1	73.0	21.6	8.1	86.5	89.2	89.2	0.0	0.0	0.0	
世帯別																			
単身世帯	n= 43	4.7	2.3	4.7	14.0	7.0	11.6	18.6	76.7	30.2	9.3	-	46.5	76.7	79.1	4.7	0.0	0.0	
夫婦のみ世帯	n= 52	19.2	9.6	3.8	25.0	23.1	25.0	28.8	73.1	50.0	15.4	3.8	82.7	92.3	78.8	0.0	0.0	0.0	
その他	n= 199	23.6	18.1	10.6	15.6	24.6	36.2	16.6	70.4	58.8	25.6	4.0	83.4	88.4	74.4	1.0	0.0	0.0	

(6) 家族や親族の過去1年間の離職状況

A票問7 ご家族やご親族(家族等)で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。(複数選択可)

- 全体では、「介護のために仕事を辞めた家族等はいない」が84.9%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が3.9%となっています。
- 要介護度別では、特筆すべき差はみられません。

複数回答



(%)

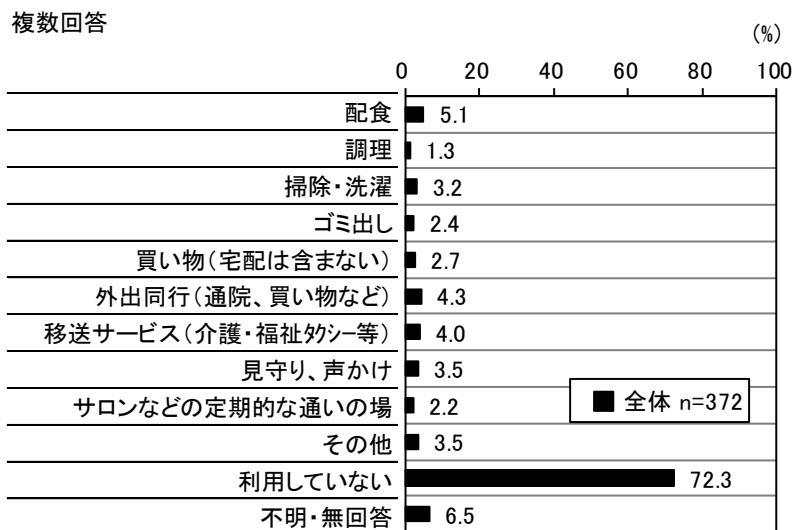
		(仕事な 職を介 除辞 くめ 者た が)	(仕事外 職を家 除辞族 くめ等 者た が以 上)	主 職 な し 介 た 護 者 が	主 職 外 職 な し 家 介 た 族 護 等 者 が 以 上	い 家 族 事 護 等 を の は 辞 た い め め な た に	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	n= 304	3.9	0.7	1.0	0.3	84.9	2.0	7.2
要介護度別								
要支援1・2	n= 91	3.3	1.1	-	-	89.0	2.2	4.4
要介護1・2	n= 168	4.2	0.6	1.2	0.6	85.7	1.2	6.5
要介護3以上	n= 37	5.4	-	2.7	-	70.3	5.4	16.2

3 サービスや支援の利用状況

(1) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

A票問8 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

- 全体では、「利用していない」が72.3%と最も高く、次いで「配食」が5.1%となっています。
- 前回調査との比較では、「利用していない」が前回(65.8%)から6.5ポイント上昇しています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「調理」「掃除・洗濯」「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「外出同行(通院、買い物など)」「配食」などの割合が他の世帯よりも高くなっています。

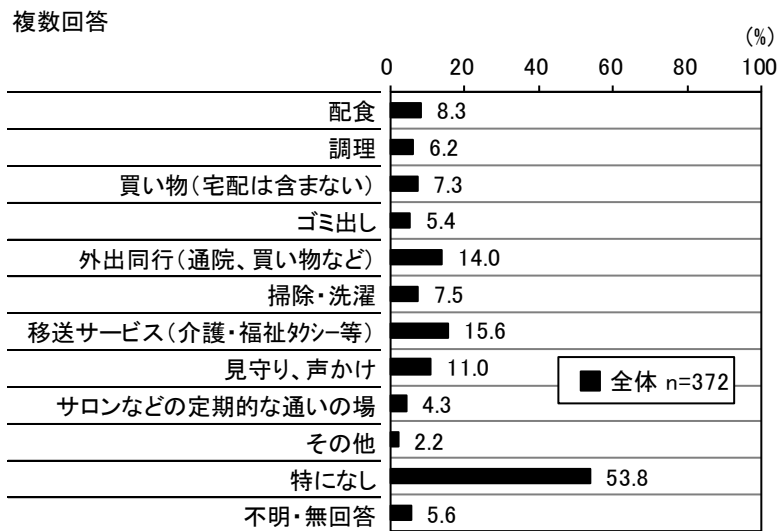


		配食	調理	掃除・洗濯	ゴミ出し	買い物（宅配は含まない）	病院・買い物など	外出（タクシー等）	移送サービス（介護・福祉スタ）	見守り、声かけ	サロンの定期的な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答	(%)
全体	n= 372	5.1	1.3	3.2	2.4	2.7	4.3	4.0	3.5	2.2	3.5	72.3	6.5		
前回	n= 538	5.2	3.0	3.7	2.2	2.2	2.6	4.6	3.3	0.6	4.3	65.8	12.5		
要介護度別															
要支援1・2	n= 126	7.1	0.8	1.6	3.2	1.6	2.4	1.6	3.2	3.2	4.0	77.8	2.4		
要介護1・2	n= 195	4.1	0.5	2.6	1.5	1.5	3.1	4.1	2.1	1.5	3.6	73.3	8.2		
要介護3以上	n= 43	2.3	7.0	9.3	2.3	7.0	9.3	9.3	7.0	2.3	2.3	53.5	11.6		
世帯別															
単身世帯	n= 68	13.2	4.4	11.8	10.3	10.3	16.2	5.9	8.8	2.9	4.4	50.0	7.4		
夫婦のみ世帯	n= 63	1.6	1.6	4.8	1.6	3.2	3.2	4.8	6.3	-	-	77.8	7.9		
その他	n= 224	3.6	0.4	0.4	0.4	0.4	1.3	3.6	0.9	2.7	4.0	78.6	4.5		

(2) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

A票問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

- 全体では、「特になし」が53.8%となり、必要と感じる支援・サービスは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.6%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が14.0%、「見守り、声かけ」が11.0%となっています。



- 前回調査との比較では、「外出同行（通院、買い物など）」は前回（5.9％）から8.1ポイント上昇しています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「調理」の割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「外出同行（通院、買い物など）」「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が2割台など、他の世帯よりも割合が高くなっています。【夫婦のみ世帯】は「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が2割台と高くなっています。
- 施設入所検討別では、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は、「外出同行（通院、買い物など）」が34.8％と高くなっています。
- 圏域別では、【第三中学校圏域】は「配食」「サロンなどの定期的な通いの場」が、【第四中学校圏域】は「買い物（宅配は含まない）」「外出同行（通院、買い物など）」が、【(旧)南原中学校圏域】は「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が他の圏域よりも高くなっています。

(%)

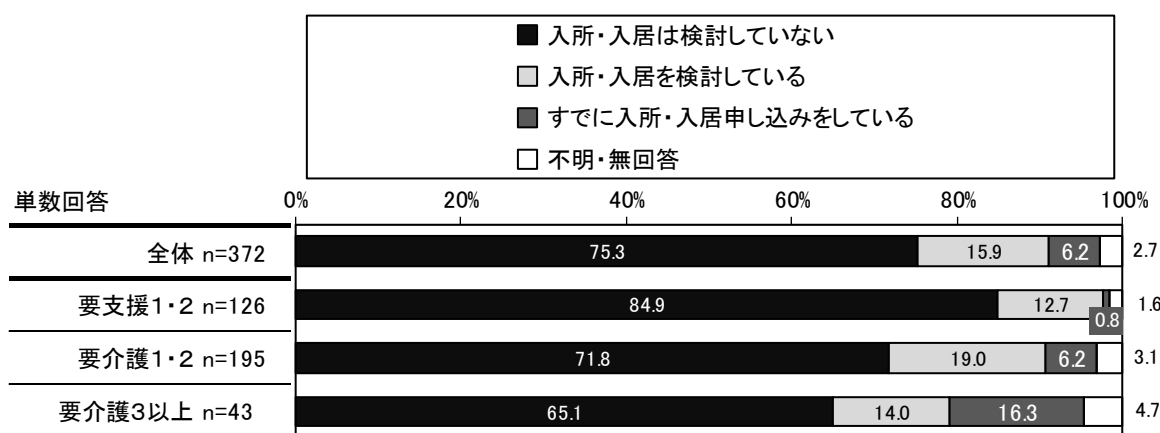
		配食	調理	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	掃除・洗濯	福祉・移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	サロンなどの定期的な	その他	特になし	不明・無回答
全体	n= 372	8.3	6.2	7.3	5.4	14.0	7.5	15.6	11.0	4.3	2.2	53.8	5.6	
前回	n= 538	7.2	5.9	7.2	6.5	5.9	14.7	17.7	12.6	5.2	3.9	43.5	11.7	
要介護度別														
要支援1・2	n= 126	8.7	3.2	9.5	9.5	14.3	11.1	18.3	7.1	5.6	4.0	50.8	4.0	
要介護1・2	n= 195	7.2	6.7	5.1	2.1	11.3	4.6	11.3	12.3	3.6	1.5	59.0	6.2	
要介護3以上	n= 43	11.6	11.6	7.0	7.0	16.3	9.3	20.9	14.0	2.3	-	44.2	7.0	
世帯別														
単身世帯	n= 68	13.2	11.8	19.1	20.6	22.1	16.2	20.6	16.2	10.3	1.5	39.7	5.9	
夫婦のみ世帯	n= 63	14.3	12.7	11.1	6.3	20.6	14.3	20.6	14.3	3.2	1.6	47.6	4.8	
その他	n= 224	5.4	2.7	3.1	0.4	9.4	3.1	12.5	8.5	2.7	2.7	60.7	4.9	
施設入所検討別														
入所・入居は検討していない	n= 280	9.3	5.7	6.1	5.4	12.9	8.2	16.1	8.9	4.6	2.5	55.0	3.6	
入所・入居を検討している	n= 59	8.5	10.2	10.2	6.8	11.9	6.8	13.6	18.6	5.1	1.7	55.9	3.4	
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	-	-	13.0	-	34.8	-	21.7	17.4	-	-	52.2	4.3	
圏域別														
第一中学校圏域	n= 65	4.6	1.5	-	1.5	10.8	6.2	12.3	15.4	-	3.1	52.3	10.8	
第二中学校圏域	n= 57	7.0	7.0	7.0	7.0	14.0	8.8	19.3	12.3	1.8	1.8	47.4	3.5	
第三中学校圏域	n= 48	14.6	6.3	6.3	2.1	12.5	8.3	12.5	12.5	10.4	2.1	54.2	6.3	
第四中学校圏域	n= 77	11.7	7.8	14.3	9.1	19.5	9.1	15.6	10.4	6.5	1.3	53.2	3.9	
第五中学校圏域	n= 44	4.5	6.8	4.5	2.3	11.4	6.8	18.2	9.1	4.5	2.3	50.0	4.5	
第六中学校圏域	n= 17	5.9	5.9	-	-	5.9	-	5.9	5.9	-	5.9	64.7	5.9	
第七中学校圏域	n= 34	5.9	8.8	11.8	5.9	2.9	5.9	5.9	2.9	2.9	-	76.5	0.0	
(旧)南原中学校圏域	n= 22	9.1	4.5	4.5	13.6	18.2	9.1	27.3	9.1	4.5	4.5	50.0	9.1	

4 現在の状況や今後の希望について

(1) 施設等への入所・入居の検討状況

A票問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- 全体では、「入所・入居は検討していない」が75.3%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が15.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.2%となっています。
- 要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて「入所・入居は検討していない」割合が低下し、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合が上昇しています。
- 前回調査との比較では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が前回(69.5%)よりも5.8ポイント上昇しています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「すでに入所・入居申し込みをしている」が、【夫婦のみ世帯】は「入所・入居は検討していない」割合が他の世帯よりも高くなっています。
- 訪問診療の利用状況別では、【利用している方】は利用していない方よりも「すでに入所・入居申し込みをしている」割合が高くなっています。

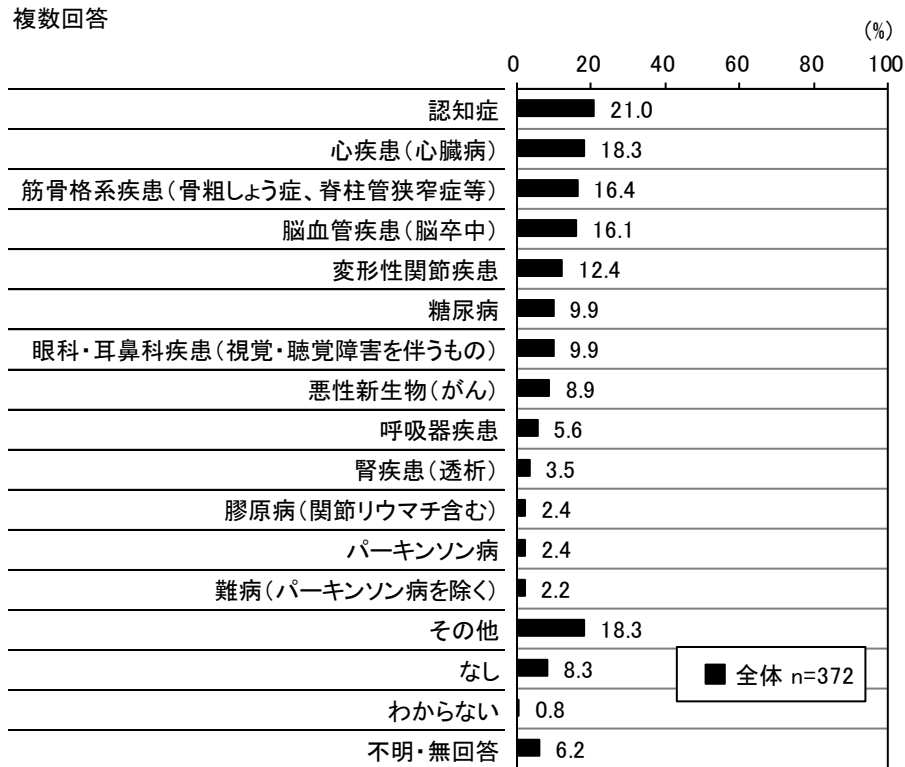


		(%)			
		て入 い 所 な ・ い 入 居 は 検 討 し	て入 い る ・ 入 居 を 検 討 し	し す 込 み に を 入 し 所 て ・ 入 居 申	不 明 ・ 無 回 答
全体	n= 372	75.3	15.9	6.2	2.7
前回	n= 538	69.5	16.2	9.9	4.5
世帯別					
単身世帯	n= 68	67.6	16.2	13.2	2.9
夫婦のみ世帯	n= 63	81.0	12.7	4.8	1.6
その他	n= 224	75.9	17.4	4.9	1.8
訪問診療の利用状況別					
利用している	n= 35	68.6	11.4	17.1	2.9
利用していない	n= 326	76.7	16.6	4.9	1.8

(2) 現在抱えている傷病

A票問 11 ご本人(認定調査対象者)が現在抱えている傷病について、ご回答ください。

- 全体では、「認知症」が21.0%と最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」「その他」が同率で18.3%となっています。



- 要介護度別では、【要支援1・2】は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が19.8%と最も高く、「悪性新生物（がん）」も15.1%と高くなっています。【要介護1・2】は「認知症」が27.2%と高くなっています。【要介護3以上】は「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」が同率で25.6%と最も高くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方】は「認知症」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「認知症」「心疾患（心臓病）」が2～3割台と高くなっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「脳血管疾患（脳卒中）」「糖尿病」「悪性新生物（がん）」が、【女性】は男性よりも「認知症」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「変形性関節疾患」の割合が高くなっています。

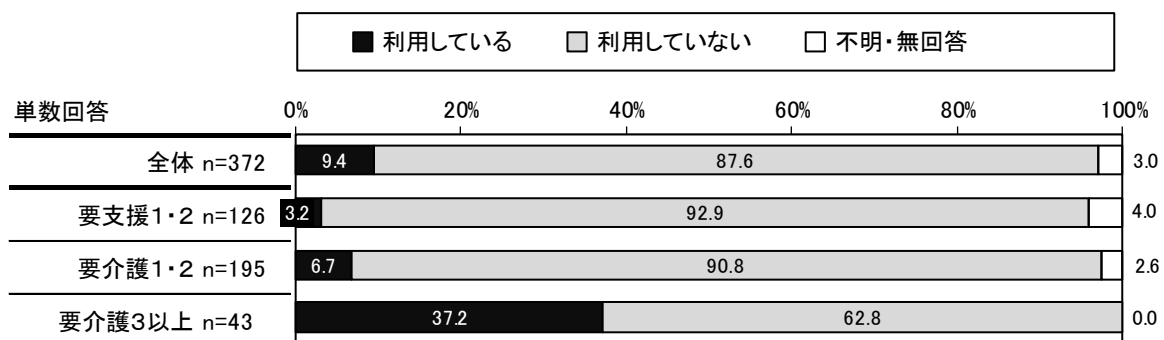
(%)

		認知症	心疾患（心臓病）	脊柱管狭窄症等（骨粗しょう症、	筋骨格系疾患（脳卒中）	変形性関節疾患	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	膠原病（関節リウマチ含む）	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	不明・無回答
全体	n= 372	21.0	18.3	16.4	16.1	12.4	9.9	9.9	8.9	5.6	3.5	2.4	2.4	2.2	18.3	8.3	0.8	6.2
要介護度別																		
要支援1・2	n= 126	7.9	14.3	19.8	12.7	13.5	7.9	8.7	15.1	7.9	3.2	2.4	1.6	2.4	16.7	8.7	0.8	5.6
要介護1・2	n= 195	27.2	20.5	14.9	15.4	10.3	10.8	11.8	4.1	4.1	3.1	1.5	3.1	1.0	19.0	9.7	1.0	7.2
要介護3以上	n= 43	25.6	11.6	9.3	25.6	14.0	9.3	7.0	9.3	7.0	4.7	7.0	2.3	4.7	20.9	2.3	0.0	4.7
施設入所検討別																		
入所・入居を検討していない	n= 280	16.1	20.0	15.4	18.6	11.1	11.4	10.0	9.3	6.1	2.9	1.8	2.5	2.5	16.1	7.9	1.1	5.7
入所・入居を検討している	n= 59	37.3	8.5	23.7	5.1	18.6	1.7	13.6	10.2	5.1	6.8	5.1	1.7	-	28.8	6.8	0.0	5.1
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	34.8	26.1	17.4	17.4	17.4	13.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	-	4.3	21.7	13.0	0.0	4.3
性別																		
男性	n= 103	13.6	19.4	10.7	23.3	5.8	16.5	10.7	13.6	6.8	5.8	1.0	4.9	2.9	24.3	3.9	1.0	4.9
女性	n= 261	23.0	16.5	18.0	12.6	14.2	6.9	10.0	6.5	5.4	2.3	3.1	1.5	1.5	16.1	10.3	0.8	6.9

(3) 訪問診療の利用状況

A票問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。

- 全体では、「利用している」が9.4%、「利用していない」が87.6%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「利用している」が37.2%と高くなっています。
- 前回調査との比較では、「利用している」が前回(13.8%)よりも4.4ポイント低下しています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は「利用している」が15.9%と他の世帯よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「利用している」が26.1%と高くなっています。



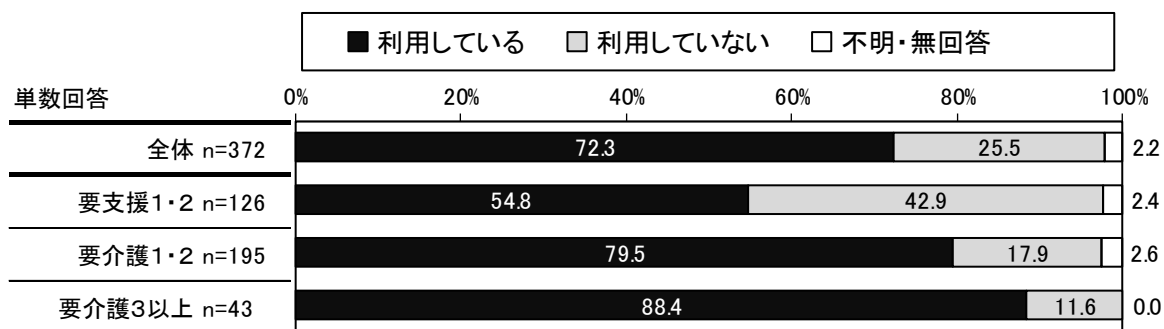
(%)

		利用 して いる	利用 して い ない	不 明 ・ 無 回 答
全体	n= 372	9.4	87.6	3.0
前回	n= 538	13.8	83.1	3.3
世帯別				
単身世帯	n= 68	13.2	85.3	1.5
夫婦のみ世帯	n= 63	15.9	79.4	4.8
その他	n= 224	6.3	92.4	1.3
施設入所検討別				
入所・入居は検討していない	n= 280	8.6	89.3	2.1
入所・入居を検討している	n= 59	6.8	91.5	1.7
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	26.1	69.6	4.3

(4) 介護保険サービスの利用状況

A票問13 現在介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)を利用していますか。(1つを選択)

- 全体では、「利用している」が72.3%と多数を占め、「利用していない」が25.5%となっています。
- 要介護度別では、【要支援1・2】は「利用している」が54.8%ですが、要介護度が高くなるにつれて上昇し、【要介護3以上】は88.4%となっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は「利用している」が77.8%と他の世帯よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【すでに入所・入居申し込みをしている方】は件数は少ないものの「利用している」が87.0%と高くなっています。
- 介護者の就労状況別では、【フルタイムで働いている方】は「利用している」が80.0%と高くなっています。



		(%)		
		利用している	利用していない	不明・無回答
全体	n= 372	72.3	25.5	2.2
世帯別				
単身世帯	n= 68	73.5	25.0	1.5
夫婦のみ世帯	n= 63	77.8	20.6	1.6
その他	n= 224	72.8	25.9	1.3
施設入所検討別				
入所・入居は検討していない	n= 280	71.4	27.1	1.4
入所・入居を検討している	n= 59	76.3	22.0	1.7
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	87.0	13.0	-
介護者の就労状況別				
フルタイムで働いている	n= 115	80.0	19.1	0.9
パートタイムで働いている	n= 50	72.0	24.0	4.0
働いていない	n= 127	71.7	27.6	0.8

① 介護保険サービスを利用していない理由

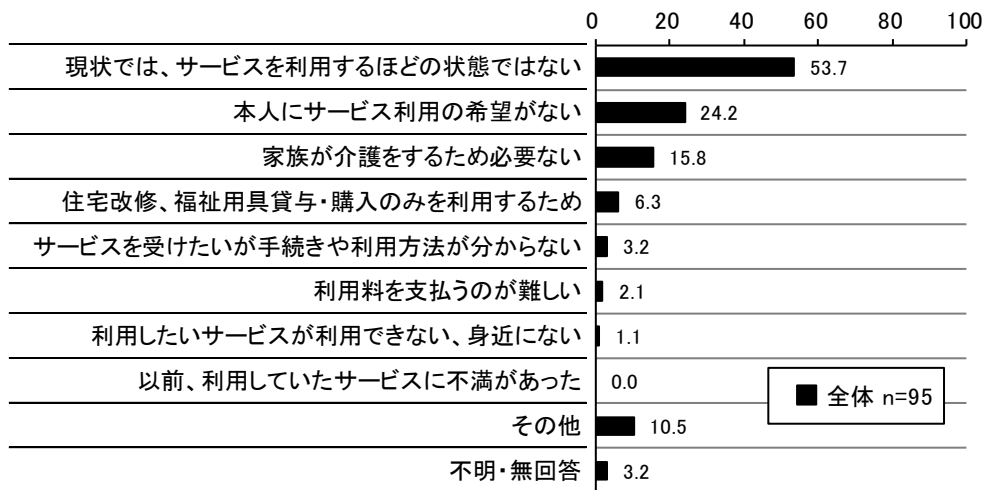
問13で「2.」を回答した方を対象

A票問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- 全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が53.7%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が24.2%、「家族が介護をするため必要ない」が15.8%となっています。
- 要介護度別では、【要支援1・2】は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が64.8%と特に高くなっています。【要介護1・2】及び【要介護3以上】は「家族が介護をするため必要ない」割合が高くなっています。
- 世帯別では、件数は少ないものの【単身世帯】は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」割合が、【夫婦のみ世帯】は「本人にサービス利用の希望がない」割合が他の世帯よりも高くなっています。

複数回答

(%)



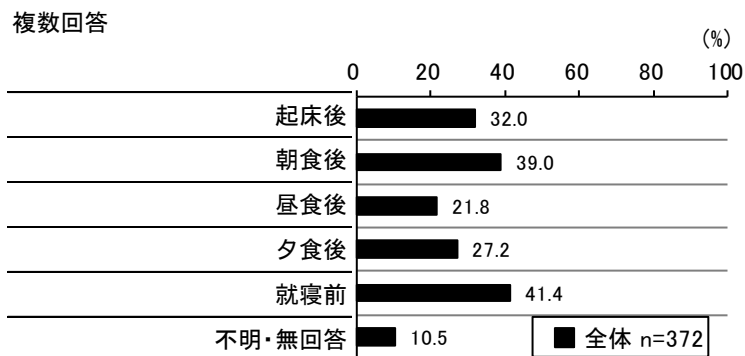
(%)

		の現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	不明・無回答
全体	n= 95	53.7	24.2	15.8	6.3	3.2	2.1	1.1	0.0	10.5	3.2
要介護度別											
要支援1・2	n= 54	64.8	22.2	5.6	9.3	3.7	1.9	-	-	7.4	1.9
要介護1・2	n= 35	40.0	25.7	25.7	2.9	2.9	-	2.9	-	17.1	5.7
要介護3以上	n= 5	20.0	40.0	60.0	-	-	20.0	-	-	0.0	0.0
世帯別											
単身世帯	n= 17	64.7	23.5	17.6	5.9	5.9	-	-	-	11.8	-
夫婦のみ世帯	n= 13	38.5	53.8	15.4	30.8	-	-	7.7	-	-	7.7
その他	n= 58	51.7	17.2	13.8	-	3.4	3.4	-	-	13.8	3.4

(5) 口腔ケアの状況

A票問 15 ご本人は口腔ケア(ハミガキ、入れ歯洗浄、マッサージなど)をいつ行っていますか。(複数選択可)

- 全体では、「就寝前」が41.4%と最も高く、次いで「朝食後」が39.0%、「起床後」が32.0%となっています。
- 要介護度別では、【要支援1・2】は「就寝前」が、【要介護3以上】は「朝食後」「昼食後」「夕食後」の割合が他の要介護度よりも高くなっています。

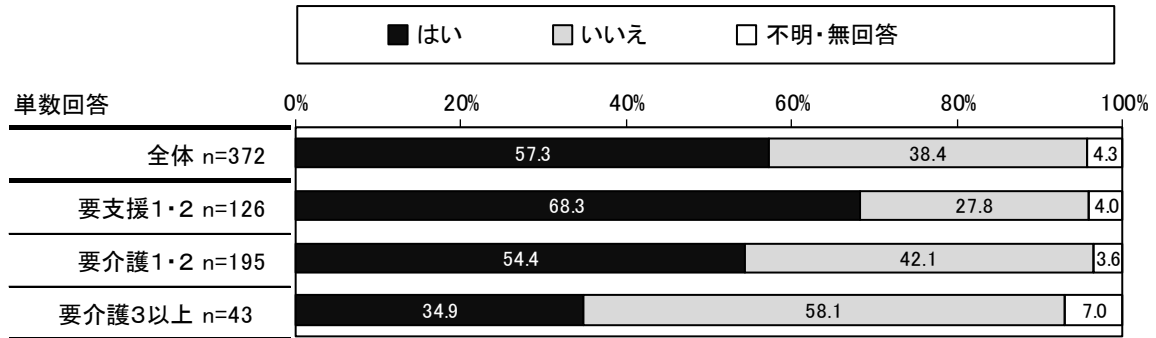


		(%)					
		起床後	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	無不明回答・
全体	n= 372	32.0	39.0	21.8	27.2	41.4	10.5
要介護度別							
要支援1・2	n= 126	36.5	38.1	21.4	24.6	54.0	5.6
要介護1・2	n= 195	33.8	35.9	17.9	25.6	33.8	11.8
要介護3以上	n= 43	11.6	46.5	30.2	34.9	34.9	18.6

(6) 外出の希望

A票問 16 ご本人は外出を希望されていますか。(1つを選択)

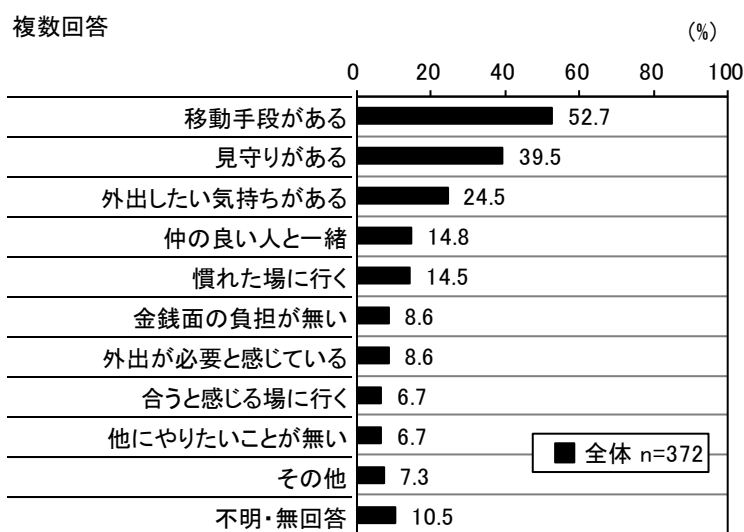
- 全体では、「はい」が68.3%と多数を占め、「いいえ」が27.8%となっています。
- 要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「はい」が低下し、「いいえ」の割合が上昇しています。



(7) 外出の条件

A票問 17 次のうち、どの条件であればご本人が外出することができますか。(複数選択可)

- 全体では、「移動手段がある」が52.7%と最も高く、次いで「見守りがある」が39.5%、「外出したい気持ちがある」が24.5%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「外出が必要と感じている」割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「移動手段がある」が67.6%、「見守りがある」が51.5%、「外出したい気持ちがある」が30.9%など、他の世帯よりも割合が高くなっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「移動手段がある」「見守りがある」の割合が高くなっています。

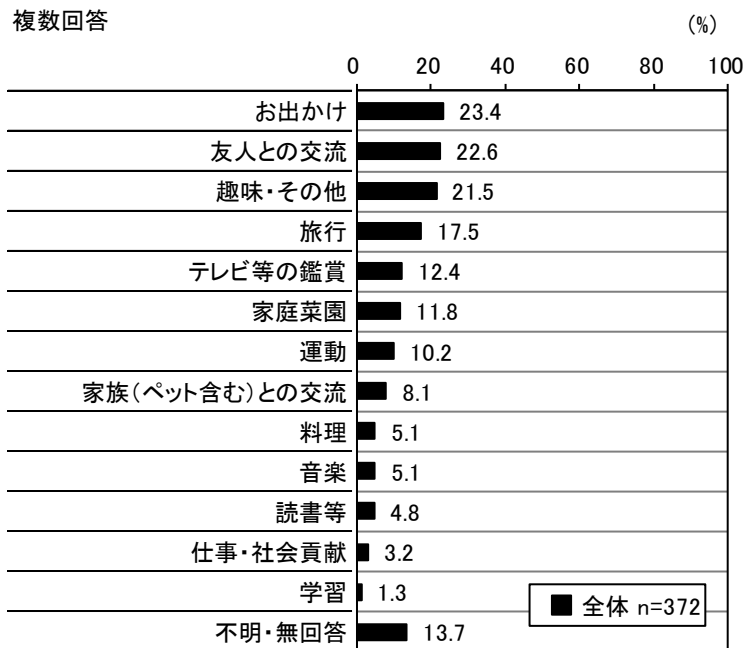


		(%)										
		移動手段がある	見守りがある	外出したい気持ちがある	仲の良い人と一緒	慣れた場に行く	金銭面の負担が無い	外出が必要と感じている	合うと感じる場に行く	他にやりたいことが無い	その他	不明・無回答
全体	n= 372	52.7	39.5	24.5	14.8	14.5	8.6	8.6	6.7	6.7	7.3	10.5
要介護度別												
要支援1・2	n= 126	55.6	32.5	20.6	15.1	7.1	9.5	6.3	7.9	4.8	7.9	9.5
要介護1・2	n= 195	49.7	43.6	25.6	15.4	16.9	6.7	8.2	6.2	7.2	6.7	10.8
要介護3以上	n= 43	53.5	32.6	27.9	11.6	16.3	11.6	14.0	4.7	11.6	7.0	11.6
世帯別												
単身世帯	n= 68	67.6	51.5	30.9	23.5	20.6	19.1	10.3	11.8	4.4	-	10.3
夫婦のみ世帯	n= 63	60.3	39.7	30.2	11.1	20.6	7.9	12.7	7.9	4.8	9.5	9.5
その他	n= 224	46.0	37.1	21.0	12.9	10.3	5.8	7.1	4.5	7.1	9.4	10.3
性別												
男性	n= 103	58.3	44.7	24.3	11.7	10.7	8.7	9.7	3.9	7.8	5.8	9.7
女性	n= 261	49.8	36.0	24.1	16.1	14.6	8.0	7.7	7.7	6.5	7.7	10.7

(8) 本人のやりたいこと

A票問18 ご本人のやりたいことは何ですか。(3つまで選択可)

- 全体では、「お出かけ」が23.4%と最も高く、次いで「友人との交流」が22.6%、「趣味・その他」が21.5%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は「趣味・その他」が32.6%と最も高く次いで「旅行」が20.9%、「テレビ等の鑑賞」が18.6%となっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「友人との交流」「趣味・その他」が、【夫婦のみ世帯】は「旅行」「家庭菜園」「運動」の割合が他の世帯よりも高くなっています。

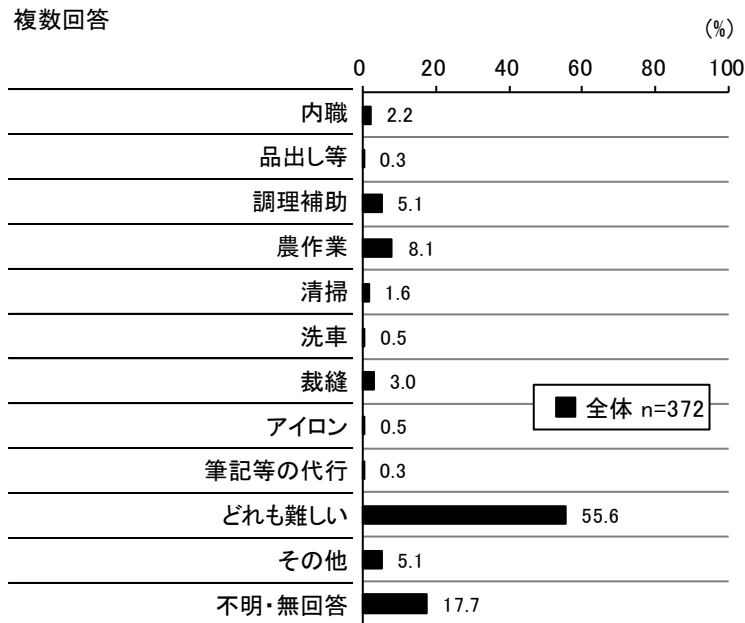


		(%)													
		お出かけ	友人との交流	趣味・その他	旅行	テレビ等の鑑賞	家庭菜園	運動	家族（ペット含む）との交流	料理	音楽	読書等	仕事・社会貢献	学習	不明・無回答
全体	n= 372	23.4	22.6	21.5	17.5	12.4	11.8	10.2	8.1	5.1	5.1	4.8	3.2	1.3	13.7
要介護度別															
要支援1・2	n= 126	24.6	24.6	23.8	17.5	6.3	13.5	13.5	5.6	4.0	4.8	4.8	2.4	0.8	10.3
要介護1・2	n= 195	24.1	23.1	16.9	16.4	14.4	11.3	9.2	8.2	5.1	5.6	5.1	3.6	2.1	14.4
要介護3以上	n= 43	16.3	16.3	32.6	20.9	18.6	9.3	2.3	14.0	7.0	2.3	4.7	4.7	-	20.9
世帯別															
単身世帯	n= 68	25.0	32.4	29.4	19.1	11.8	10.3	10.3	2.9	5.9	10.3	2.9	2.9	1.5	10.3
夫婦のみ世帯	n= 63	27.0	22.2	22.2	33.3	12.7	20.6	20.6	9.5	6.3	7.9	3.2	3.2	1.6	12.7
その他	n= 224	22.3	20.1	19.2	12.5	11.6	10.3	7.6	8.9	4.0	2.7	5.4	3.6	1.3	15.2

(9) 十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事

A票問 19 十分な見守り等があればご本人が行ってもいいと思う仕事は何ですか。(1つを選択)

- 全体では、「どれも難しい」が55.6%となり、仕事としては、「農作業」が8.1%と高くなっています。
- 要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「どれも難しい」割合が上昇しています。

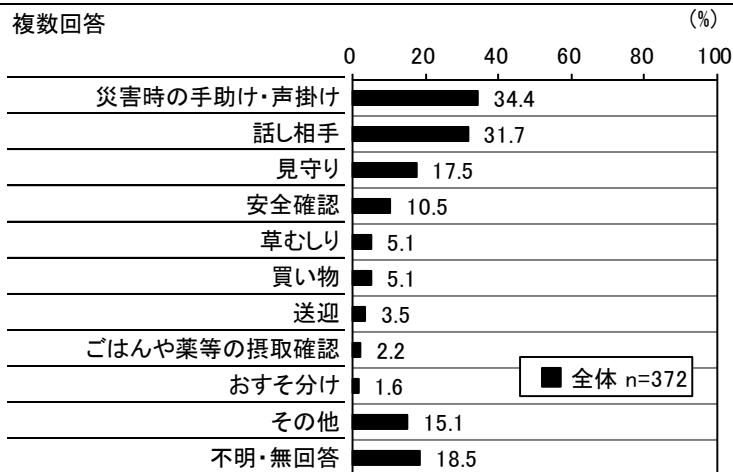


		(%)											
		内職	品出し等	調理補助	農作業	清掃	洗車	裁縫	アイロン	筆記等の代行	どれも難しい	その他	不明・無回答
全体	n= 372	2.2	0.3	5.1	8.1	1.6	0.5	3.0	0.5	0.3	55.6	5.1	17.7
要介護度別													
要支援1・2	n= 126	4.0	0.8	4.8	9.5	3.2	0.8	4.8	-	0.8	47.6	7.1	16.7
要介護1・2	n= 195	1.5	-	5.6	7.2	1.0	0.5	2.6	1.0	-	56.9	5.1	18.5
要介護3以上	n= 43	-	-	4.7	7.0	-	-	-	-	-	72.1	-	16.3

(10) 隣近所の方に頼みたい生活の手伝い

A票問 20 隣近所の方に生活のお手伝いを頼めるとしたら何を希望しますか。(複数選択可)

- 全体では、「災害時の手助け・声掛け」が34.4%と最も高く、次いで「話し相手」が31.7%、「見守り」が17.5%となっています。
- 要介護度別では、特筆すべき差はみられません。
- 世帯別では、【単身世帯】は「災害時の手助け・声掛け」が45.6%、「話し相手」が36.8%、「見守り」が30.9%など、他の世帯よりも割合が高くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方】は「見守り」が27.1%と高くなっています。【すでに入所・入居申し込みをしている方】は件数は少ないものの、「災害時の手助け・声掛け」「話し相手」などの割合が高くなっています。
- 圏域別では、【第四中学校圏域】は「災害時の手助け・声掛け」「話し相手」が4割台と高くなっています。【第六中学校圏域】及び【(旧)南原中学校圏域】も件数は少ないものの「話し相手」の割合が高くなっています。

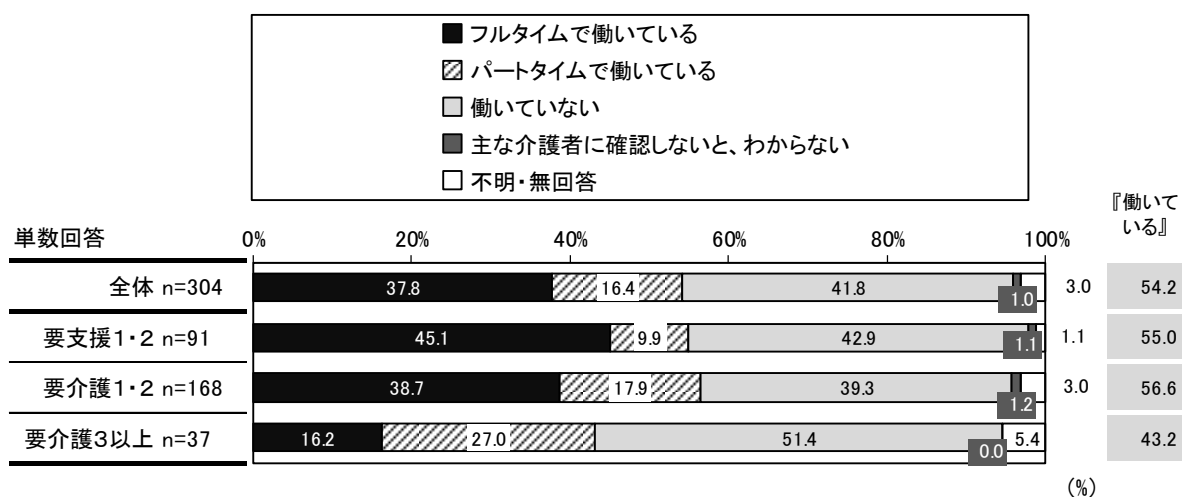


		け災・災害時の手助け	話し相手	見守り	安全確認	草むしり	買い物	送迎	ごはんや薬等の摂取確認	おすそ分け	その他	不明・無回答
全体	n= 372	34.4	31.7	17.5	10.5	5.1	5.1	3.5	2.2	1.6	15.1	18.5
要介護度別												
要支援1・2	n= 126	37.3	31.7	13.5	7.9	6.3	6.3	5.6	1.6	3.2	16.7	14.3
要介護1・2	n= 195	31.3	31.3	19.5	10.8	4.6	3.1	1.5	2.1	0.5	12.8	21.5
要介護3以上	n= 43	32.6	27.9	14.0	11.6	2.3	4.7	2.3	2.3	2.3	18.6	18.6
世帯別												
単身世帯	n= 68	45.6	36.8	30.9	23.5	8.8	14.7	10.3	7.4	2.9	8.8	11.8
夫婦のみ世帯	n= 63	39.7	30.2	14.3	9.5	7.9	6.3	1.6	1.6	-	19.0	14.3
その他	n= 224	31.3	31.3	15.2	7.6	3.6	2.2	0.9	1.8	1.8	15.2	20.5
施設入所検討別												
入所・入居を検討していない	n= 280	35.7	31.8	15.7	9.6	5.4	4.3	3.6	1.4	1.8	16.4	17.5
入所・入居を検討している	n= 59	28.8	32.2	27.1	11.9	6.8	6.8	1.7	5.1	1.7	10.2	15.3
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 23	43.5	39.1	21.7	21.7	-	13.0	8.7	4.3	-	8.7	21.7
地区別												
第一中学校圏域	n= 65	32.3	26.2	16.9	9.2	4.6	3.1	-	1.5	-	18.5	18.5
第二中学校圏域	n= 57	33.3	28.1	15.8	7.0	3.5	7.0	-	1.8	3.5	14.0	19.3
第三中学校圏域	n= 48	35.4	25.0	20.8	14.6	8.3	-	2.1	-	2.1	10.4	29.2
第四中学校圏域	n= 77	41.6	40.3	20.8	11.7	3.9	9.1	7.8	3.9	1.3	9.1	14.3
第五中学校圏域	n= 44	34.1	22.7	6.8	9.1	4.5	6.8	4.5	-	-	18.2	25.0
第六中学校圏域	n= 17	23.5	41.2	17.6	5.9	5.9	-	-	-	5.9	23.5	11.8
第七中学校圏域	n= 34	17.6	26.5	17.6	8.8	5.9	-	2.9	5.9	2.9	23.5	14.7
(旧)南原中学校圏域	n= 22	36.4	50.0	13.6	9.1	4.5	-	4.5	-	-	9.1	9.1

5 主な介護者の勤務状況

(1) 主な介護者の勤務形態

B票問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)	
●	全体では、「働いていない」が41.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が37.8%、「パートタイムで働いている」が16.4%となり、合計すると『働いている』割合は54.2となっています。
●	要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「フルタイムで働いている」割合が低下しています。【要介護3以上】は「パートタイムで働いている」「働いていない」割合が他の要介護度よりも高くなっています。
●	世帯別では、【単身世帯】は「フルタイムで働いている」割合が他の世帯よりも高くなっています。
●	主な介護者別では、【配偶者】は「働いていない」が、【子】は「フルタイムで働いている」割合が高く、また、子は『働いている』が73.8%と高くなっています。



		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答	『働いている』
全体	n= 304	37.8	16.4	41.8	1.0	3.0	54.2
要介護度別							
要支援1・2	n= 91	45.1	9.9	42.9	1.1	1.1	55.0
要介護1・2	n= 168	38.7	17.9	39.3	1.2	3.0	56.6
要介護3以上	n= 37	16.2	27.0	51.4	-	5.4	43.2
世帯別							
単身世帯	n= 43	51.2	7.0	34.9	2.3	4.7	58.2
夫婦のみ世帯	n= 52	17.3	9.6	69.2	-	3.8	26.9
その他	n= 199	40.2	20.6	36.2	0.5	2.5	60.8
主な介護者別							
配偶者	n= 88	11.4	9.1	75.0	-	4.5	20.5
子	n= 145	55.2	18.6	24.8	0.7	0.7	73.8
子の配偶者	n= 45	40.0	22.2	31.1	-	6.7	62.2
孫	n= 4	100.0	-	-	-	-	100.0
兄弟・姉妹	n= 5	20.0	20.0	60.0	-	-	40.0

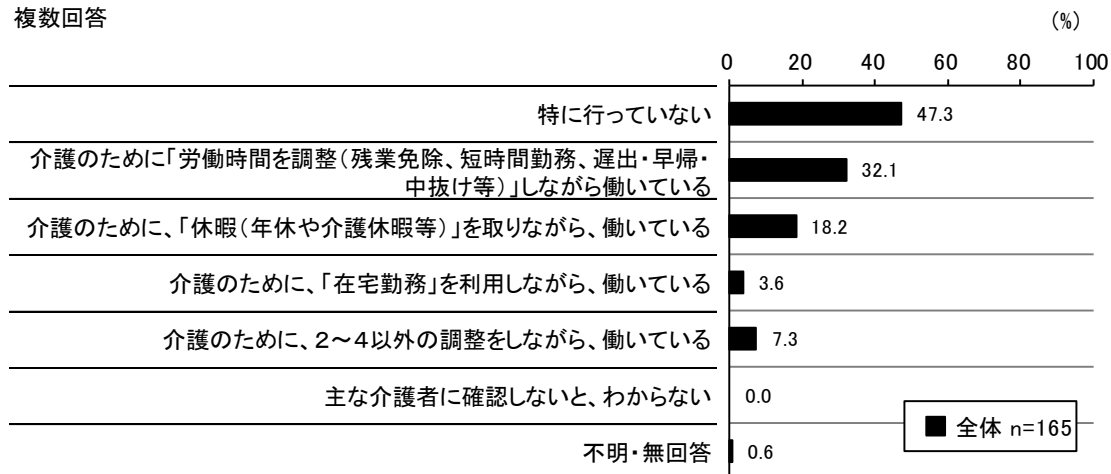
(2) 働き方の調整等

問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

B票問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

- 全体では、「特に行っていない」が47.3%と最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が32.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.2%となっています。
- 要介護度別では、要介護度が高くなるにつれて「特に行っていない」割合が低下しています。
【要介護3以上】は件数は少ないものの「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」割合が高くなっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は件数は少ないものの「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」割合が高くなっています。

複数回答



(%)

		特に行っていない	等務調介 ～、整護 「遅（残 し出た が早免 ら帰除 ・、労 働・、 働中短働 て抜時時 いけ間間 る勤を	な休介 がや護 ら介の 、護た 働休め にて等 、い」 「休を暇 取へり年	て務介 い」護 るをの 利た 用め しに な、 が「在 ら宅 働勤 い	いの介 る調 整の をた めな にが 、ら2 、5 働4 い以 て外	と主 なわ か護 ら者 に確 認し ない	不明・無回答
全体	n= 165	47.3	32.1	18.2	3.6	7.3	-	0.6
要介護度別								
要支援1・2	n= 50	50.0	28.0	18.0	8.0	2.0	-	2.0
要介護1・2	n= 95	48.4	30.5	15.8	2.1	9.5	-	0.0
要介護3以上	n= 16	37.5	50.0	25.0	-	6.3	-	0.0
世帯別								
単身世帯	n= 25	56.0	24.0	8.0	4.0	8.0	-	0.0
夫婦のみ世帯	n= 14	14.3	57.1	42.9	-	7.1	-	7.1
その他	n= 121	49.6	29.8	17.4	4.1	7.4	-	0.0

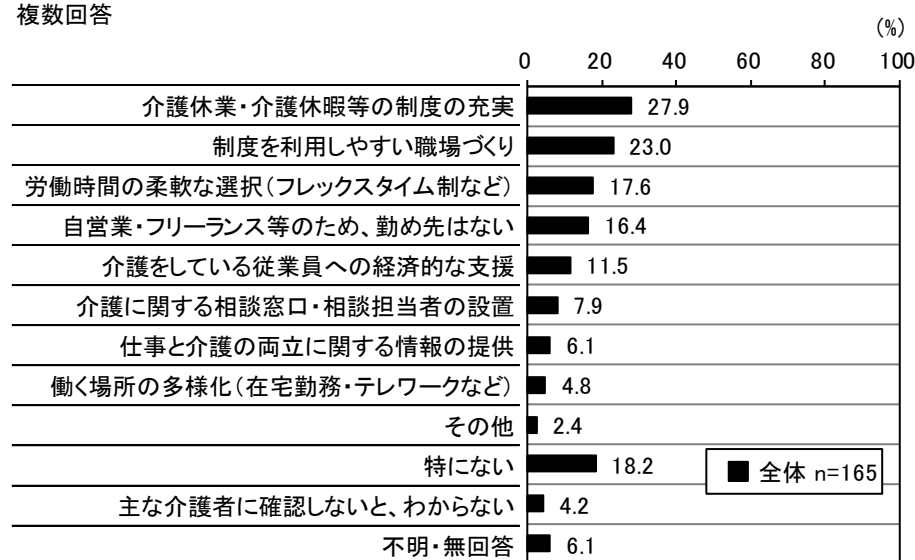
(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

B票問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)いますか。(3つまで選択可)

- 全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.9%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が23.0%、「特にない」が18.2%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は件数が少ないものの、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は件数は少ないものの「介護休業・介護休暇等の制度の充実」など、他の世帯よりも割合の高いものが多くなっています。
- 介護者の就労状況別では、【フルタイムで働いている方】はパートタイムよりも「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が高くなっています。

複数回答



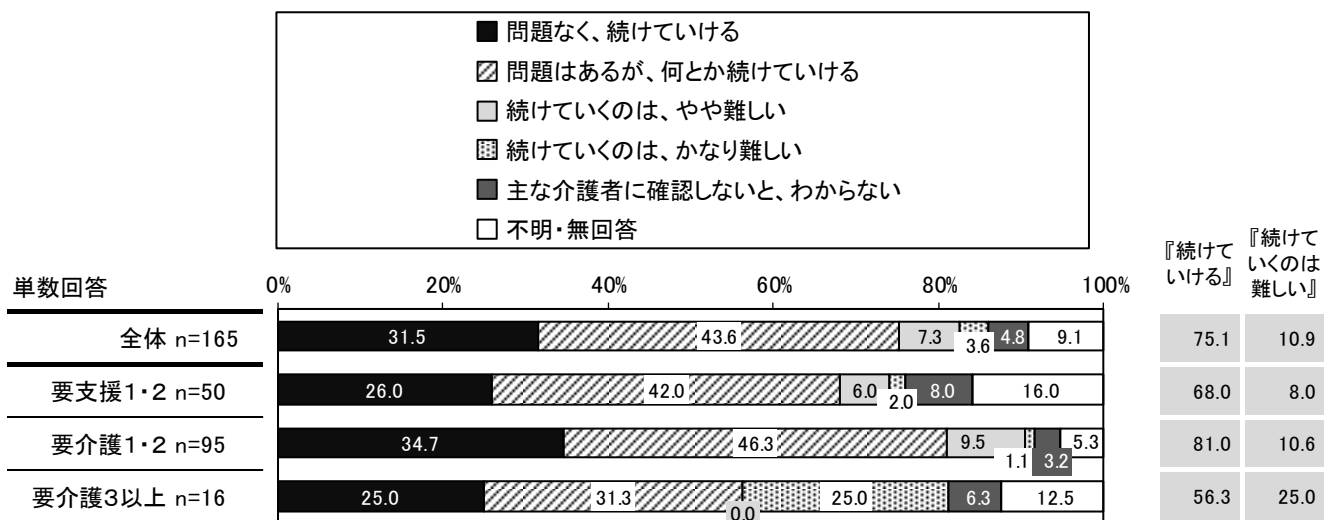
		た自営・業・勤め先はフリーランス等のため、勤め先はない	度介護休業・介護休暇等の制度の充実	く制度を利用しやすい職場づくり	レ労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)	務働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)	情報提供	仕事と介護の両立に関する情報の提供	談介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	経済的な支援	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	と、わからない	主な介護者に確認しない	不明・無回答
全体	n= 165	16.4	27.9	23.0	17.6	4.8	6.1	7.9	11.5	2.4	18.2	4.2	6.1			
要介護度別																
要支援1・2	n= 50	20.0	20.0	22.0	12.0	8.0	2.0	2.0	6.0	2.0	16.0	8.0	8.0			
要介護1・2	n= 95	16.8	28.4	22.1	20.0	2.1	6.3	8.4	11.6	3.2	20.0	2.1	4.2			
要介護3以上	n= 16	6.3	37.5	18.8	18.8	6.3	12.5	18.8	25.0	-	12.5	6.3	12.5			
世帯別																
単身世帯	n= 25	20.0	28.0	36.0	12.0	-	8.0	12.0	8.0	-	8.0	8	12			
夫婦のみ世帯	n= 14	14.3	35.7	28.6	14.3	7.1	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1			
その他	n= 121	16.5	27.3	20.7	19.8	5.8	4.1	6.6	11.6	2.5	20.7	2.5	4.1			
介護者の就労状況別																
フルタイムで働いている	n= 115	19.1	27.0	22.6	20.0	6.1	5.2	7.0	9.6	3.5	13.0	6.1	7.0			
パートタイムで働いている	n= 50	10.0	30.0	24.0	12.0	2.0	8.0	10.0	16.0	-	30.0	0.0	4.0			

(4) 今後も働きながら介護を続けていけるか

問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

B票問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- 全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が43.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が31.5%となり、合計すると『続けていける』は75.1%となっています。『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計)は10.9%となっています。
- 要介護度別では、【要介護3以上】は件数が少ないものの、『続けていくのは難しい』が25.0%と他の要介護度よりも高くなっています。



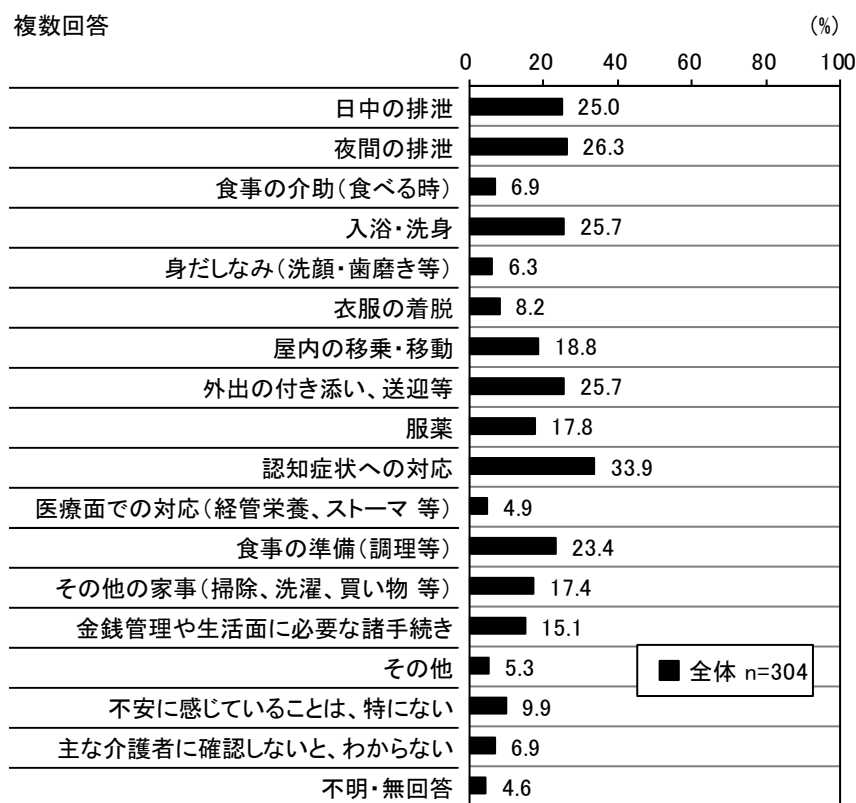
- 世帯別では、【夫婦のみ世帯】は「問題はあるが、何とか続けていける」割合が他の世帯よりも高くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方は】「問題はあるが、何とか続けていける」割合が高く、また、『続けていくのは難しい』割合が25.8%と高くなっています。
- 介護者の就労状況別では、【フルタイムで働いている方】は「問題はあるが、何とか続けていける」割合がパートタイムよりも高くなっています。また、【パートタイムで働いている方】はフルタイムよりも『続けていくのは難しい』割合が高くなっています。

		問題なく、 続けてい	問題はあるが、 何とか	続けるのは、 や	続けるのは、 か	主な介護者から 確認し	不明・無回答	(%)	
								『続けていける』	『難しい』
全体	n= 165	31.5	43.6	7.3	3.6	4.8	9.1	75.1	10.9
世帯別								0.0	0.0
単身世帯	n= 25	28.0	44.0	4.0	-	16.0	8.0	72.0	4.0
夫婦のみ世帯	n= 14	14.3	64.3	-	14.3	-	7.1	78.6	14.3
その他	n= 121	34.7	42.1	9.1	3.3	3.3	7.4	76.8	12.4
施設入所検討別								0.0	0.0
入所・入居は検討していない	n= 122	36.9	41.8	4.1	1.6	5.7	9.8	78.7	5.7
入所・入居を検討している	n= 31	9.7	54.8	16.1	9.7	3.2	6.5	64.5	25.8
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 8	37.5	37.5	12.5	12.5	-	-	75.0	25.0
介護者の就労状況別								0.0	0.0
フルタイムで働いている	n= 115	29.6	48.7	4.3	1.7	7.0	8.7	78.3	6.0
パートタイムで働いている	n= 50	36.0	32.0	14.0	8.0	-	10.0	68.0	22.0

(5) 主な介護者の方が不安に感じる介護等

B票問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

- 全体では、「認知症状への対応」が33.9%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が26.3%、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」が同率で25.7%となっています。



- 要介護度別では、【要介護1・2】は「認知症状への対応」「服薬」が、【要介護3以上】は「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」などの割合が他の要介護度よりも高くなっています。
- 世帯別では、【単身世帯】は「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が他の世帯よりも高くなっています。【夫婦のみ世帯】は「外出の付き添い、送迎等」が42.3%、「入浴・洗身」が35.1%など、他の世帯よりも割合の高い項目が多くなっています。
- 施設入所検討別では、【入所・入居を検討している方】及び【すでに入所・入居申し込みをしている方】は「認知症状への対応」「夜間の排泄」「日中の排泄」など、入所・入居を検討していない方よりも割合の高い項目が多くなっています。
- 性別では、【男性】は女性よりも「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「屋内の移乗・移動」「服薬」の割合が高くなっています。

(%)

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	磨き等（身だしなみ）（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体	n= 304	25.0	26.3	6.9	25.7	6.3	8.2	18.8	25.7	17.8
要介護度別										
要支援1・2	n= 91	14.3	19.8	3.3	22.0	4.4	4.4	13.2	25.3	9.9
要介護1・2	n= 168	28.0	28.6	6.5	24.4	7.1	9.5	20.2	24.4	22.6
要介護3以上	n= 37	29.7	29.7	18.9	35.1	8.1	10.8	24.3	29.7	13.5
世帯別										
単身世帯	n= 43	18.6	23.3	7.0	20.9	2.3	2.3	16.3	18.6	11.6
夫婦のみ世帯	n= 52	21.2	25.0	17.3	36.5	9.6	11.5	26.9	42.3	23.1
その他	n= 199	27.6	27.6	4.5	23.6	6.5	8.5	17.6	23.6	18.1
施設入所検討別										
入所・入居は検討していない	n= 231	20.3	22.1	3.9	24.2	5.2	6.9	16.9	24.2	15.2
入所・入居を検討している	n= 52	34.6	36.5	17.3	25.0	7.7	11.5	25.0	21.2	25.0
すでに入所・入居申し込みをしている	n= 14	42.9	35.7	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	50.0	21.4
性別										
男性	n= 84	27.4	28.6	8.3	36.9	9.5	11.9	27.4	35.7	27.4
女性	n= 212	22.6	25.0	6.6	20.3	5.2	6.6	15.1	21.2	13.7

(%)

		認知 症状 への 対応	医 療 面 での 対応 （経 管 栄 養 、 ス ト ー マ 等 ）	食 事 の 準 備 （調 理 等 ）	洗 濯 、 買 い 物 （等 ）	そ の 他 の 家 事 （掃 除 、 等 ）	金 銭 管 理 や 生 活 面 に 必 要 な 諸 手 続 き	そ の 他	は 、 特 に 感 じ て い る こ と	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と 、 わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		n= 304	33.9	4.9	23.4	17.4	15.1	5.3	9.9	6.9	4.6
要介護度別											
	要支援1・2	n= 91	25.3	3.3	23.1	18.7	8.8	4.4	13.2	12.1	5.5
	要介護1・2	n= 168	40.5	4.8	23.8	17.3	17.3	5.4	8.3	5.4	3.6
	要介護3以上	n= 37	24.3	10.8	24.3	13.5	13.5	8.1	10.8	2.7	2.7
世帯別											
	単身世帯	n= 43	30.2	7.0	34.9	18.6	23.3	4.7	4.7	18.6	9.3
	夫婦のみ世帯	n= 52	34.6	9.6	28.8	30.8	19.2	7.7	7.7	3.8	1.9
	その他	n= 199	35.2	3.0	20.1	14.1	12.1	5.0	11.6	4.0	4.0
施設入所検討別											
	入所・入居は検討していない	n= 231	29.4	5.2	19.9	16.5	13.9	6.1	11.7	7.8	5.6
	入所・入居を検討している	n= 52	46.2	3.8	40.4	19.2	19.2	3.8	3.8	5.8	－
	すでに入所・入居申し込みをしている	n= 14	57.1	－	7.1	14.3	14.3	－	7.1	－	7.1
性別											
	男性	n= 84	28.6	9.5	19.0	17.9	14.3	3.6	10.7	3.6	3.6
	女性	n= 212	35.8	3.3	25.5	17.0	14.2	6.1	9.9	8.5	4.2

第4章 資料（調査票）

調査票 別ファイル

米沢市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
報告書

令和5年7月

調査主体：米沢市健康福祉部 高齢福祉課 事業管理担当

〒992-8501 山形県米沢市金池五丁目2番25号

電話：0238-22-5111（内線3902）

FAX：0238-21-1600